



CK88

CK61

STAGE KEYBOARD

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。



注意喚起を示す記号



禁止を示す記号



行為を指示する記号

■ 「警告」「注意」「ご注意」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を区分して掲載しています。



「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



「傷害を負う可能性が想定される」内容です。



「故障、損傷や誤動作、データの損失の発生が想定される」内容です。



電源



禁止

電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。

電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



禁止

雷が鳴っているときは、本製品や電源プラグに触らない。

感電の原因になります。



必ず実行

電源は必ず交流100 Vを使用する。

エアコンの電源など交流200 Vのものがあります。誤って接続すると、火災、感電、または故障の原因になります。



必ず実行

電源アダプターは、必ず指定のもの（71ページ）を使用する。

火災、やけど、または故障の原因になります。



必ず実行

電源プラグを定期的に確認し、ほこりが付着している場合はきれいに拭き取る。

ショートして火災や感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込む。

差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積したりして火災ややけどの原因になります。



必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。

万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。電源を切った状態でも電源プラグをコンセントから抜かないかぎり電源から完全に遮断されません。



禁止

たこ足配線をしない。

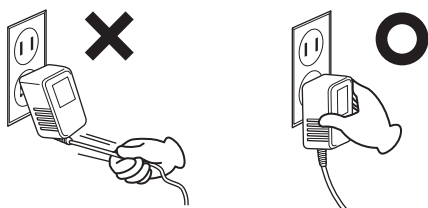
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になります。



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

火災や故障の原因になります。

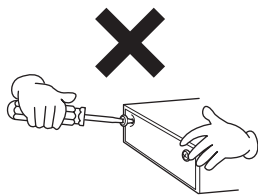
分解禁止



禁止

本製品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。



水に注意



禁止

- 浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところや水がかかるところで使用しない。
- 本製品の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。
- 電源アダプターは、室内専用のため屋外では使用しない。

内部に水などの液体が入ると、火災や感電、または故障の原因になります。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。感電のおそれがあります。

火に注意



禁止

本製品の近くで、火気を使用しない。

火災の原因になります。

ワイヤレス機器



禁止

- 医療機器の近くなど、電波の使用が制限された区域で使用しない。
- 心臓ペースメーカーや除細動器の装着部分から15 cm以内で使用しない。

本製品が発生する電波により、動作に影響があるおそれがあります。

取り扱い



必ず実行

心臓ペースメーカーや除細動器を使用している場合は、装着部分に近づけない。

本製品に内蔵されている磁石の磁気により、動作に影響があるおそれがあります。

電池



禁止

- 電池を火の中に入れてない。
 - 電池を下記の場所に置かない。
 - 直射日光のあたる場所(日中の車内など)や火の近くなど極端に温度が高くなる場所
 - 温度や気圧が極端に低い場所
 - ほこりや湿気の多い場所
- 破裂により、火災やけがの原因になります。



禁止

- 指定(71ページ)以外の電池を使用しない。
- 電池は新しいものと古いものを一緒に使用しない。
- 種類の異なる電池を一緒に使用しない。
- +/-の極性表示とは異なった方向に電池を入れない。
- 電池を分解しない。
- 長時間使用しない場合や電池を使い切った場合は、電池を本体に入れたままにしない。
- 使い切りタイプの乾電池は充電しない。

電池から液漏れが発生し、液に触れると失明や化学やけどなどのおそれがあります。また、本体の損傷の原因にもなります。



禁止

電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。
液に触れると失明や化学やけどなどのおそれがあります。万一液が目や口に入ったり皮膚についたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。



必ず実行

充電式電池を使用する場合は、電池の取扱説明書の指示に従い、指定された充電器、また指定された温度の範囲内で充電する。誤った充電は、液漏れ、発熱、破裂、故障の原因になります。



禁止

電池は乳幼児の手の届くところに置かない。
お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。



禁止

電池と金属片と一緒にポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。
電池がショートし、破裂や液漏れにより、火災やけがの原因になります。

異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。電池を使用している場合は、電池を本製品から抜く。

- ・電源コード/プラグが破損した場合
- ・製品から異常なおいや煙が出た場合
- ・製品の内部に水や異物が入った場合
- ・使用中に音が出なくなった場合
- ・製品に亀裂、破損がある場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。



注意

設置



禁止

不安定な場所や振動の多い場所に置かない。
本製品が転倒して故障したり、けがをしたりする原因になります。

接続



必ず実行

ほかの機器と接続する場合は、すべての電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ずすべての機器の音量(ボリューム)を最小にする。
聴覚障害、感電または機器の損傷の原因になります。



必ず実行

演奏を始める前に機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にする。
聴覚障害または機器の損傷の原因になります。

取り扱い



禁止

本製品のパネル、鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。
火災、感電、故障や動作不良の原因になります。



禁止

本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
本体が破損したり、お客様やほかの方々がかげがをしたりする原因になります。



禁止

大きな音量で長時間使用しない。
聴覚障害の原因になります。特にヘッドホンを使用する場合はご注意ください。万一、聴力低下や耳障りを感じた場合は、専門の医師にご相談ください。





必ず実行

本製品をお手入れをするときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電の原因になります。

- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

[⏻](スタンバイ/ オン)スイッチを切った状態(画面表示が消えている)でも微電流が流れています。[⏻](スタンバイ/ オン)スイッチが切れているときの消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。使用済みの電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

機種名(品番)、製造番号(シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品の底面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

機種名

製造番号

(1003-M06 plate bottom ja 01)

ご注意

製品の故障、損傷や誤動作、編集した設定内容の損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

■ 製品の取り扱いに関する注意

- テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。
- スマートフォン、タブレット端末などのスマートデバイスのアプリと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるためスマートデバイスの機内モードをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。機内モードをオンにすると、Bluetooth®の設定がオフになることがあります。設定がオンになっていることを確認してお使いください。
- 使用環境により、強い電波の影響を受けると、まれに楽器が誤動作することがあります。
- 直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなると、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。本体が変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。
- 本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。本体が変色/変質する原因になります。

■ 製品のお手入れに関する注意

- お手入れの際は、乾いた柔らかい布、または水を含ませた柔らかい布を固くしぼってご使用ください。ベンジンやシンナー、アルコール、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色/変質する原因になりますので、使用しないでください。

■ 設定の保存に関する注意

- 編集した設定などは、保存前に電源を切ると消えてしまいます。オートパワーオフ機能(24ページ)により電源が切れた場合も同様です。保存しておきたい設定は、本体またはUSBフラッシュメモリーに保存してください(29ページ)。ただし、本体に保存した設定は故障や誤操作などのために失われることがあります。大切な設定は、USBフラッシュメモリーに保存してください(29ページ)。USBフラッシュメモリーを使う前には、必ず25ページをお読みください。
- 設定を保存したUSBフラッシュメモリーの万一の事故に備えて、大切な設定は予備のUSBフラッシュメモリーにバックアップとして保存されることをおすすめします。

お知らせ

■ データの著作権に関するお願い

- この製品に搭載されている「コンテンツ」*1の著作権は、ヤマハ(株)もしくはその著作権者に帰属します。私的使用のための複製など著作権法上認められている場合を除いて、権利者に無断で「複製または転用」*2することは禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。

なお、製品本来の使用を通して、上記コンテンツを使用した音楽制作や演奏を行い、それらを録音して配布する場合、配布方法が有償、無償を問わずヤマハ(株)の許諾は必要ありません。

*1:「コンテンツ」には、コンピュータープログラム、サウンドデータ、伴奏スタイルデータ、MIDIデータ、WAVEデータ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどを含みます。

*2:「複製または転用」には、この製品に内蔵または同梱されたコンテンツそのものを取り出すこと、もしくは酷似した形態で記録/録音して配布することを含みます。

■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて説明のためのものです。
- この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、特に説明のない限り、CK61を使用しています。
- iPhone、iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。ヤマハ株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。



- MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

■ 廃棄に関するお知らせ

- 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。

■ ファームウェア

機能の追加や操作性向上のために、工場出荷時のファームウェアを予告なくアップデートすることがあります。本機のファームウェアに対応するマニュアル一式は以下のウェブサイトよりダウンロードいただけます。

サポート・お問い合わせ: <https://jp.yamaha.com/support/>

なお、本機のファームウェアバージョンは[MENU] → Version Infoでご確認いただけます。

MEMO

はじめに

このたびはヤマハステージキーボード、CK88 CK61をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

本機はライブパフォーマンス用ステージキーボードです。

屋内外のライブ会場、スタジオ、ご家庭などでの演奏にお使いいただけます。

本機に搭載された機能を十分に生かすため、本書をぜひご活用ください。また、お読みになったあとも、いつでもご覧になれる所に大切に保管していただきますようお願いいたします。

付属品(お確かめください)

- 取扱説明書(本書) × 1
- 保証書 × 1
- 電源アダプター (PA-150B) × 1

目次

安全上のご注意	2	詳細設定	30
ご注意	6	ライブセット (SETTINGSボタン)	30
お知らせ	6	本機全体 (MENUボタン)	38
はじめに	8	ショートカット一覧	44
		エフェクト一覧	45
付属品 (お確かめください)	8	外部機器と接続して使う	48
		USB [TO HOST] 端子ご使用時の注意	48
CK88 CK61 について	10	スマートデバイスと接続する	48
CK88 CK61 の特長	10	コンピューターと接続する	49
基本的な使いかた	10	外部音源と組み合わせて使う	49
音色の管理方法	11	他の鍵盤楽器と組み合わせて使う	50
各部の名称	12	MIDI 送信チャンネルと受信チャンネルを設定する	50
フロントパネル	12	本機の鍵盤操作で内部音源が鳴らないように設定する	50
リアパネル	20	MIDI 端子の用途を設定する (MIDI ポートの設定)	50
ご使用前の準備	22	データリスト	51
電源アダプターを使う	22	ライブセットサウンド一覧	51
電池を使う	23	ボイス一覧	54
電源を入れる	24	コントロールチェンジナンバー	56
電源を切る	24	MIDI データフォーマット	58
オートパワーオフ機能	24	MIDI データテーブル	60
ヘッドホンの準備	24	MIDI インプリメンテーションチャート	66
USB フラッシュメモリーの取り扱い	25	資料	68
基本操作	26	困ったときは	68
トップ画面の見かた	26	メッセージ一覧	70
ライブセットサウンドを作る	26	仕様	71
ライブセットサウンドを保存する	26	索引	72
ライブセットサウンドのサポート機能を使う	27	ユーザーサポートサービスのご案内	73
		保証とアフターサービス	74
外部入力にエフェクトをかける	27		
オーディオファイルを鳴らす	27		
ライブセットサウンドの管理	28		
ライブセットサウンド名を編集する	28		
ライブセットサウンドの並び替えとコピー	28		
ライブセットサウンドを初期化する	28		
ライブセットサウンドを USB フラッシュメモリーに保存する	29		
セーブされたファイル名を編集する	29		
ライブセットサウンドを USB フラッシュメモリーからロードする	29		

CK88 CK61について

CK88 CK61の特長

CK88 CK61はあらゆるシチュエーションですぐに演奏を楽しめて、幅広くご利用いただけます。

■ スタジオ、ステージからアウトドアまで、多様なシーンで本格的な演奏ができる

- ・ピアノやエレクトリックピアノ、オルガンといった鍵盤楽器はもちろん、現代のキーボードに必要な不可欠な高品位で多彩なサウンドを搭載しています。
- ・3パートを組み合わせたレイヤーやスプリットのほか、外部キーボードやPC、スマートフォンとのセットアップによるパフォーマンスにも対応しています。
- ・ステレオスピーカーを内蔵し、バッテリー駆動も可能なので演奏シーンを選びません。

■ 直感的な操作で、素早いサウンドメイキングができる

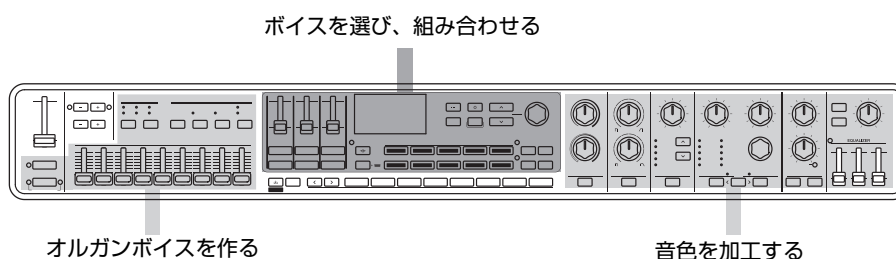
- ・サウンドメイキングに必要なフィルター、EG、エフェクトに、それぞれ独立したインターフェースを採用し、パフォーマンス中もサウンドコントロールを楽しめます。
- ・オルガンドローバーを搭載、本格的なサウンドメイキングやパフォーマンスが可能です。
- ・シンセサウンドに求められるポルタメント演奏やユニゾンサウンドも、ボタンひとつで簡単に設定できます。

■ 充実したサポート機能により、よりクリエイティブなパフォーマンスを実現できる

- ・マイクも接続できる外部入力と外部入力専用のエフェクトを装備しているので、弾き語りや小規模ユニットでの演奏にも役立ちます。
- ・Bluetoothオーディオ接続によるオーディオ再生機能で、Bluetooth対応機器からのお気に入りの曲やバックトラックに合わせた演奏を実現します。
- ・USBクラスコンプライアントに対応しているため、PCやスマートフォンの接続が簡単。動画制作や配信も手軽にできます。

基本的な使いかた

本機は3つのエリアに分かれており、各エリアの設定を組み合わせることでサウンドメイキングを行います。



3つの鍵盤パートA、B、Cそれぞれにボイスを選び、各パートのオンオフや音量バランス、左手と右手への割り振りやエフェクトを調整し、それらの設定を保存しておきます。

演奏中には保存しておいた設定を自由に呼び出して、独自のパフォーマンスを展開できます。

音色の管理方法

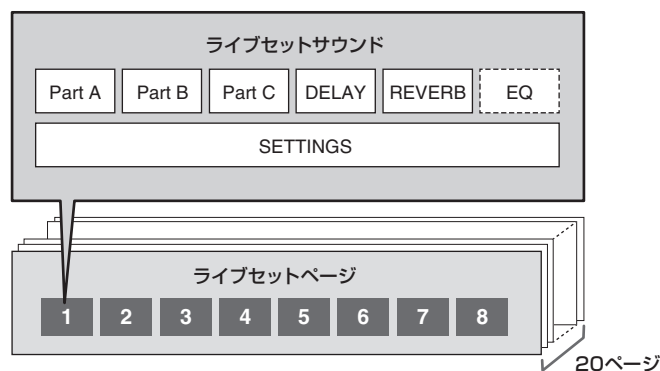
サウンドメイキングした音色は、本機では「ライブセット」という機能を使って管理します。ライブセットには、音色に関する設定がまとめて保存されており、ライブセットに保存されたひとつの音色設定は「ライブセットサウンド」と呼びます。



ライブセットサウンドは、8つのボタンにより、演奏中でも瞬時に音色を切り替えられます。また、8つのライブセットサウンドをまとめて「ライブセットページ」に登録しておき、PAGEボタンを押して切り替えて呼び出しできます。ライブセットページは20ページあり、合計160の音色を管理できます。

工場出荷時の状態では、1～10ページにプリセットのライブセットサウンドが搭載されています。

ライブセット

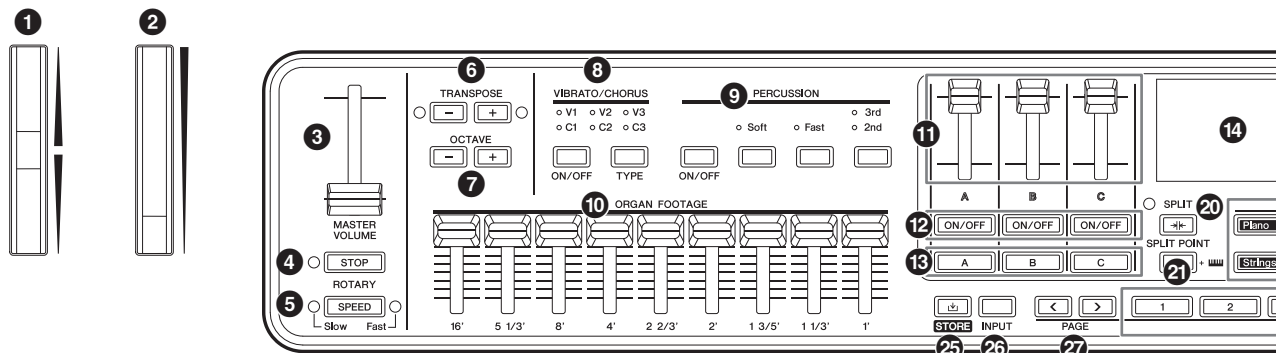


ライブセットサウンドは、本機内に保存するだけでなく、USBフラッシュメモリーやSoundmondoを使ったバックアップや共有が可能です。

- 本機内
- USBフラッシュメモリー
- Soundmondo (音色管理とシェアリングのサービス) <https://www.yamaha.com/2/soundmondo>

各部の名称

フロントパネル



① ピッチベンドホイール

弾いた音の高さ(ピッチ)を連続的に変えるためのコントローラーです。

ピッチベンドレンジは、[SETTINGS]ボタン → Controllers → Pitch Bend Rangeからパートごとに設定できます(33ページ)。

② モジュレーションホイール

モジュレーションをかけるためのコントローラーです。ピッチだけでなく、アンプやフィルターにもモジュレーションをかけることができます。

ホイールに割り当てるコントロールチェンジナンバーは、[SETTINGS]ボタン → Controllers → Mod Wheel Assignから変更できます(33ページ)。

NOTE

- モジュレーションの深さと速さは、[SETTINGS]ボタン → Sound → 設定したいPart → Modulationから設定できます(31ページ)。
- モジュレーションは、他のコントローラーへの割り当てもできます。

③ [MASTER VOLUME]スライダー

本機全体の音量を調節します。

④ ROTARY [STOP]ボタン

ロータリースピーカーの回転を停止します。

⑤ ROTARY [SPEED]ボタン

ロータリースピーカーの回転速度を切り替えます。DRIVEがオフのとき、またはRotary AとRotary B以外のタイプを選択しているときにROTARY [SPEED]ボタンを押すとRotary Aが選択されてオンになります。

⑥ TRANSPOSEボタン

楽器全体のピッチを半音単位で上下します。MIDI出力にも反映されますが、ライブセットサウンドには保存されません。

[-]ボタンと [+]ボタンを同時に押すと、設定が「0」に戻ります。

NOTE

[ENTER]ボタンを押しながらTRANSPOSEボタンを押すと、ライブセットサウンドのSound Transposeを設定できます(44ページ)。

Sound Transposeはライブセットサウンドに保存されます。

⑦ OCTAVEボタン

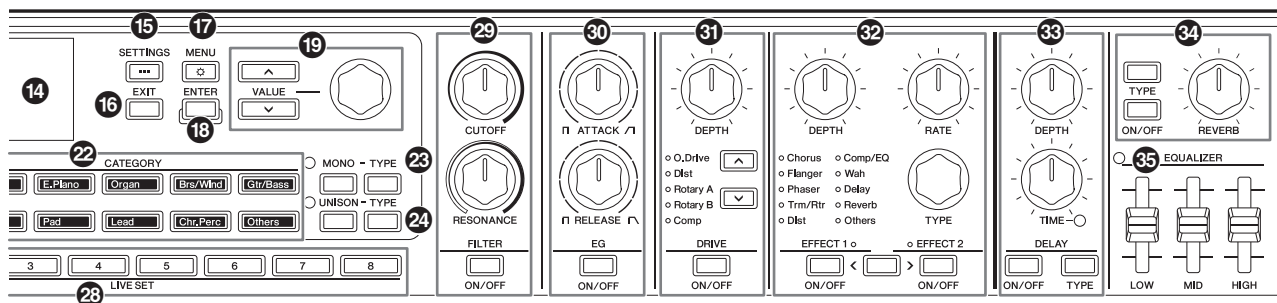
楽器全体の鍵域を1オクターブ単位で動かします。MIDI出力にも反映されますが、ライブセットサウンドには保存されません。

[-]ボタンと [+]ボタンを同時に押すと、設定が「0」に戻ります。

オクターブ設定は、Note Shift機能を使ってパートごとに変えられます。

パートボタンを押しながらOCTAVEボタンを押すと、OCTAVEボタンがパートカラーで点灯します(44ページ)。

パートのオクターブ設定(Note Shift)はライブセットサウンドに保存されます。



8 VIBRATO/CHORUS [ON/OFF]ボタン VIBRATO/CHORUS [TYPE]ボタン

オルガンのビブラート/コーラスの設定をします。
オルガンボイスがOrgan Flute音源に対応したオルガンボイス(H、V、F、A、Y)のときだけ使用できます(15ページ)。

[ON/OFF]ボタンでビブラート/コーラスのオンとオフを切り替え、[TYPE]ボタンでビブラート/コーラスのタイプを選びます。ボタンを押すたびに、V (ビブラート)1~3、C (コーラス)1~3の順にタイプが切り替わります。

NOTE

[ENTER]ボタンを押しながらVIBRATO/CHORUS [TYPE]ボタンを押すと、VIBRATO/CHORUSのタイプが逆順で切り替わります。1つ前のタイプに戻したいときなどに便利です(44ページ)。

9 PERCUSSION [ON/OFF]ボタン PERCUSSION [Soft]ボタン PERCUSSION [Fast]ボタン PERCUSSION [2nd 3rd]ボタン

オルガンのパーカッション音を設定します。
オルガンボイスがOrgan Flute音源に対応したオルガンボイス(H、V、F、A、Y)のときだけ使用できます。
[ON/OFF]ボタンでパーカッション音のオンとオフを切り替えます。[Soft]ボタンをオンにするとパーカッション音の音量が下がります。[Fast]ボタンをオンにするとパーカッション音の減衰のスピードが速くなります。
[2nd 3rd]ボタンでパーカッション音のピッチを切り替えます。

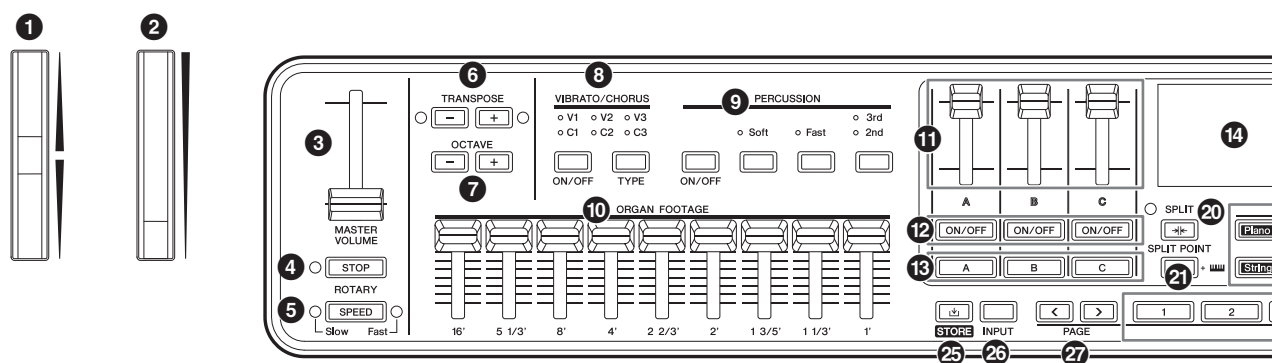
10 ORGAN FOOTAGEスライダー

オルガンの倍音の成分量を設定します。
オルガンボイスがOrgan Flute音源に対応したオルガンボイス(H、V、F、A、Y)のときだけ使用できます。

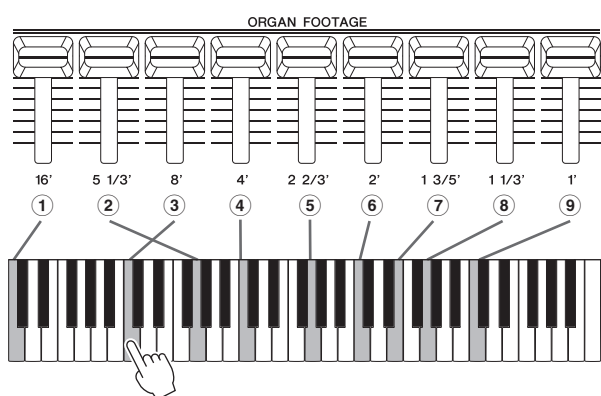
ビンテージオルガンのドローバーのように、スライダーを下へ動かすと音量が大きくなります。それぞれのスライダーを動かして倍音の量を調整することで、好みのオルガンサウンドを作ることができます。

NOTE

- すべてのORGAN FOOTAGEスライダーの位置を完全に上げるとオルガンボイスが鳴らなくなります。
- LIVE SET [1]~[8]ボタンから設定を呼び出した場合などは、呼び出された設定値と現在のスライダーの位置は一致しません。スライダーを動かすと、その位置が設定値に反映されます。スライダーを動かしたときの位置と設定値が一致するまで反映されないようにするには、[MENU]ボタン → General → Control PanelからController Modeを変更します(41ページ)。



各スライダーを動かして鳴る音は以下のとおりです。



スライダー	鳴る音
① 16'	8度下
② 5 1/3'	5度上
③ 8'	基音
④ 4'	8度上
⑤ 2 2/3'	12度上
⑥ 2'	15度上
⑦ 1 3/5'	17度上
⑧ 1 1/3'	19度上
⑨ 1'	22度上

⑪ パートボリュームスライダー

各パートの音量を調節します。

⑫ パート[ON/OFF]ボタン

各パートのオンとオフを切り替えます。

⑬ パート[A]～[C]セレクトボタン

設定を変えたいパートを選びます。

オンのパートに対して、パネルから操作できるのは次のとおりです。

- ・ボイスカテゴリー選択
- ・オルガンボイス設定

- ・モノ、ユニゾン設定
- ・フィルター
- ・EG
- ・ドライブ
- ・エフェクト1、エフェクト2

複数のパートセレクトボタンを同時に押すことで、それらのパートのフィルターやエフェクトなどを同時に設定できます。

NOTE

パート[A]～[C]セレクトボタンのうち2つのボタンを同時に長押しすると、パートを入れ替えができます(44ページ)。スプリットの設定で左右を入れ替えたいときに便利です。

⑭ 液晶ディスプレイ(LCD)

使用中の機能に応じて、さまざまなメッセージや各種設定が表示されます。

⑮ [SETTINGS]ボタン

選択中のライブセットサウンドの詳細設定画面が表示されます(30ページ)。

各パートのサウンドやコントローラーに関わる設定だけでなく、オーディオトリガー機能や外部入力のエフェクト設定など、さまざま設定が編集できます。

編集のあとは、[STORE]ボタンを押して設定を保存します。

設定値はライブセットサウンドに保存されます。

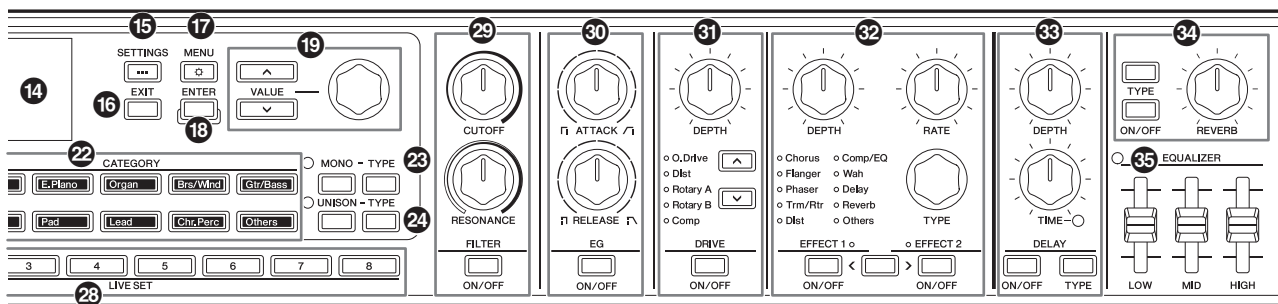
NOTE

[ENTER]ボタンを押しながら[SETTINGS]ボタンを押すと、ライブセットサウンドを素早く初期化できます(44ページ)。

⑯ [EXIT]ボタン

MENUやSETTINGSの画面操作中は、1つ上の階層に戻るときに使います。

[EXIT]ボタンを長押しすると、トップ画面に戻ります。



17 [MENU]ボタン

本機全体の設定画面が表示されます(38ページ)。
[ENTER]ボタンを押しながら[MENU]ボタンを押すと、パネルロックのオンとオフを切り替えられます(44ページ)。

18 [ENTER]ボタン

選択中の値や各操作を確定するときに使います。
[ENTER]ボタンを押しながら他のボタンやノブを操作すると、よく使う機能を素早く呼び出すことができます(44ページ)。

19 VALUEボタン エンコーダーダイヤル

選択中のパラメーター値を変更します。
MENU画面やSETTINGS画面では、画面上のカーソル(反転表示部分)を上下に移動します。

20 [SPLIT]ボタン

スプリットを設定できます。
ボタンを押すとスプリットがオンになり、ボタンを押すたびにスプリットの設定が順番に切り替わります。

ランプが点灯しているときはスプリットがオン、消灯しているときはスプリットがオフでレイヤーがオンの設定に戻ります。

設定	説明
A/BC	左の鍵域ではパートAだけ、右の鍵域でパートBとパートCが重なって鳴る
AB/C	左の鍵域でパートAとパートBが重なって鳴り、右の鍵域でパートCだけが鳴る
A/B/C	左の鍵域でパートA、中央の鍵域でパートB、右の鍵域でパートCが鳴る
ABC	パートA~Cのボイスが重なって鳴る

スプリットの設定は、[SETTINGS]ボタン → Sound → Common → Layer/Split → Modeから変更できます(32ページ)。

21 [SPLIT POINT]ボタン

スプリット機能を使うときのスプリットポイント(右側の鍵域の最低音)を設定する画面が表示されます。
エンコーダーダイヤルでポイントを変更するか、スプリットポイントに設定したい鍵盤を押すことでもポイントを変更できます。
設定値はライブセットサウンドに保存されます。

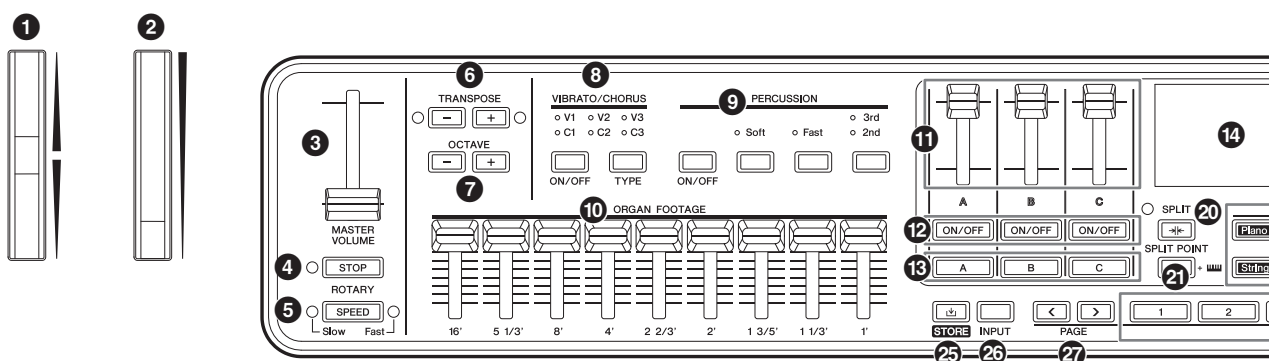
NOTE

- [SPLIT POINT]ボタンを押しながら鍵盤を押すことでも設定できます。
- スプリットポイントは、[SETTINGS]ボタン → Sound → Common → Layer/Split → Split Pointから変更できます(32ページ)。

22 CATEGORYボタン

ボイスカテゴリーの中から、各パートで使うボイスを選びます。
ボタンを押すたびに、同じカテゴリー内でボイスが切り替わります。素早く2回押すとリストが表示されます。
[Organ]ボタンからは、Organ Flute音源に対応したオルガンボイス(H、V、F、A、Y)も選べます。これらのボイスは、ORGAN FOOTAGE、PERCUSSION、VIBRATO/CHORUSを使って設定できます。

タイプ	説明
H	1960年代の代表的な電気オルガンのボイスです。正弦波特有のシンプルであたたかい音の特徴です。ロック、ポップス、ジャズなど幅広い音楽で使われていました。
V	1960年代のトランジスタオルガンのボイスです。矩形波に近い倍音成分を持ち、抜けの良い音の特徴です。サイケデリックロックやスガなどよく使われていました。
F	1960年代のトランジスタオルガンのボイスです。鋸歯状波をブーストさせた太い音の特徴です。60年代のポップスや、90年代のオルタナティブポップなどで使われていました。
A	1970年代の国産トランジスタオルガンのボイスです。シンセサイザーの鋸歯状波のような、きらびやかなサウンドが特徴です。



タイプ	説明
Y	1972年に登場した、ヤマハのトランジスタオルガンのボイスです。矩形波に近い倍音成分を持ち、抜けの良い高域とディストーションを上げたときの激しい歪みが特徴です。

23 MONO-TYPEボタン

選択中のパートの発音モードを設定します。
[MONO]ボタンでMonoとPolyを切り替えます。Mono(モノ)は単音演奏用、Poly(ポリ)は和音演奏用の発音方式です。MONO [TYPE]ボタンでMonoのタイプを選びます。タイプにはシンセリードなどで定番の、なめらかにピッチが変化するポルタメントタイプもあります。

タイプ	説明
Normal	ポルタメントがかからないシンプルなモノ
Fingered Portamento	レガート演奏のときだけポルタメントがかかるモノ
Full-Time Portamento	鍵盤から手を離れた状態からでも、常にポルタメントがかかるモノ

NOTE

- ポルタメントのピッチ変化にかかる時間やモードは、[SETTINGS]ボタン → Sound → 設定したいPart → Mono/Portamentoから変更できます(30ページ)。
- [ENTER]ボタンを押しながらMONO [TYPE]ボタンを押すと、ポルタメントのピッチ変化にかかる時間を設定する画面に移動できます(44ページ)。

24 UNISON-TYPEボタン

選択中のパートのユニゾンを設定します。
[UNISON]ボタンでユニゾンのオンとオフを切り替え、UNISON [TYPE]ボタンでユニゾンのタイプを選びます。ユニゾンがオンになると、鍵盤を弾いたときに複数の音が重なり、音が太くなります。本機のユニゾンではインサージョンエフェクトも含めた音が重なります。

タイプ	説明
Multi Layer	弾いた鍵盤と同じ音が重なるユニゾン

タイプ	説明
Harmonics	弾いた鍵盤の1オクターブ上の音が重なるユニゾン
Sub Harmonics	弾いた鍵盤の1オクターブ下の音が重なるユニゾン

ユニゾンの音量やDetuneの設定は、[SETTINGS]ボタン → Sound → 設定したいPart → Unisonから変更できます(30ページ)。

NOTE

[ENTER]ボタンを押しながらUNISON [TYPE]ボタンを押すと、ユニゾンのDetune設定画面に素早く移動できます(44ページ)。

25 [STORE]ボタン

編集したライブセットサウンドを保存(ストア)します。ストアすると、以下の設定が本機に保存されます。保存した内容は電源を切っても失われません。

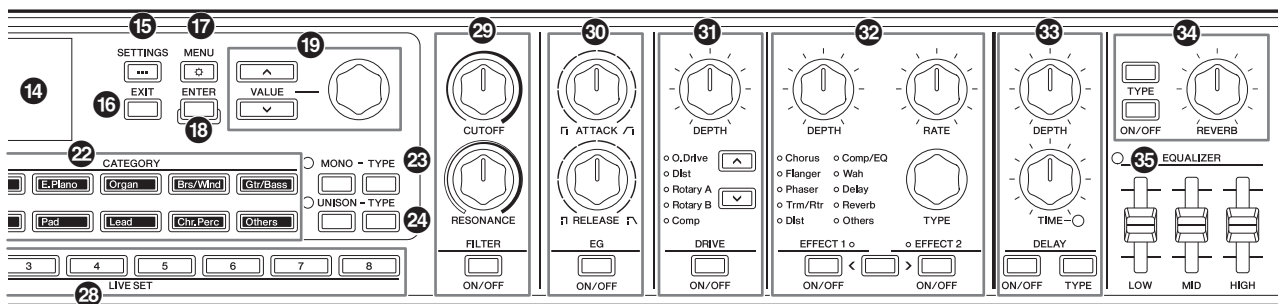
- パートA~Cのボイス
- オルガンボイスの設定(ロータリースピーカー、ピブラート/コーラス、パーカッション)
- フィルター
- EG
- ドライブ
- エフェクト1、エフェクト2
- ディレイ
- リバーブ
- SETTINGSの設定(スプリットやトランスポーズを含む)

NOTE

EQUALIZERの設定は、Live Set EQがOnの場合にはライブセットサウンドに保存されます(32ページ)。

26 [INPUT]ボタン

A/D INPUT端子から入力された外部オーディオ信号の音量やエフェクトを設定します。
[SETTINGS]ボタン → A/D Inputと同じ画面が表示されます。



27 PAGEボタン

ライブセットページを切り替えます。ページを切り替えると、ライブセットサウンドも切り替わります。

[<]ボタンと [>]ボタンを同時に押すと、ライブセットビューが表示されます。ライブセットビューでVALUEボタンやエンコーダーダイヤルを使うと、他のページのライブセットサウンドを選ぶことができます。トップ画面に戻る場合は[EXIT]ボタンを押します。

28 LIVE SET [1]~[8]ボタン

選択中のライブセットページにある8つのライブセットサウンドからどれか1つを呼び出します。ライブセットページはPAGEボタンで切り替えます。

29 FILTER [ON/OFF]ボタン

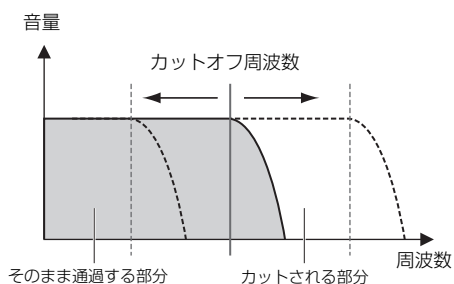
FILTER [CUTOFF]ノブ

FILTER [RESONANCE]ノブ

選択中のパートのフィルターを設定します。[ON/OFF]ボタンを[OFF]にすることで、フィルターをボイスの初期値に素早く戻すことができます。

[CUTOFF]ノブ

ローパスフィルターのカットオフ周波数を調節します。ノブを右へ回すと音が明るくなり、左へ回すと音が暗くなります。

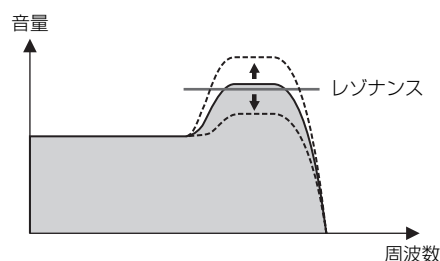


NOTE

フィルターの効き具合は、選んだボイスにより異なります。

[RESONANCE]ノブ

レゾナンス(音にクセを付ける効果)を調節します。ノブを右へ回すとクセが強くなり、左へ回すと弱くなります。



30 EG [ON/OFF]ボタン

EG [ATTACK]ノブ

EG [RELEASE]ノブ

選択中のパートのEG(エンベロープジェネレーター)を設定します。

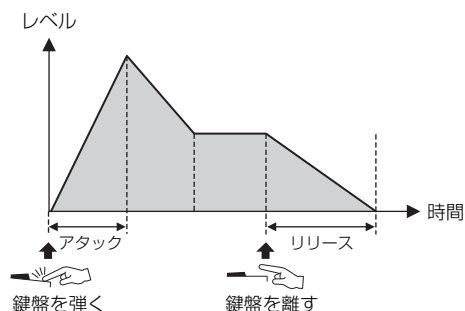
[ON/OFF]ボタンを[OFF]にすることで、EGをボイスの初期値に素早く戻すことができます。

[ATTACK]ノブ

EGのアタックを調節します。ノブを左へ回すと鍵盤を弾いてからの音の立ち上がりが速くなり、右へ回すと音の立ち上がりがゆっくりになります。

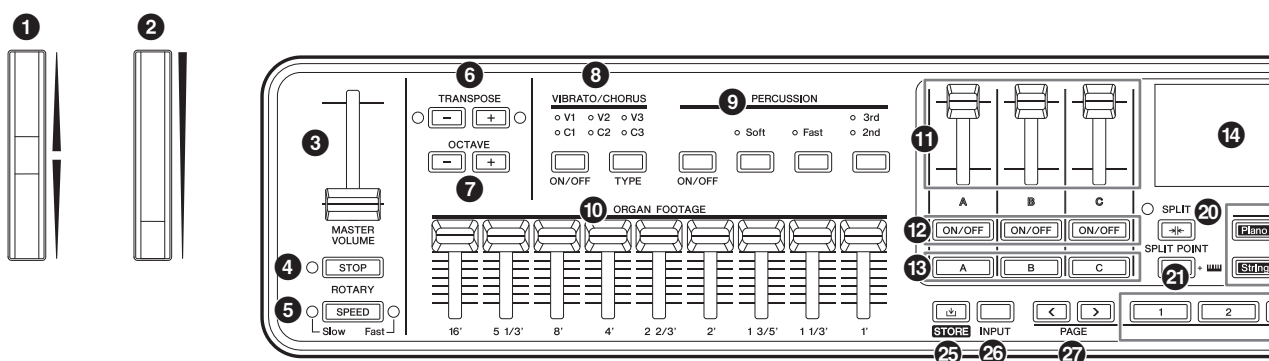
[RELEASE]ノブ

EGのリリースを調節します。ノブを左へ回すと鍵盤を離してからの音の減衰が速くなり、ノブを右へ回すと音の減衰がゆっくりになります。



NOTE

EGの効き具合は、選んだボイスにより異なります。



31 DRIVE [ON/OFF]ボタン DRIVE [DEPTH]ノブ ドライブタイプ切り替えボタン

選択中のパートのドライブを設定します。
[ON/OFF]ボタンでドライブのオンとオフを切り替え、
[DEPTH]ノブで値を調節し、ドライブタイプ切り替え
ボタンでタイプを選びます。

タイプ	説明
O.Drive	軽い歪みを得るのに適したエフェクト
Dist	ハードロックタイプのディストーション
Rotary A	オルガン用のスタンダードなロータリースピーカー
Rotary B	歪みが強いトランジスタプリアンプを接続したロータリースピーカー
Comp	使いやすい1ノブタイプのコンプレッサー

32 EFFECT 1 [ON/OFF]ボタン EFFECT 2 [ON/OFF]ボタン エフェクト[DEPTH]ノブ エフェクト[RATE]ノブ エフェクト[TYPE]ノブ EFFECT 1-EFFECT 2切り替えボタン

選択中のパートのインサージョンエフェクトを設定します。
インサージョンエフェクトは、EFFECT 1 →
EFFECT 2の順にかかります。
[ON/OFF]ボタンでエフェクトのオンとオフを、
EFFECT 1-EFFECT 2切り替えボタンでEFFECT 1と
EFFECT 2を切り替えます。[TYPE]ノブでタイプを選
び、[DEPTH]ノブでインサージョンエフェクトの深さ、
[RATE]ノブでインサージョンエフェクトの速さなどを
調節します。

NOTE

[ENTER]ボタンを押しながらEFFECT 1-EFFECT 2切り替え
ボタンを押すと、EFFECT 1とEFFECT 2の設定を入れ替えて
できます。2つのエフェクトがかかる順番を入れ替えたいときに
便利です(44ページ)。

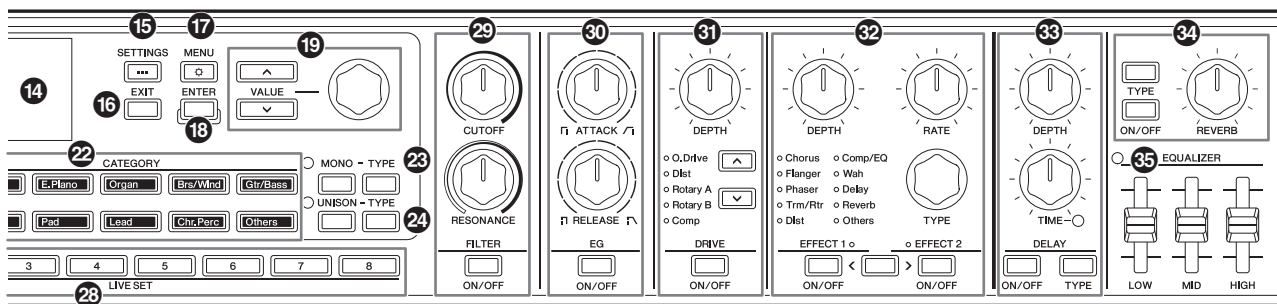
インサージョンエフェクトには、さまざまなキャラク
ターのエフェクトタイプがあります。
エフェクトタイプは、以下の10カテゴリーに分類され
ます。選択したエフェクトタイプのカテゴリーランプが
点灯します。

カテゴリー	説明
Chorus	複数の音が同時に鳴っているような、音に奥行きと厚みを付加するエフェクト
Flanger	ジェット機の上昇下降音のような響きを作り出すエフェクト
Phaser	フィードバック回路と、位相をずらして原音とミックスするフェーズシフト回路を持つエフェクト
Trm/Rtr	Trm (トレモロ)は、音量が周期的に変化するエフェクト Rtr (ロータリースピーカー)は、オルガンサウンドでポピュラーなロータリースピーカーの効果をシミュレートしたエフェクト
Dist	サウンドが歪むエフェクト
Comp/EQ	Comp (コンプレッサー)は大きな音を圧縮したり小さな音を持ち上げたりして、音のツブをそろえたり音に迫力を出したりするエフェクト EQは音質を整えるエフェクト
Wah	フィルターの周波数特性が変化することで、独特のサウンドを作り出すエフェクト
Delay	入力音が時間的に遅れることで、やまびこのような効果を作り出すエフェクト
Reverb	複雑な残響音を人工的に作って、音が鳴っている空間の広がり再現するエフェクト
Others	上記のカテゴリーに含まれないタイプのエフェクト

エフェクトタイプの詳細については、「エフェクト一覧」
(45ページ)をご覧ください。

NOTE

[ENTER]ボタンを押しながらエフェクト[TYPE]ノブを回すと、次または前のカテゴリーの先頭に移動します。目的のカテゴリーに素早く切り替えたいときに便利です(44ページ)。



33 DELAY [ON/OFF]ボタン DELAY [TYPE]ボタン DELAY [DEPTH]ノブ DELAY [TIME]ノブ

[ON/OFF]ボタンでディレイのオンとオフを切り替えます。[TYPE]ボタンでタイプを選び、[DEPTH]ノブでディレイの深さ、[TIME]ノブでディレイの長さなどを調節します。

タイプ	説明
Digital Delay	クリーンなデジタルディレイ [DEPTH]ノブで深さとフィードバック量、 [TIME]ノブでディレイタイムを調節します。
Analog Delay	アナログ特有のあたたかいサウンドが特徴のディレイ [DEPTH]ノブで フィードバック量、[TIME]ノブでディレイタイムを調節します。
Cross Delay	左右交互に音が残るディレイ [DEPTH]ノブで深さとフィードバック 量、 [TIME]ノブで左右交互に動く速さを調節します。
Tempo Delay	曲のテンポに合わせるディレイ テンポと音符の長さ(Tempo Delay Time)を指定して、その長さでディレイがかかります。 初期設定は1/4 (4分音符)です。 [DEPTH]ノブで深さとフィードバック量、 [TIME]ノブでテンポを調節します。テンポは、 [ENTER]ボタンを3回以上タップすることでも設定できます。 Tempo Delay Timeは、[ENTER]ボタン +[TIME]ノブ操作(44ページ)、または [SETTINGS] → Sound → Common → Tempo Delay Timeで設定できます。

34 REVERB [ON/OFF]ボタン REVERB [TYPE]ボタン REVERB DEPTHノブ

[ON/OFF]ボタンでリバーブのオンとオフを切り替えます。[TYPE]ボタンでタイプを選び、REVERB DEPTHノブでリバーブの深さなどを調節します。

タイプ	説明
Hall Reverb	ホールの響きをシミュレートしたリバーブ
Room Reverb	部屋の響きをシミュレートしたリバーブ
Plate Reverb	プレートリバーブの響きをシミュレートしたリバーブ

35 EQUALIZERスライダー

マスター EQの調節に使用します。設定値が0以外の場合にはランプが点灯します。

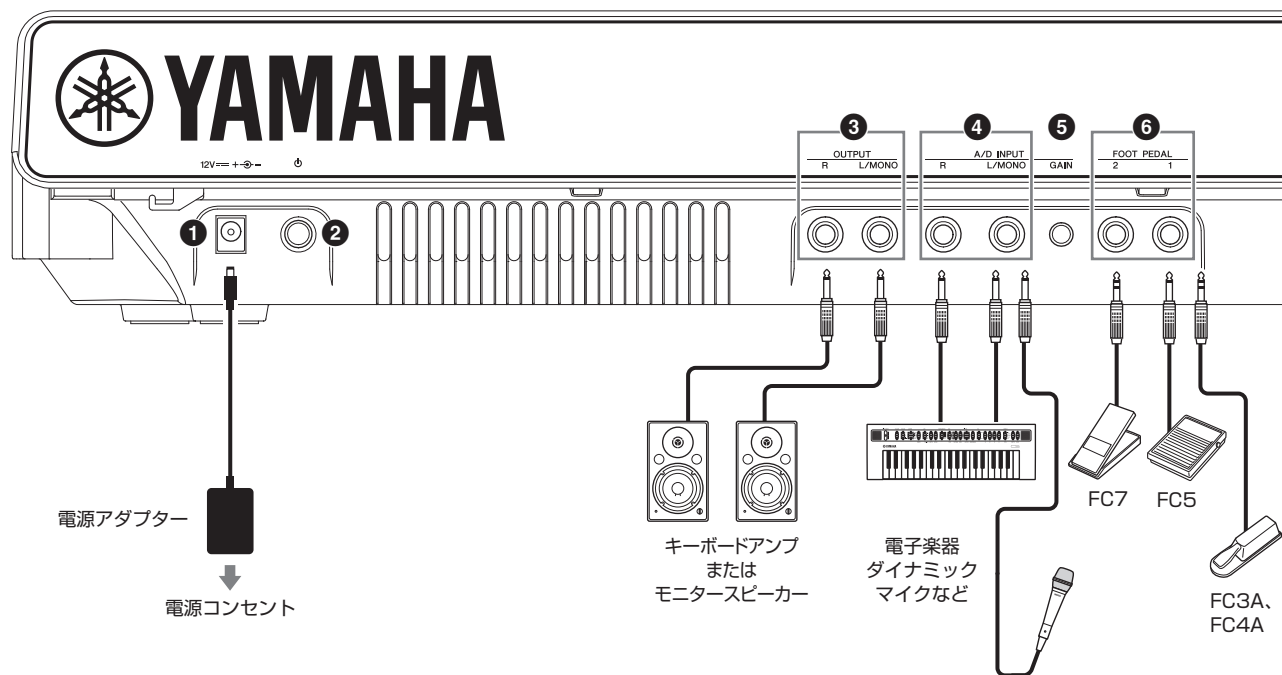
それぞれのタイプのFrequency設定は、[MENU]ボタン → General → System → Master EQから変更できます(38ページ)。

タイプ	説明
[HIGH]	高音域(500 Hz~16 kHz)のゲイン
[MID]	中音域(100 Hz~10 kHz)のゲイン
[LOW]	低音域(32 Hz~2 kHz)のゲイン

EQUALIZERの設定は、Live Set EQがOnの場合にはライブセットサウンドに保存されます。

Live Set EQの設定は、[SETTINGS]ボタン → Sound → Common → Live Set EQから変更できます(32ページ)。

リアパネル



① DC IN端子(22ページ)

付属の電源アダプターを接続します。

② [⏻](スタンバイ/オン)スイッチ(24ページ)

電源のスタンバイ(■)とオン(■)を切り替えます。

③ OUTPUT端子

オーディオ信号を出力する標準フォーン端子(アンバランス)です。

モノラル出力したい場合は、[L/MONO]端子だけに接続します。

④ A/D INPUT端子

本機に外部オーディオ信号を入力する端子(標準ジャック)です。

シンセサイザーなどの電子楽器や音楽プレーヤーなどのオーディオ機器、ダイナミックマイクを接続し、外部オーディオ信号をオーディオ入力パートとして鳴らすことができます。

さらに本機では、外部オーディオ信号にエフェクトをかけることができます。エフェクトの種類などは[INPUT]ボタンから設定します。

端子の入カソース(LINEまたはMIC)の切り替えについては、[MENU]ボタン → General → Audio → A/D Input Typeで設定します。

NOTE

コンデンサーマイクは使用できません。

⑤ A/D INPUT [GAIN]ノブ

A/D INPUT端子に接続した他の楽器や音響機器などからの出力を、本機のサウンドにミックスして出力します。本機とのボリュームのバランスを調節します。

⑥ FOOT PEDAL端子

別売のサステインペダルなどを接続します。

接続できるのはフットペダル FC3A、フットスイッチ FC4A、フットスイッチFC5、フットコントローラー FC7です。

接続するペダルの種類は、[MENU]ボタン → General → Foot Pedalで設定します。

NOTE

接続したペダルの種類とFoot Pedal設定が合っていない場合は、動作しなかったり、誤作動したりする可能性があります。ペダルの種類と設定が合っているかを確認してください。

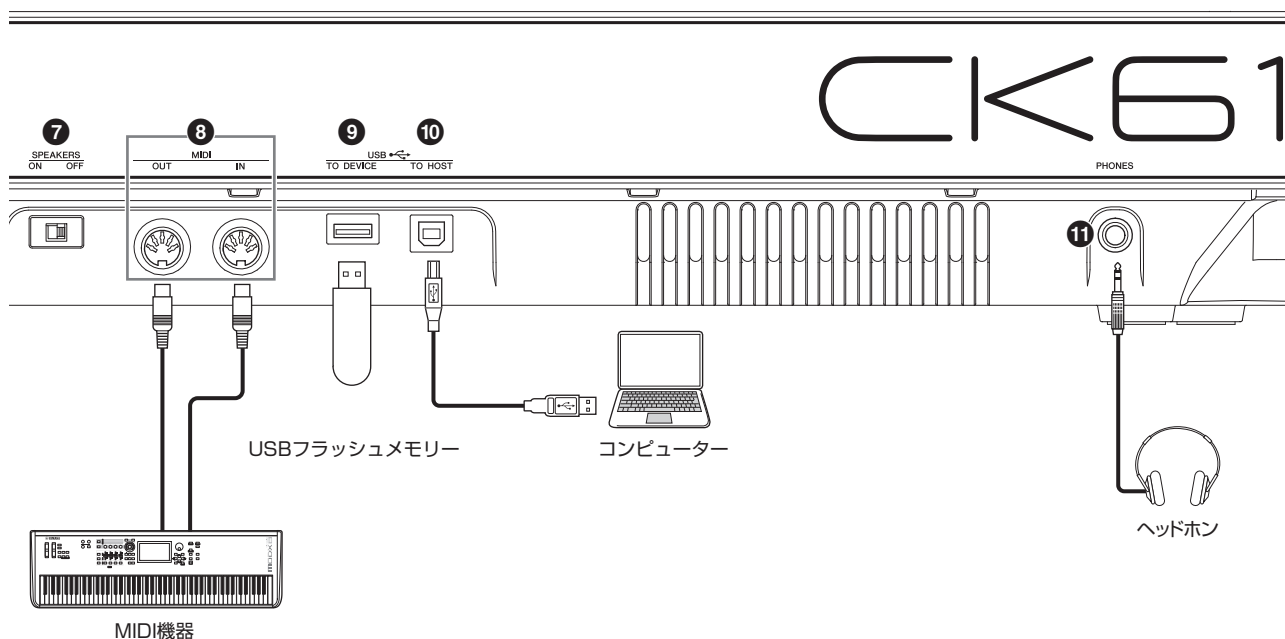
サステインやソステヌートなどのパラメーターの割り当ては、[SETTINGS]ボタン → Controllers → Foot Pedal 1または Foot Pedal 2 → Assignから設定できます(33ページ)。

⑦ SPEAKERSスイッチ

内蔵スピーカーのオンとオフを切り替えます。

スイッチがオンの場合でもSpeaker MuteでAuto (自動)が選択されていると、ヘッドホンの使用時に内蔵スピーカーがミュートされます。

Speaker Muteの切り替えは、[MENU]ボタン → General → System → Speaker → Speaker Muteで設定します。



⑧ MIDI端子

市販のMIDIケーブルを使って、本機のMIDI端子と外部MIDI機器のMIDI端子を接続します。本機から外部MIDI機器をコントロールしたり、外部MIDIキーボードやシーケンサーで本機の音源を鳴らしたりすることができます。

⑨ USB [TO DEVICE]端子

本機とUSBフラッシュメモリーとを接続するために使います。本機にストアされたライブセットサウンドをUSBフラッシュメモリーに保存したり、USBフラッシュメモリーから本機にライブセットサウンドを読み込んだり、オーディオファイルを再生したりできます。

NOTE

- 本機では、USB [TO DEVICE]端子に接続して使用できるのは、USBフラッシュメモリーだけです。USB対応のハードディスクドライブやCD-ROMドライブ、USBハブなどは使用できません。
- 演奏情報をUSBフラッシュメモリーに録音することはできません。

⑩ USB [TO HOST]端子

コンピューターやiPhone、iPadなどのスマートデバイスと本機をUSBケーブルで接続して、MIDIやオーディオを送受信できます。USB [TO HOST]端子では2つのMIDIポート(50ページ)を同時に扱うことができます。

NOTE

USB [TO HOST]端子では、サンプリング周波数44.1 kHz、24ビット、2チャンネル(1ステレオチャンネル)のオーディオを扱えます。

⑪ [PHONES]端子

ヘッドホンを接続するステレオ標準フォーン端子です。Speaker MuteがAutoに設定されている場合は、ヘッドホンを接続すると内蔵スピーカーがミュートされます。

⚠ 注意

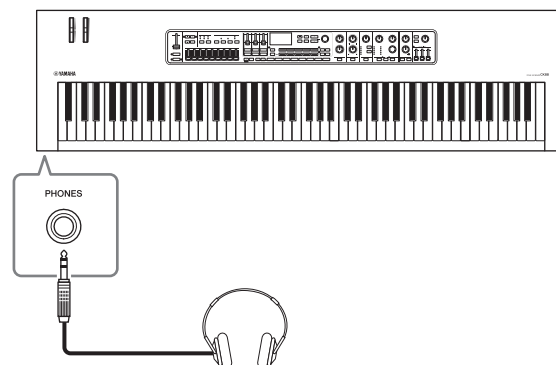
- 大きな音量で長時間ヘッドホンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。
- 外部機器と接続するときは、すべての機器の電源を切った状態で行ってください。

NOTE

ヘッドホンでは、OUTPUT端子の出力と同じサウンドをモニターできます。OUTPUT端子からのサウンドは、ヘッドホンの抜き差しに関係なく出力されます。

CK88の[PHONES]端子は手前側に装備されています。

CK88



ご使用前の準備

本機の電源には、電源アダプターか電池を使用できますが、環境に配慮して、電源アダプターのご使用をおすすめします。

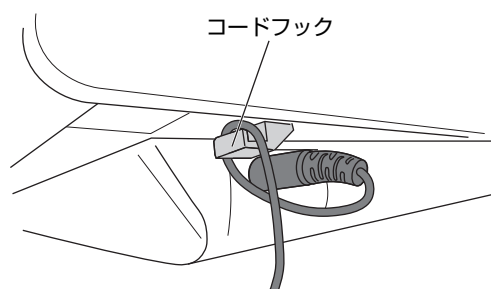
ご注意

USBフラッシュメモリーに対する操作を行う場合は、電源アダプターをご使用ください。電池を使用すると、操作中に電源が切れて設定を失うおそれがあります。

電源アダプターを使う

次の順番で付属の電源アダプターを接続します。電源アダプターを接続する前に、本体の[⓪](スタンバイ/オン)スイッチがスタンバイの状態(■)になっていることを確認してください。

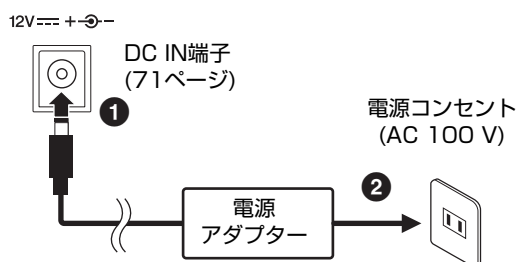
1. 付属の電源アダプターのコードを、リアパネルにあるコードフックに図のように(参考例)セットし、プラグをDC IN端子に接続します。



ご注意

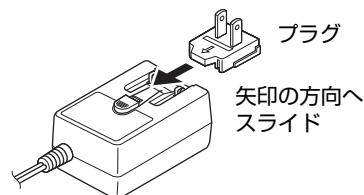
電源アダプターのコードをコードフックにセットすることによって、誤ってコードを引っ掛けた場合でも抜けにくくなります。ただし、この状態でコードを強く締めこんだり、コードを引っ張ったりすることは、コード表面の摩擦やフックの破損につながりますのでご注意ください。

2. 電源アダプターのもう一端のプラグを電源コンセント(AC100V)に接続します。



警告

- 電源アダプターは、必ず指定のもの(71ページ)をご使用ください。異なった電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねることがございますので、十分にご注意ください。
- プラグが外れるタイプの電源アダプターは、必ずプラグを装着した状態で使用、または保管してください。プラグ部分だけをコンセントに差し込むと、感電や火災の原因になります。
- プラグが外れた場合は、内部の金属部分に触れないように注意して、カチッと音がするまで完全に差し込んでください。また、異物が入らないようにご注意ください。感電やショート、故障の原因になります。



注意

本機はコンセントの近くに設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

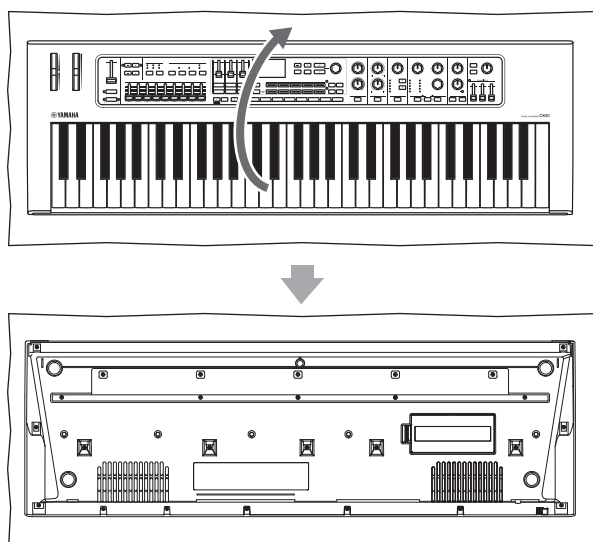
NOTE

- 電源アダプターを外すときは、電源を切ってから、逆の手順で行ってください。
- 電源アダプターが接続されている場合は、電池がセットされていても電源はアダプターから供給されます。
- [⓪](スタンバイ/オン)スイッチがオン(■)の状態ではDCプラグを抜いたり差ししたりしないでください。故障の原因になります。

電池を使う

本機では、単3形のアルカリ乾電池および充電式ニッケル水素電池(充電電池)を使用できます。
長時間使用したい場合は、電源アダプターの使用をおすすめします。

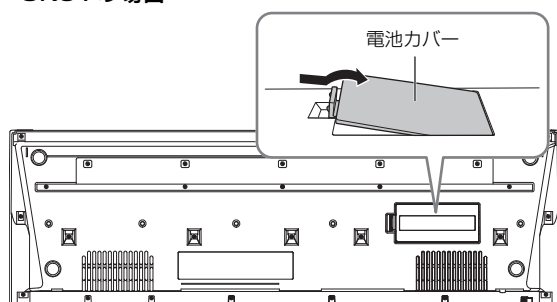
1. 電源が切れていることを確認してください。
2. 本機を柔らかい布などの上でゆっくり裏返します。



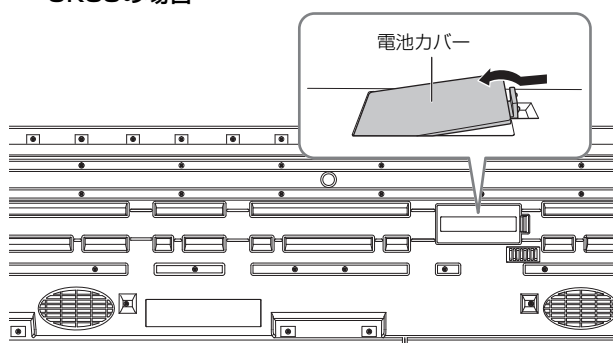
楽器底面

3. 電池カバーを外します。

CK61の場合



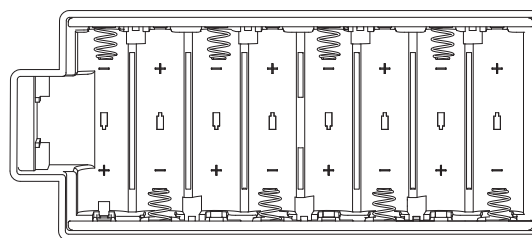
CK88の場合



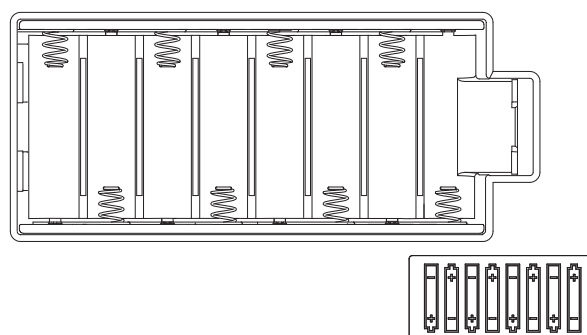
4. 電池8本を入れます。

イラストに合わせて、向きを間違えないように入れてください。

CK61の場合

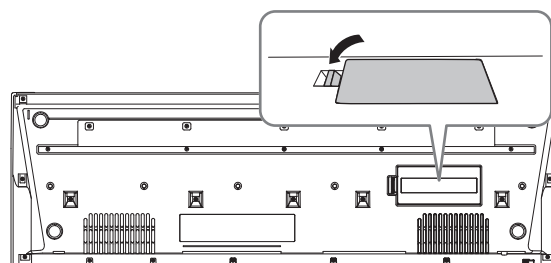


CK88の場合



5. 電池カバーを閉めます。

電池カバーは音がするまでしっかり閉めてください。



6. 本機の位置を戻します。

フロントパネルが下になったままにしないでください。



ご注意

- 電池がセットされ電源が入っているときに、電源アダプターを抜き差しすると、電源が切れることがあります。電源が切れると編集中の設定が失われますので、ご注意ください。
- 電池は早めの交換をおすすめします。電池残量が少なくなると、音量が小さくなったり、音質が劣化したり、また正常に動かなくなることがあります。このような場合は、すべての乾電池を交換するか、すべての充電電池を充電してください。

NOTE

- 充電電池は、必ず専用の充電器で充電してください。この楽器では充電できません。
- 電池が本機に入っている状態でも、アダプターを本機に差し込むと、アダプターから電源が供給されます。

■ 電池の残量表示

表示	説明
	電池の残量が十分にあります。
	電池残量が少なくなっています。表示が出てからしばらくすると、内蔵スピーカーがオフになります。編集時の設定を保存し、早めの電池交換をおすすめします。

電源を入れる 電源を切る

電源を入れる前に、本機とキーボードアンプやモニタースピーカーのボリュームが最小になっていることを確認します。キーボードアンプやモニタースピーカーに接続しているときは、次の手順で電源をオン/オフしてください。

■ 電源を入れるとき

本機の[MASTER VOLUME]を最小(一番下)にする → 本体の[⏻](スタンバイ/オン)スイッチをオン(■)にする → アンプまたはスピーカーの電源を入れる

■ 電源を切るとき

本機の[MASTER VOLUME]を最小(一番下)にする → アンプまたはスピーカーの電源を切る → 本体の[⏻](スタンバイ/オン)スイッチをスタンバイ(■)にする

オートパワーオフ機能

オートパワーオフは、本機が約30分間操作されないと自動的に電源が切れる機能です。工場出荷時の状態ではAuto(自動)に設定されています。Auto設定では、電源アダプター使用時はオートパワーオフ機能が無効に、電池使用時には有効に切り替わります。

ご注意

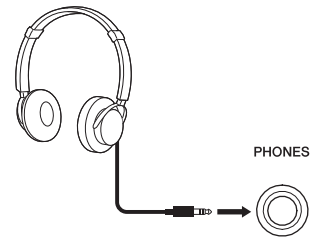
- オートパワーオフ機能により電源が切れると、保存していない設定は失われます。電源が切れる前に必ず設定を保存してください(26ページ)。
- アンプ、スピーカー、コンピューターなどの外部機器を本体に接続した状態で、一定時間本体を操作しない場合は、外部機器損傷を防ぐために取扱説明書の手順に従って外部機器と本機の電源を切ってください。接続した状態で自動的に電源が切れるのを避けたい場合は、オートパワーオフを無効にしてください。

■ オートパワーオフの設定

[MENU]ボタン → General → System → Auto Power Offで設定できます(38ページ)。

ヘッドホンの準備

ヘッドホンを[PHONES]端子に接続します。



Speaker MuteがAutoに設定されている場合は、ヘッドホンを接続すると内蔵スピーカーがミュートされます。Manualの場合は、リアパネルのSPEAKERSスイッチをOFFにするとミュートされます。設定は、[MENU]ボタン → General → System → Speakerから変更できます。内蔵スピーカーがミュートされていても、OUTPUT端子からは[PHONES]端子と同じ音が出力されます。



注意

- 大きな音量で長時間ヘッドホンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。
- 外部機器と接続するときは、すべての機器の電源を切ったうえで行ってください。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器の音量を最小にしてください。感電または機器の損傷のおそれがあります。

ご注意

本機の音を外部機器に出力するときは、最初に本機、次に外部機器の順に電源を入れてください。電源を切るときはこの逆の順で行ってください。機器の損傷の原因になります。

USBフラッシュメモリーの取り扱い

本機リアパネルのUSB [TO DEVICE]端子にUSBフラッシュメモリーを接続すると、ライブセットサウンドなどのバックアップファイルをUSBフラッシュメモリーに保存(セーブ)したり、バックアップファイルから設定を読み込んだり(ロード)できます。

USB [TO DEVICE]端子ご使用上の注意

本機のUSB [TO DEVICE]端子にUSBフラッシュメモリーを接続するときは、以下のことを守ってください。

NOTE

USBフラッシュメモリーの取り扱いについては、お使いのUSBフラッシュメモリーの取扱説明書もご参照ください。

■ 使用できるUSB機器

- USBフラッシュメモリー

上記以外のUSB機器(USBハブ、マウス、コンピューターのキーボードなど)は、接続しても使えません。

動作確認済みUSB機器については、下記ウェブサイトの「資料/データ」から確認できます。ご購入の前に確認ください。

サポート・お問い合わせ：

<https://jp.yamaha.com/support/>

本機では、USB1.1～2.0の機器がご使用できますが、USBフラッシュメモリーへの保存やUSBフラッシュメモリーからの読み込みにかかる時間は、ファイルの種類や本機の状態により異なりますのでご了承ください。

ご注意

USB [TO DEVICE]端子の定格は、最大5 V/500 mAです。定格を超えるUSB機器は故障の原因になるため、接続しないでください。

■ USBフラッシュメモリーの接続

USB [TO DEVICE]端子の形状に合うプラグを上下の向きに注意して差し込んでください。

ご注意

- USBフラッシュメモリーの抜き差しは、ファイル操作中(保存、コピー、削除、フォーマットなど)、およびUSBフラッシュメモリーへのアクセス中には行わないでください。本機の機能が停止したり、USBフラッシュメモリーやファイルが壊れたりするおそれがあります。
- USBフラッシュメモリーの抜き差しは、数秒間隔を空けてください。
- USBフラッシュメモリーの接続にケーブルは使わないでください。

■ USBフラッシュメモリーのフォーマット

USBフラッシュメモリーは本機でフォーマット(38ページ)することをおすすめします。他の機器でフォーマットしたUSBフラッシュメモリーは、本機で正しく動作しない場合があります。

ご注意

フォーマットすると、そのUSBフラッシュメモリーの中身は消去されます。必要なファイルが入っていないのを確認してからフォーマットしてください。

■ 誤消去防止

USBフラッシュメモリーには、誤ってファイルを消してしまわないようライトプロテクト機能の付いたものがあります。大切なファイルが入っている場合は、ライトプロテクトで書き込みができないようにしましょう。逆にファイルを保存する場合などは、ご使用前にお使いのUSBフラッシュメモリーのライトプロテクトが解除されていることをご確認ください。

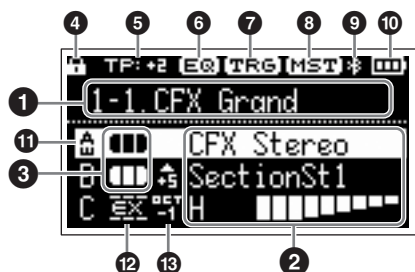
■ USBフラッシュメモリー接続時に電源を切るには

電源を切る場合は、ファイル操作(保存、コピー、削除、フォーマットなど)によるUSBフラッシュメモリーへのアクセス中でないことを確認してください。USBフラッシュメモリーやファイルが壊れたりするおそれがあります。

基本操作

トップ画面の見かた

ここでは、本機を起動したときに開くトップ画面について説明します。



① ライブセットサウンドナンバー

選択中のライブセットサウンドナンバーが表示されます。

初期設定では本機起動時に1-1が表示されます。起動時に表示されるライブセットサウンドナンバーを変えるには[MENU]ボタン → General → System → Power On Soundを開きます(38ページ)。

② ボイス

パートがオンのとき、ボイス名が表示されます。一部のオルガンボイスでは、ボイス名とドローバーの設定が表示されます。

③ スプリットとレイヤー

スプリットとレイヤーの状態が表示されます。スプリットポイントは、右側の鍵域の最低音です。

その他のアイコン

④		パネルロックがオン [ENTER]ボタン + [MENU]ボタンで設定する
⑤		ライブセットサウンドのSound Transposeが0以外に設定(±12)されている
⑥		Live Set EQがオンに設定されている
⑦		オーディオトリガー機能がオンに設定されている
⑧		マスターキーボードがオンに設定されている
⑨		Bluetooth接続中
⑩		電池の残量(電池使用時だけ表示される)
⑪		パートのTouch Sensitivity設定が変更されている (パートAの場合)

⑫		パートのExternal KeyboardがExtOnlyに設定されている 外部鍵盤の演奏で本機の音源部が鳴る
⑬		パートのノートシフトが0以外に設定(±24)されている ノートの設定値が-24、-12、+12、+24の場合は、OCT-2、-1、+1、+2として表示

ライブセットサウンドを作る

ライブセットサウンドを使ってサウンドメイキングを行います。

ボイスを選び、組み合わせる



オルガンボイスを作る

音色を加工する

ライブセットサウンドを選ぶ

サウンドメイキングの基本的な手順は以下のとおりです。

1. ライブセットサウンドを選ぶ
2. 各パートのボイスを選ぶ
3. ボイスの組み合わせを決める
4. (オルガンボイスを作る)
5. EG、フィルター、エフェクト、モノ、ユニゾン機能を使って音を加工する
6. ライブセットサウンドを保存する

ライブセットサウンドを保存する

編集したライブセットサウンドは、[STORE]ボタンを使うと本機内に保存されます。

1. [STORE]ボタンを押します。
保存先の選択画面が表示されます。



2. エンコーダーダイヤルで、保存先のライブセットサウンドナンバーを選びます。

保存先の既存の音は鍵盤演奏で確認できます。

ご注意

- 同じライブセットサウンドナンバーを選んだ場合は、ライブセットサウンドが上書きされます。元のライブセットサウンドは消えてしまいますのでご注意ください。
- 保存する前に別のライブセットサウンドを選んだり、電源を切ったりすると、編集中的内容は消えてしまいます。

3. [ENTER]ボタンを押してストアします。

ストアが終わると画面に「Completed.」と表示され、トップ画面に戻ります。

編集中的のライブセットサウンドを保存するときに別のライブセットサウンドナンバーを選んだ場合は、元のライブセットサウンドナンバーのライブセットサウンドが編集前の状態で保持されます。

NOTE

保存する前に別のライブセットサウンドを選んでしまい、編集中的の内容が消えてしまった場合は、Edit Recall機能を使って、編集した最後の状態に戻すことができます(42ページ)。

ライブセットサウンドのサポート機能を使う

ライブセットサウンドのサポート機能を使うと、外部入力の音声にエフェクトをかけたり、演奏中にオーディオファイルを再生したりできます。

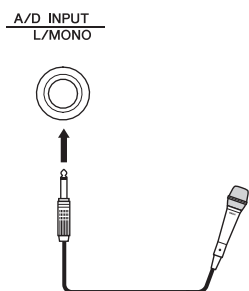
外部入力にエフェクトをかける

A/D INPUT端子には他の電子楽器やダイナミックマイクなどを接続し、外部オーディオ信号にエフェクトをかけることができます。

ここではダイナミックマイクの例を説明します。

1. リアパネルのAD INPUT [L/MONO]端子にダイナミックマイクを接続します。

ダイナミックマイクの例



2. [MENU]ボタン → General → Audio → A/D Input Typeで Micを選びます。

3. [INPUT]ボタンを押します。

A/D Input画面が表示されます。

4. Input Effect1またはInput Effect2のTYPEからエフェクトタイプを選びます。

以上で準備完了です。

[STORE]ボタンを押すと、A/D Input画面の設定がライブセットサウンドに保存されます。

オーディオファイルを鳴らす

ライブセットサウンドを演奏するとき、USBフラッシュメモリーに保存しておいたオーディオファイルを鍵盤操作で再生できます。

1. コンピューターからUSBフラッシュメモリーにオーディオファイル(.wav)を保存します。

オーディオファイルは.wav (44.1 kHz、16 bit、Stereo)に対応しています。.wavの場合でも48 kHzやMonoのフォーマットでは再生できません。

2. リアパネルのUSB [TO DEVICE]端子にUSBフラッシュメモリーを差し込みます。

3. [SETTINGS]ボタン → Function → Audio Triggerを選びます。

4. 設定を切り替えます。

- Switch: onにする
- File: 再生したいオーディオファイルを選ぶ
- Volume: 再生ボリュームを設定する
- Key Assign: 再生のスタートとストップに使う鍵(一番右または一番左)を選ぶ
- Play Mode: 再生するモードを設定する

5. オーディオファイルを鳴らしたいタイミングで、Key Assignで指定した鍵を押します。

再生がスタートします。

オーディオファイルの再生モードは、Play Modeで設定します。

Play Modeは、[SETTINGS]ボタン → Function → Audio Trigger → Play Modeから変更できます(34ページ)。

ライブセットサウンドの管理

ライブセットサウンド名を編集する

名前を編集したいライブセットサウンドを選択 → [SETTINGS]ボタン → Name → 名前を編集 → [ENTER]ボタン → Storeを選択

NOTE

Do not store nowを選択した場合は、ライブセットサウンドの保存はされませんが、編集した名前は残ります。

■ 名前編集中の操作

LIVE SET [1][2]ボタンで、カーソル()を動かします。エンコーダーダイヤルやVALUEボタンで文字を選択し、ボタンに割り当てられた編集機能を使って名前を編集します。



ボタン	操作
LIVE SET [1] 1 +	カーソルを左に移動
LIVE SET [2] 2 +	カーソルを右に移動
LIVE SET [3] 3 INSERT	反転表示された文字をカーソル位置に挿入
LIVE SET [4] 4 DELETE	カーソル位置の文字を削除
LIVE SET [5] 5 MODIFY	反転表示された文字をカーソル位置の文字に上書き
LIVE SET [7] 7 REVERT	全文字を編集前に戻す
LIVE SET [8] 8 CLEAR	全文字を削除
[ENTER]	名前を保存して編集を終了
[EXIT]	名前を保存しないで編集を終了

ライブセットサウンドの並び替えとコピー

1. 入れ替え元またはコピー元になりたいライブセットサウンドを呼び出します。
2. [MENU]ボタン → Job → Live Set Manager → Swap (並び替え)またはCopy (コピー)を選びます。
3. エンコーダーダイヤルで入れ替え先またはコピー先ライブセットサウンドナンバーを選びます。



4. [ENTER]ボタンを押して並び替えまたはコピーします。

入れ替えまたはコピーが終わると、画面に「Completed.」と表示され、トップ画面に戻ります。

ライブセットサウンドを初期化する

ライブセットサウンドを初期化すると、パートAだけがONになり、Pianoカテゴリーの1番目のボイスが選択されます。フィルターとEGとエフェクトは、すべて初期値に戻ります。

1. 初期化したいライブセットサウンドを呼び出します。
2. [MENU]ボタン → Job → Live Set Manager → Initializeを選びます。
3. エンコーダーダイヤルでLive Set Sound Initを選びます。
4. [ENTER]ボタンを押して初期化します。
初期化が終わると画面に「Completed.」と表示され、トップ画面に戻ります。

NOTE

ライブセットサウンドを初期状態にしたい場合は、[ENTER]ボタンと[SETTINGS]ボタンを同時に押します(44ページ)。この操作では保存されているライブセットサウンドは上書きされません。

ライブセットサウンドをUSBフラッシュメモリーに保存する

本機内にストアされたライブセットサウンドは、USBフラッシュメモリーにファイルとしてセーブできます。USBフラッシュメモリーを使う前には、必ず「USB [TO DEVICE]端子ご使用上の注意」(25ページ)をお読みください。

1. USBフラッシュメモリーを本機のUSB [TO DEVICE]端子に接続します。
2. [MENU]ボタン → Fileを選びます。
3. セーブするファイルタイプを選びます。

ファイルタイプ	内容
Back Up File	本機全体の設定と、すべてのライブセットサウンド
Live Set All File	すべてのライブセットページ
Live Set Page File	選択中のライブセットページ
Live Set Sound File	選択中のライブセットサウンド

4. Saveを選んでから[ENTER]ボタンを押します。

保存先の選択画面が表示されます。

■ 新規ファイルとして保存する場合

New Fileを選びます。

■ 既存のファイルに上書きする場合

画面に表示されたファイル名の中から、上書きしたいファイルを選びます。

5. [ENTER]を押します。

保存ファイル名の編集画面が表示されます。

ファイル名編集時の操作については、「名前編集時の操作」(28ページ)をご覧ください。

6. [ENTER]ボタンを押してセーブします。

セーブが終わると画面に「Completed.」と表示され、トップ画面に戻ります。

セーブされたファイル名を編集する

[MENU]ボタン → File → File Utility → Rename → 名前を編集したいファイルを選択 → 名前を編集 → [ENTER]ボタン

ライブセットサウンドをUSBフラッシュメモリーからロードする

Live Set Sound File以外のファイルタイプでは、ファイルに含まれるライブセットサウンドを1つ選んでロードすることもできます。その場合は、手順6でLoad Live Set Soundを選択します。ライブセットサウンドの選択画面が表示されたら、ロードしたいライブセットサウンドを選びます。選んだライブセットサウンドは、現在選ばれているライブセットサウンドナンバーにロードされます。

ご注意

ロードすると、本機に保存されているライブセットサウンドは上書きされて消えてしまいます。大切な設定は、あらかじめUSBフラッシュメモリーに保存しておくことをおすすめします。

1. USBフラッシュメモリーを本機のUSB [TO DEVICE]端子に接続します。
2. [MENU]ボタン → Fileを選びます。
3. 本体にロードするファイルタイプを選びます。

ファイルタイプ	内容
Back Up File (拡張子 .Y1A)	本機全体の設定と、すべてのライブセットサウンド
Live Set All File (拡張子 .Y1L)	すべてのライブセットページ
Live Set Page File (拡張子 .Y1P)	ライブセットページ (現在選ばれているライブセットページにロードされます)
Live Set Sound File (拡張子 .Y1S)	ライブセットサウンド (現在選ばれているライブセットサウンドにロードされます)

4. Loadを選んでから[ENTER]ボタンを押します。

5. USBフラッシュメモリー内のファイルを選びます。

ロードをキャンセルする場合は、Cancelを選んでから[ENTER]ボタンを押します。

6. Load AllまたはLoad to ***を選んでから[ENTER]ボタンを押します。

ロードが終わると画面に「Completed.」と表示され、トップ画面に戻ります。

詳細設定

ライブセット(SETTINGSボタン)

[SETTINGS]ボタンから、ライブセットサウンドのさまざまな設定を編集できます。

編集のあとは、[STORE]ボタンを押して設定を保存します。

設定値はライブセットサウンドに保存されます。

操作

1. [SETTINGS]ボタンを押します。
2. VALUEボタンやエンコーダーダイヤルで項目を選び、[ENTER]ボタンを押します。

NOTE

LIVE SET [1]~[6]ボタンを使って各項目を直接選ぶこともできます。LIVE SET [1]~[6]ボタンは、各項目の上からの順番と対応します。選択可能なボタンが点灯します。

3. VALUEボタンやエンコーダーダイヤルで値を選び、[ENTER]ボタンを押します。

設定の変更が終わると、1つ前の項目選択画面に戻ります。

Sound

機能名	内容	
Part A Part B Part C	Mono/ Portamento	Mono/Poly パートを単音で演奏する(Mono)か、複音で演奏する(Poly)かを設定します。 初期設定: Poly
	Type	鍵盤の弾きかたにより、どのようにポルタメントがかかるかを設定します。 • Normal: ノーマルなモノ(単音発音)の設定です。ポルタメントはかかりません。 • Fingered: レガート演奏のときだけ、ポルタメントがかかります。 • Full-time: 常にポルタメントがかかります。 初期設定: Normal
	Portamento Time	ポルタメントのピッチ変化の速さまたはピッチ変化にかかる時間を設定します。 設定値: 0~127
	Portamento Time Mode	ピッチが変化する時間的基準を設定します。 • Rate: 一定の速さでピッチが変化します。 • Time: 一定の時間でピッチが変化します。 初期設定: Rate
Unison	Switch	ユニゾン機能のオンとオフを切り替えます。
	Type	ユニゾンのタイプを選びます。 • Multi Layer: 弾いた鍵盤と同じ音が重なる • Harmonics: 弾いた鍵盤の1オクターブ上の音が重なる • Sub Harmonics: 弾いた鍵盤の1オクターブ下の音が重なる 初期設定: Multi Layer
	Volume	ユニゾン機能で重ねられたパートの音量を調節します。 設定値: 0~127

機能名		内容
Part A Part B Part C	Unison Detune	ユニゾン機能で重ねられたパートのピッチをどのくらいずらすかを設定します。ピッチをずらすことで、コーラスのような効果を作ることができます。 設定値: 0~127
	Note Shift	鍵盤のピッチを半音単位でシフトします。 設定値: -24~+0~+24 NOTE MIDI出力メッセージには反映されません。
	Modulation P.Mod Depth	ピッチモジュレーションはピッチが周期的に変化します。P.Mod Depthではモジュレーションの深さを設定します。 設定値: 0~127
	F.Mod Depth	フィルターモジュレーションはカットオフ周波数が周期的に変化します。F.Mod Depthではモジュレーションの深さを設定します。 設定値: 0~127
	A.Mod Depth	アンプリチュードモジュレーションは音量が周期的に変化します。A.Mod Depthではモジュレーションの深さを設定します。 設定値: 0~127
	Modulation Speed	モジュレーションの速さを設定します。この設定は、P.Mod、F.Mod、A.Modで共通です。 設定値: -64~+0~+63
Touch Sensitivity	Depth	鍵盤を弾いたときの強さ(ベロシティー)を、変換してから音源部に送ります。ここでは、「鍵盤を弾いたときのベロシティー」に対する「実際に音源部に送るベロシティー」の変化の割合を設定します。下のグラフのように、値を大きくするほど、「鍵盤を弾いたときのベロシティー」に対する「実際に音源部に送るベロシティー」の変化が大きくなります。 <div data-bbox="855 1187 1299 1476" data-label="Figure"> <p>オフセット=64の場合</p> </div>
		設定値: 0~127

機能名		内容
Part A Part B Part C	Touch Sensitivity Offset	<p>実際に音源に送るペロシティーの値を一律に増減します。下のグラフのように、ここで設定した値を基に実際のペロシティー値を増減します。ただし、増減した結果、ペロシティーが1より小さくなる場合は1になり、127より大きくなる場合は127になります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>デプス=64、 オフセット=32のとき</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>デプス=64、 オフセット=64のとき</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>デプス=64、 オフセット=96のとき</p> </div> <p>設定値: 0~127</p>
Common	Transpose	<p>ピッチを半音単位で上下します。</p> <p>設定値: -12~+12</p> <p>NOTE MIDI出力メッセージには反映されません。</p>
Layer/Split	Mode	<p>レイヤーとスプリットの組み合わせを選びます。[SPLIT]ボタンからも設定できます。</p> <p>設定値: ABC、A/BC、AB/C、A/B/C 初期設定: ABC</p>
	Split Point	<p>Split Modeで鍵盤を分けて鳴らすときのスプリットポイント(右側の鍵域の最低音)をノート名で設定します。</p> <p>Split ModeがA/B/Cの場合は、2つのスプリットポイントを設定します。</p> <p>[SPLIT POINT]ボタンからも設定できます。</p> <p>設定値: C#-2~G8 初期設定: G2 C3はMIDIノートナンバー 60です。</p>
Live Set EQ	Mode SW	<p>Live Set EQ Modeのオンとオフを切り替えます。</p> <p>初期設定: Off</p>
	EQ Settings	<p>Live Set SoundにかけるEQを設定します。</p>
	High Gain	<p>高音域のゲインを設定します。</p> <p>設定値: -12 dB~0~+12 dB</p>
	High Frequency	<p>高音域の周波数を設定します。</p> <p>設定値: 500 Hz~16 kHz</p>

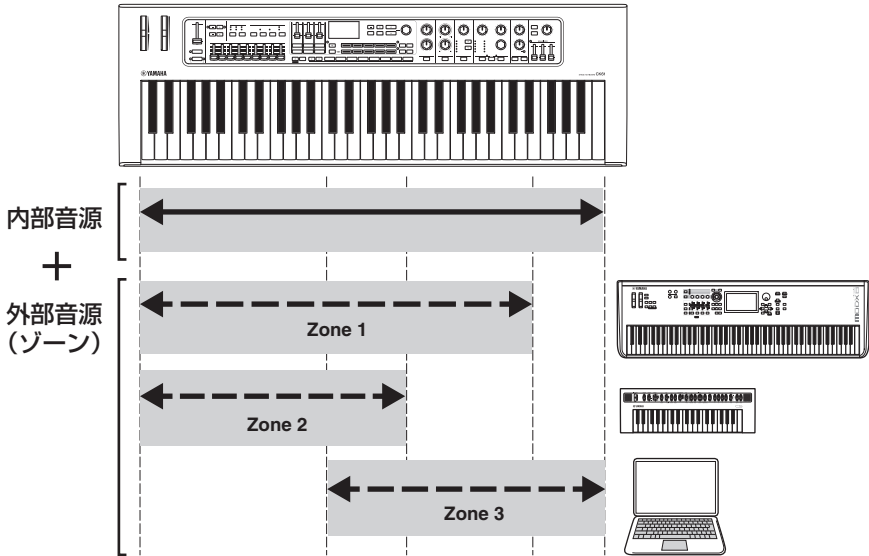
機能名			内容	
Common	Live Set EQ	EQ Settings	Mid Gain	中音域のゲインを設定します。 設定値: -12 dB~0~+12 dB
			Mid Frequency	中音域の周波数を設定します。 設定値: 100 Hz~10 kHz
			Low Gain	低音域のゲインを設定します。 設定値: -12 dB~0~+12 dB
			Low Frequency	低音域の周波数を設定します。 設定値: 32 Hz~2.0 kHz
	Tempo Delay Time		DelayでTempo Delayタイプを選んだ場合に、テンポに対するディレイ時間を音符の長さで設定します。 設定値: 1/32 Tri.~1/2 初期設定: 1/4 NOTE 基準となるテンポは[TIME]ノブで設定するか、[ENTER]ボタンを使ったTap Tempoで設定します。	

Controllers

機能名			内容
Pitch Bend Range	Part A		ピッチベンドの範囲を半音単位で設定します。 設定値: -24~+0~+24
	Part B		初期設定: +2
	Part C		
Mod Wheel Assign			モジュレーションホイールに割り当てる機能を設定します。 コントロールチェンジナンバー 1~119またはUSBオーディオの音量を割り当てることができます。 設定値: Off、1~119、USB Audio Volume 初期設定: 1 (Modulation)
Foot Pedal 1 Foot Pedal 2	Assign		FOOT PEDAL端子に接続したペダルに割り当てる機能を設定します。 コントロールチェンジナンバー 1~119またはUSBオーディオの音量を割り当てることができます。 設定値: Off、1~119、USB Audio Volume 初期設定: Foot Pedal 1: 64 (Sustain) Foot Pedal 2: 11 (Expression)
	Limit Low		FOOT PEDAL端子にフットコントローラー (FC7)を接続したときのペダルの下限値を設定します。 設定値: 0~127 初期設定: 0
	Limit High		FOOT PEDAL端子にフットコントローラー (FC7)を接続したときのペダルの上限値を設定します。 設定値: 0~127 初期設定: 127
Receive SW	Expression	Part A	外部から受信したMIDIメッセージや、フットスイッチまたはフットコントローラーの操作によって発生するMIDIメッセージを各パートが受信する(On)か、しない(Off)かを設定します。 初期設定: On
	Sustain	Part B	
	Sostenuto	Part C	
	Soft		

Function

機能名		内容
Part Color	Part A	パートのLEDの色を設定します。
	Part B	設定値: Red、Orange、Yellow、Lime、Green、Spring、Cyan、Azure、Blue、Violet、Magenta、Rose
	Part C	
Audio Trigger	Switch	オーディオトリガー機能のオンとオフを切り替えます。 初期設定: Off
	File	オーディオトリガー機能で鳴らすオーディオファイルを選びます。
	Volume	オーディオファイルの再生ボリュームを設定します。 設定値: 0~127
	Key Assign	オーディオファイル再生に使う鍵を選びます。 設定値: Lowest (一番左)、Highest (一番右) 初期設定: Highest
	Play Mode	オーディオファイルの再生モードを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • One Shot: 鍵盤を押すたびに先頭から再生します。 • Play/Stop: 鍵盤を押すと再生し、もう一度押すと再生が止まり先頭に戻ります。 • Play/Pause: 鍵盤を押すと再生し、もう一度押すと一時停止します。次に押したときは停止位置から再生します。 初期設定: One Shot
External Keyboard	外部MIDI機器から演奏情報(キーオン、キーオフ)のMIDIメッセージを本機が受信したときの、各パートの発音について設定します。本機と外部鍵盤を組み合わせると2段鍵盤のように鳴らしたり、特定のパートだけを外部鍵盤で鳴らしたりするような設定ができます。	
	NOTE 外部鍵盤だけで演奏する設定にしたパートは、トップ画面のスプリット表示が  などから  に変化します。	
Part A Part B Part C	<ul style="list-style-type: none"> • Ext+Int: 外部MIDI機器から受けたキーオンと、本機鍵盤の演奏のどちらでも本機の音源部が鳴ります。 • ExtOnly: 外部MIDI機器から受けたキーオンでだけ、本機の音源部が鳴ります。本機鍵盤を弾いても鳴りません。 • Off: 外部MIDI機器から受けたキーオンでは本機の音源部が鳴りません。本機鍵盤を弾くと鳴ります。 初期設定: Ext+Int	
	接続例(CK61のPart AのピアノをMX88だけで演奏できる設定) Part A=ExtOnly、Part B=Off、Part C=Off	
		

機能名	内容																								
Master Keyboard	<p>本機をマスターキーボードとして使う機能です。ゾーン(領域)ごとに1つの外部音源をコントロールします。最大4つのゾーンを使って、本機の音源部と組み合わせたライブセットサウンドや、外部音源だけで構成されたライブセットサウンドを作ることができます。</p> <p>本機とゾーン1~3を組み合わせた例</p> 																								
Mode SW	<p>Master Keyboard Modeを切り替えます。Onにすると有効となり、トップ画面に MSK が表示されます。</p> <p>初期設定: Off</p>																								
Advanced Zone SW	<p>Master Keyboard Modeの表示範囲を切り替えます。Onにすると詳細設定の項目(*)が表示されます。</p> <p>初期設定: Off</p>																								
Zone Settings	<table border="1"> <tbody> <tr> <td data-bbox="435 1191 528 1305">Zone1 Zone2 Zone3 Zone4</td> <td data-bbox="549 1191 687 1216">Zone Switch</td> <td data-bbox="708 1191 1422 1254"> <p>ゾーンを使う(On)か、使わない(Off)かを設定します。</p> <p>初期設定: Zone 1 = On, Zone 2~4 = Off</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="549 1283 676 1308">Tx Channel</td> <td data-bbox="708 1283 1422 1375"> <p>ゾーンのMIDI送信チャンネルを設定します。</p> <p>設定値: 1~16</p> <p>初期設定: Zone 1 = 1, Zone 2 = 2, Zone 3 = 3, Zone 4 = 4</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="549 1404 683 1429">Octave Shift</td> <td data-bbox="708 1404 1422 1496"> <p>ゾーンのピッチをオクターブ単位でシフトします。</p> <p>設定値: -3~+3</p> <p>初期設定: +0</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="549 1525 663 1550">Transpose</td> <td data-bbox="708 1525 1422 1617"> <p>ゾーンのピッチを半音単位で上下します。</p> <p>設定値: -11~+11</p> <p>初期設定: +0</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="549 1646 663 1700">Note Limit Low</td> <td data-bbox="708 1646 1422 1709"> <p>ゾーンの最低音を設定します。</p> <p>初期設定: C-2</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="549 1738 663 1792">Note Limit High</td> <td data-bbox="708 1738 1422 1800"> <p>ゾーンの最高音を設定します。</p> <p>初期設定: G8</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="549 1821 683 1845">Bank MSB *</td> <td data-bbox="708 1821 1422 1912"> <p>ゾーンで鳴らす外部音源にMIDIメッセージとして送信するバンクセレクトMSBを設定します。</p> <p>初期設定: 0</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="549 1942 683 1966">Bank LSB *</td> <td data-bbox="708 1942 1422 2033"> <p>ゾーンで鳴らす外部音源にMIDIメッセージとして送信するバンクセレクトLSBを設定します。</p> <p>初期設定: 0</p> </td> </tr> </tbody> </table>	Zone1 Zone2 Zone3 Zone4	Zone Switch	<p>ゾーンを使う(On)か、使わない(Off)かを設定します。</p> <p>初期設定: Zone 1 = On, Zone 2~4 = Off</p>		Tx Channel	<p>ゾーンのMIDI送信チャンネルを設定します。</p> <p>設定値: 1~16</p> <p>初期設定: Zone 1 = 1, Zone 2 = 2, Zone 3 = 3, Zone 4 = 4</p>		Octave Shift	<p>ゾーンのピッチをオクターブ単位でシフトします。</p> <p>設定値: -3~+3</p> <p>初期設定: +0</p>		Transpose	<p>ゾーンのピッチを半音単位で上下します。</p> <p>設定値: -11~+11</p> <p>初期設定: +0</p>		Note Limit Low	<p>ゾーンの最低音を設定します。</p> <p>初期設定: C-2</p>		Note Limit High	<p>ゾーンの最高音を設定します。</p> <p>初期設定: G8</p>		Bank MSB *	<p>ゾーンで鳴らす外部音源にMIDIメッセージとして送信するバンクセレクトMSBを設定します。</p> <p>初期設定: 0</p>		Bank LSB *	<p>ゾーンで鳴らす外部音源にMIDIメッセージとして送信するバンクセレクトLSBを設定します。</p> <p>初期設定: 0</p>
Zone1 Zone2 Zone3 Zone4	Zone Switch	<p>ゾーンを使う(On)か、使わない(Off)かを設定します。</p> <p>初期設定: Zone 1 = On, Zone 2~4 = Off</p>																							
	Tx Channel	<p>ゾーンのMIDI送信チャンネルを設定します。</p> <p>設定値: 1~16</p> <p>初期設定: Zone 1 = 1, Zone 2 = 2, Zone 3 = 3, Zone 4 = 4</p>																							
	Octave Shift	<p>ゾーンのピッチをオクターブ単位でシフトします。</p> <p>設定値: -3~+3</p> <p>初期設定: +0</p>																							
	Transpose	<p>ゾーンのピッチを半音単位で上下します。</p> <p>設定値: -11~+11</p> <p>初期設定: +0</p>																							
	Note Limit Low	<p>ゾーンの最低音を設定します。</p> <p>初期設定: C-2</p>																							
	Note Limit High	<p>ゾーンの最高音を設定します。</p> <p>初期設定: G8</p>																							
	Bank MSB *	<p>ゾーンで鳴らす外部音源にMIDIメッセージとして送信するバンクセレクトMSBを設定します。</p> <p>初期設定: 0</p>																							
	Bank LSB *	<p>ゾーンで鳴らす外部音源にMIDIメッセージとして送信するバンクセレクトLSBを設定します。</p> <p>初期設定: 0</p>																							

機能名			内容
Master Keyboard	Zone Settings	Zone1 Zone2 Zone3 Zone4	<p>Program Change * ゾーンで鳴らす外部音源にMIDIメッセージとして送信するプログラムチェンジナンバーを選択します。</p> <p>初期設定: 1</p> <hr/> <p>Volume * ゾーンで鳴らす外部音源の音量を設定します。</p> <p>初期設定: 100</p> <hr/> <p>Pan * ゾーンで鳴らす外部音源の定位(パン)を設定します。</p> <p>初期設定: C</p> <hr/> <p>Tx SW Note * ゾーンで鳴らす外部音源に鍵盤のMIDIメッセージを送信する(On)か、送信しない(Off)かを設定します。</p> <p>初期設定: On</p> <hr/> <p>Tx SW Bank * ゾーンで鳴らす外部音源にバンクセレクトのMIDIメッセージを送信する(On)か、送信しない(Off)かを設定します。</p> <p>初期設定: On</p> <hr/> <p>Tx SW Program * ゾーンで鳴らす外部音源にプログラムチェンジのMIDIメッセージを送信する(On)か、送信しない(Off)かを設定します。</p> <p>初期設定: On</p> <hr/> <p>Tx SW Volume * ゾーンで鳴らす外部音源に音量のMIDIメッセージを送信する(On)か、送信しない(Off)かを設定します。</p> <p>初期設定: On</p> <hr/> <p>Tx SW Pan * ゾーンで鳴らす外部音源に定位(パン)のMIDIメッセージを送信する(On)か、送信しない(Off)かを設定します。</p> <p>初期設定: On</p> <hr/> <p>Tx SW PB * ゾーンで鳴らす外部音源にピッチベンドのMIDIメッセージを送信する(On)か、送信しない(Off)かを設定します。</p> <p>初期設定: On</p> <hr/> <p>Tx SW Mod * ゾーンで鳴らす外部音源にモジュレーションのMIDIメッセージを送信する(On)か、送信しない(Off)かを設定します。</p> <p>初期設定: On</p> <hr/> <p>Tx SW Foot Pedal 1 * ゾーンで鳴らす外部音源にFOOT PEDAL [1]のMIDIメッセージを送信する(On)か、送信しない(Off)かを設定します。</p> <p>初期設定: On</p> <hr/> <p>Tx SW Foot Pedal 2 * ゾーンで鳴らす外部音源に FOOT PEDAL [2]のMIDIメッセージを送信する(On)か、送信しない(Off)かを設定します。</p> <p>初期設定: On</p>

A/D Input

機能名	内容
Volume	A/D INPUT端子から入力されたオーディオ信号の音量をライブセットサウンドごとに調節します。 NOTE 全体の音量はA/D INPUT [GAIN]ノブで調節します。 設定値: 0~127
Input Effect 1 Input Effect 2	Type オーディオ信号にかけるエフェクトのタイプを選びます。 設定値: Thru、エフェクトタイプ(「エフェクト一覧」(45ページ)参照) 初期設定: Thru
	Depth オーディオ信号にかけるエフェクトの深さを調節します。 設定値: 0~127
	Rate オーディオ信号にかけるエフェクトの速さを調節します。 設定値: 0~127
Input EQ	オーディオ信号にかけるEQを設定します。
	High Gain 高音域の信号レベルを設定します。 設定値: -12 dB~0~+12 dB
	High Frequency 高音域の周波数を設定します。 設定値: 500 Hz~16 kHz
	Mid Gain 中音域の信号レベルを設定します。 設定値: -12dB~0~+12dB
	Mid Frequency 中音域の周波数を設定します。 設定値: 100 Hz~10 kHz
	Low Gain 低音域の信号レベルを設定します。 設定値: -12 dB~0~+12 dB
	Low Frequency 低音域の周波数を設定します。 設定値: 32 Hz~2.0 kHz
Noise Gate	Switch オーディオ信号にかけるノイズゲートのオンとオフを切り替えます。 設定値: Off、On 初期設定: Off
	Threshold オーディオ信号にかけるノイズゲートのスレッシュホールドを設定します。 設定値: -73 dB~-30 dB 初期設定: -45 dB

Name

ライブセットサウンド名を設定します。ライブセットサウンド名の編集方法は、「ライブセットサウンド名を編集する」(28ページ)をご覧ください。

編集したライブセットサウンド名は、[STORE]ボタンで保存してください(12ページ)。

本機全体(MENUボタン)

[MENU]ボタンから本機全体のさまざまな設定ができます。
設定した値は本機に保存されます。

ご注意

設定を変更してから、トップ画面に戻った時点で保存されます。
トップ画面に戻る前に電源を切ると、設定は保存されません。

操作

1. [MENU]ボタンを押します。
2. VALUEボタンやエンコーダーダイヤルで項目を選び、[ENTER]ボタンを押します。

NOTE

LIVE SET [1]~[6]ボタンを使って各項目を直接選ぶこともできます。LIVE SET [1]~[6]ボタンは、各項目の上からの順番と対応します。選択可能なボタンが点灯します。

3. VALUEボタンやエンコーダーダイヤルで値を選び、[ENTER]ボタンを押します。
設定の変更が終わると、1つ前の項目選択画面に戻ります。

General

機能名	内容
System	Master Tune 本機全体のピッチをチューニングします。 設定値: 414.72 Hz~466.78 Hz 初期設定: 440.00 Hz
	Master EQ マスター EQを設定します。
	High Frequency 高音域の周波数を設定します。 設定値: 500 Hz~16 kHz
	Mid Frequency 中音域の周波数を設定します。 設定値: 100 Hz~10 kHz
	Low Frequency 低音域の周波数を設定します。 設定値: 32 Hz~2.0 kHz
Speaker	Speaker EQ 内蔵スピーカーの音質が、本機をスタンド(本機底面部が開放状態になるタイプ)に設置したときに最適になるようにする(Normal)か、テーブルの上に設置したときに最適になるようにする(Table)かを選びます。 設定値: Normal、Table 初期設定: Normal
	Speaker Mute ヘッドホン使用時に内蔵スピーカーを自動でミュートする(Auto)か、SPEAKERSスイッチを使って手動でミュートする(Manual)かを選びます。 設定値: Auto、Manual 初期設定: Auto
	Auto Power Off オートパワーオフの設定を切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> • Disable: 自動的に電源が切れません。 • Enable: 約30分操作されないと自動的に電源が切れます。 • Auto: 電源アダプター使用時はDisableに、電池使用時にはEnableに切り替わります。 初期設定: Auto
	Power On Sound 本機の電源起動時に選択されるライブセットサウンドを設定します。 初期設定: 1-1

機能名			内容
MIDI	MIDI Port	MIDI	<p>MIDI端子を本機音源部とのMIDIメッセージ送受信に使う(On)か、使わない(Off)かを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • On: ポート1 (本機音源部とのメッセージ送受信)として使います。 • Off: ポート2 (USB-MIDIインターフェース)として使います。MIDI [IN]端子で受信したMIDIメッセージはUSBのポート2 (MIDIOUT2)へ送信されず、USBのポート2 (MIDIIN2)で受信したMIDIメッセージはMIDI [OUT]端子へ送信されます。 <p>初期設定: On</p>
		USB	<p>USB [TO HOST]端子をMIDIメッセージの送受信に使う(On)か、使わない(Off)かを設定します。</p> <p>初期設定: On</p>
MIDI Channel	Transmit		<p>MIDI送信チャンネルを設定します。Offに設定すると送信されません。</p> <p>設定値: 1~16、Off</p> <p>初期設定: 1</p>
	Receive		<p>MIDI受信チャンネルを設定します。Allに設定するとすべてのチャンネルを受信します。</p> <p>設定値: 1~16、All</p> <p>初期設定: 1</p>
MIDI Control			<p>パネル上のノブやスライダーなどを操作したときに送信されるMIDIコントロールメッセージの設定をします。MIDI Controlの対象には、鍵盤やピッチベンド、モジュレーション、ペダルは含まれません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • On: ノブやスライダーなどを操作したときに、各ノブやスライダーなどに対応するMIDIメッセージが送信され、DAWソフトウェアや外部MIDI機器で操作情報を受信または記録できます。 • Off: 本機を操作しても、MIDIメッセージは送信されません。 <p>初期設定: Off</p> <p>NOTE</p> <ul style="list-style-type: none"> • 各ノブやスライダーなどに対応するMIDIメッセージをDAWソフトウェアなどから受信すると、対応するノブやスライダーなどの設定が変更されます。 • 各ノブやスライダーなどへのMIDIメッセージの割り当ては固定です。DAWソフトウェアのパラメーターを本機のノブやスライダーなどでコントロールする場合は、ノブやスライダーなどに対応するメッセージを適切に受けられるように、コンピューター側で設定してください。ノブやスライダーなどとMIDIメッセージの対応については56ページをご覧ください。
Local Control			<p>ローカルコントロールのオンとオフを切り替えます。</p> <p>Offに設定すると、鍵盤部と音源部が内部的に切り離され、鍵盤を弾いても音が鳴りません。</p> <p>ただし、鍵盤部の演奏情報はローカルコントロール設定と関係なくMIDI出力され、MIDI入力されたメッセージはMIDI設定に応じて本機音源部で処理されます。</p> <p>初期設定: On</p>
Controller Reset			<p>ライブセットサウンドを切り替えたときに、コントローラー (モジュレーションホイールやフットコントローラーなど)の値をそのまま使用する(Hold)か、初期値に戻す(Reset)かを設定します。</p> <p>Resetに設定した場合は、ライブセットサウンド切り替え時のコントローラーの初期値は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ピッチベンド: 中央 • モジュレーション: 最小 • エクスプレッション: 最大 • ペダルワウ: 最小 <p>初期設定: Reset</p>

機能名		内容	
MIDI	Advanced	Device Number	MIDIデバイスナンバーを設定します。外部MIDI機器とのバルクダンブやパラメーターチェンジなどのシステムエクスクルーシブメッセージを送受信する場合は、このナンバーを接続先のデバイスナンバーと合わせる必要があります。 設定値: 1~16、All、Off 初期設定: All
		Control Delay	ライブセットサウンドを切り替えたときに送信されるMIDIコントロールメッセージの送信タイミングを調節します。コンピューター上のアプリケーションがメッセージを正しく受信できないときに調節します。 設定値: 0~1500 msec 初期設定: 0 msec
		Tx/Rx Pgm Change	本機と外部MIDI機器との間でプログラムチェンジを送受信する(On)か、しない(Off)かを設定します。 初期設定: On
		Tx/Rx Bank Select	本機と外部MIDI機器との間でバンクセレクトを送受信する(On)か、しない(Off)かを設定します。 初期設定: On
Audio	Output Gain		本機の最終出力音のレベルを調節します。 設定値: -24 dB~+0 dB~+24 dB 初期設定: +0 dB
		A/D Input Type	A/D INPUT端子の入力ソースをライン入力(Line)にするか、ダイナミックマイク入力(Mic)にするかを選びます。 初期設定: Line
		USB Audio Volume	USBオーディオ入力の音量を設定します。 設定値: 0~127 初期設定: 64
		USB Audio Loopback	USBオーディオからの入力信号をUSBオーディオのOutputにミックスする(On)かしない(Off)かを切り替えるかを設定します。 初期設定: Off
Control Panel	Panel Lock Settings	Live Set	パネルロック機能が有効な際の、各機能に対するパネルロックのOn/Offを設定します。 初期設定: On
		Organ	
		Filter/EG	
		Drive/Effect	
		Delay/Reverb	
	Equalizer		
	Display	Value Indication	各パートのコントローラーの設定値を変更するときに、液晶ディスプレイに設定値を表示する(On)か、非表示にする(Off)かを設定します。 初期設定: On
LCD Switch		液晶ディスプレイ(LCD)にトップ画面を表示する(On)か、非表示にする(Off)かを設定します。MENU画面やSETTINGS画面などで各種設定を行うときは設定にかかわらず常に表示されます。 初期設定: On	
LCD Contrast		液晶ディスプレイのコントラストを調節します。 設定値: -10~+10 初期設定: +0	

機能名		内容
Control Panel	Controller Mode	<p>コントローラーの位置とLIVE SET [1]~[8]ボタンで呼び出した値が一致しないときに、コントローラーの位置が反映される条件を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Jump: コントローラーを動かすと、無条件でその位置が反映されます。 • Catch: コントローラーの位置がLIVE SET [1]~[8]ボタンで呼び出した値と一致(キャッチ)するまでは、設定が保持されます。ひとたび一致すると、コントローラーの位置が反映されるようになります。 <p>初期設定: Jump</p>
	Filter/EG Reset	<p>各パートのボイスを切り替えたときに、FILTERとEGの設定値をリセットする(On)か、リセットせずに保持する(Off)かを設定します。</p> <p>初期設定: On</p>
	Effect On/Off Reset	<p>各パートのボイスを切り替えたときに、エフェクトのオンオフ状態をリセットする(On)か、リセットせずに保持する(Off)かを設定します。</p> <p>初期設定: On</p>
Keyboard	Touch Curve	<p>ベロシティーカーブで、ベロシティーの変化のしかたを決めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Normal: 鍵盤を弾く強さとベロシティーが比例する、最も一般的なカーブです。 • Soft: 全体に大きなベロシティーが出やすいカーブです。 • Hard: 全体に大きなベロシティーが出にくいカーブです。 • Wide: キータッチの弱い部分ではベロシティーを抑えて、強い部分ではベロシティーを出やすくしたカーブです。ダイナミックレンジが広く感じられます。 • Fixed: 鍵盤を弾く強さに関わらず、一定のベロシティーで音源を鳴らしたい場合に使います。 <p>初期設定: Normal</p>
	Fixed Velocity	<p>鍵盤を弾く強さに関わらず、一定のベロシティーで音源を鳴らしたい場合に設定します。Touch CurveをFixedに設定した場合に限り有効です。</p> <p>設定値: 1~127</p> <p>初期設定: 64</p>
Foot Pedal	Pedal 1 Pedal 2	<p>Pedal Type</p> <p>FOOT PEDAL [1]端子またはFOOT PEDAL [2]端子に接続するペダルの種類を選びます。</p> <p>ハーフダンパー機能付きのペダルを使いたいときはFC3A (HalfOn)を選びます。</p> <p>設定値: FC3A (HalfOn)、FC3A (HalfOff)、FC4A/FC5、FC7</p> <p>初期設定: Pedal 1: FC3A (HalfOn) Pedal 2: FC7</p>
	Live Set Inc/ Dec	<p>FOOT PEDAL [1]端子またはFOOT PEDAL [2]端子に接続したペダルで、何を操作するかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Off: ライブセットサウンドに割り当てられたコントロールチェンジを操作します。 • Live Set Inc: ペダルを操作したときに次のライブセットサウンドに切り替えます。 • Live Set Dec: ペダルを操作したときにひとつ前のライブセットサウンドに切り替えます。 <p>初期設定: Off</p>

Job

機能名		内容	
Live Set Manager	Swap		選択中のライブセットサウンドを任意のライブセットサウンドと入れ替えます。
	Copy		選択中のライブセットサウンドを任意のライブセットサウンドにコピーします。
	Initialize		選択中のライブセットサウンドのパラメーターをすべて初期値にします。
Part/Effect Manager	Copy	Part A	ライブセットサウンドのパートAの設定値をコピーします。
		Part B	ライブセットサウンドのパートBの設定値をコピーします。
		Part C	ライブセットサウンドのパートCの設定値をコピーします。
		Delay	ライブセットサウンドのディレイの設定値をコピーします。
		Reverb	ライブセットサウンドのリバースの設定値をコピーします。
	Paste	Part A	コピーした設定値をペーストします。コピー元がない場合はペーストできません。
		Part B	
		Part C	
		Delay	
		Reverb	
	Swap Part	Part A ↔ B	ライブセットサウンドのパートAとパートBのすべての設定を入れ替えます。
		Part B ↔ C	ライブセットサウンドのパートBとパートCのすべての設定を入れ替えます。
		Part C ↔ A	ライブセットサウンドのパートCとパートAのすべての設定を入れ替えます。
	Swap EFFECT 1/2	Part A	ライブセットサウンドのパートの、EFFECT 1とEFFECT 2の設定を入れ替えます。
		Part B	
Part C			
Edit Recall		<p>ライブセットサウンド編集の最終状態を呼び戻します。編集中のライブセットサウンドを保存しないで別のライブセットサウンドを選び、もう一度編集中のライブセットサウンドに戻ると、編集の最終状態ではなく、最後に保存した設定が呼び出されます。このような場合にEdit Recallを行うと、ライブセットサウンド編集の最終状態を呼び戻すことができます。</p> <p>ご注意 電源を切ると、ライブセットサウンド編集の最終状態は消去されます。</p>	
Menu Initialize		MENU画面で設定できる項目を初期設定に戻します。	
Factory Reset		本機を工場出荷時の状態に戻します。ライブセットサウンドも工場出荷時の状態に戻ります。	

File

機能名		内容
Back Up File	Save	本機全体の設定とすべてのライブセットの設定を、バックアップファイル(拡張子 .Y1A)としてUSBフラッシュメモリーに保存します。
	Load *	バックアップファイルとしてUSBフラッシュメモリーに保存した設定を本機にロードします。
Live Set All File	Save	すべてのライブセットの設定を、ライブセットオールファイル(拡張子 .Y1L)としてUSBフラッシュメモリーに保存します。
	Load *	ライブセットオールファイルとしてUSBフラッシュメモリーに保存した設定を本機にロードします。
Live Set Page File	Save	選択中のライブセットページを、ライブセットページファイル(拡張子 .Y1P)としてUSBフラッシュメモリーに保存します。
	Load *	ライブセットページファイルとしてUSBフラッシュメモリーに保存した設定を本機にロードします。
Live Set Sound File	Save	選択中のライブセットサウンドを、ライブセットサウンドファイル(拡張子 .Y1S)としてUSBフラッシュメモリーに保存します。
	Load	ライブセットサウンドファイルとしてUSBフラッシュメモリーに保存した設定を本機にロードします。
File Utility	Rename	USBフラッシュメモリー内のファイル名を変更します。
	Delete	USBフラッシュメモリー内のファイルを削除します。
	Format	USBフラッシュメモリーをフォーマット(初期化)します。新しいUSBフラッシュメモリーを本機で使用するにはフォーマットが必要です。 ご注意 フォーマットすると、USBフラッシュメモリー内のすべてのファイルが消去されます。あらかじめ、ファイルの有無をご確認ください。

* 複数のライブセットサウンドが含まれるファイル(バックアップファイル、ライブセットオールファイル、ライブセットページファイル)から、1ライブセットサウンド単位でロードできます。

Bluetooth

機能名	内容
Switch	Bluetooth機能のオンとオフを切り替えます。 設定値: Off、On 初期設定: Off
Volume * ¹	Bluetoothオーディオの音量を調節します。 設定値: 0~127 初期設定: 64
Pairing * ¹	Bluetooth機器とペアリングします。

*¹ SwitchがOffのときはVolumeとPairingが非表示です。

Version Info

本機ファームウェアのバージョンが表示されます。

ショートカット一覧

[ENTER]ボタンを押しながらボタンやノブを操作すると、ライブセットサウンドのSETTINGS内の設定を素早く変えることができます。

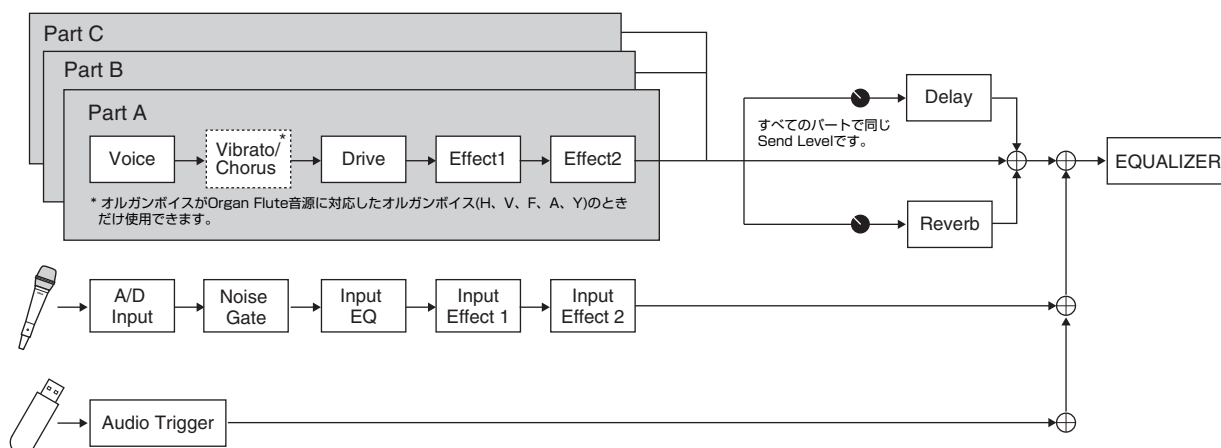
場所	操作	説明
Transpose & Octave	[ENTER]ボタン + TRANSPOSE [-]ボタン	トランスポーズ機能で半音下(-)または半音上(+)に移調します。Sound Transposeと同じ操作です。
	[ENTER]ボタン + TRANSPOSE [+]ボタン	NOTE MIDI出力メッセージには反映されません。
	TRANSPOSEボタン[-] + [+]	Keyboard Transposeの設定が0に戻ります。
	パート[A]~[C]セレクトボタン + OCTAVE [-]ボタン	選んだパートが1オクターブ下(-)または1オクターブ上(+に)動きます。Note Shiftを+12や-12に設定するのと同じ操作です。Note Shiftが-12から+12の範囲で動きます。
	パート[A]~[C]セレクトボタン + OCTAVE [+]ボタン	NOTE MIDI出力メッセージには反映されません。
	OCTAVEボタン [-] + [+]	Keyboard Octaveの設定が0に戻ります。
Organ	[ENTER]ボタン + VIBRATO/ CHORUS [TYPE]ボタン	ビブラート/コーラスのタイプが逆順で切り替わります。1つ前のタイプに戻りたいときなどに便利です。
Live Set	パート[A]~[C]セレクトボタン 2~3個同時押し	複数パートを同時に選びます。フィルター、EG、インサージョンエフェクトを同じ設定にしたいときに便利です。
	パート[A]~[C]セレクトボタン 2個同時長押し	2つのパートの設定が入れ替わります。 [MENU]ボタン → Job → Part/Effect Manager → Swap Partと同じ操作です。
	[ENTER]ボタン + [SETTINGS]ボタン	編集中のライブセットサウンドが初期値に戻ります。この操作だけでは保存済みのライブセットサウンドは上書きされません。初期値から設定をやり直したいときに便利です。 NOTE 編集中のライブセットサウンドと保存済みのライブセットサウンドを両方とも初期値に戻りたい場合は、[MENU]ボタン → Job → Live Set Manager → Initializeを使います(42ページ)。
	[ENTER]ボタン + [MENU]ボタン	パネルロックのオンとオフが切り替わります。
	[ENTER]ボタン + MONO [TYPE]ボタン	Portamento Time設定画面が開きます。
	[ENTER]ボタン + UNISON [TYPE]ボタン	Unison Detune設定画面が開きます。
	PAGEボタン [<] + [>]	ライブセットビューが表示されます。ライブセットビューを閉じるときは[EXIT]ボタンを押します。
Effect	[ENTER]ボタン + EFFECT 1-EFFECT 2切り替えボタン	選択中のパートのEFFECT 1とEFFECT 2の設定を入れ替えます。2つのインサージョンエフェクトがかかる順番を入れ替えたいときに便利です。 [MENU]ボタン → Job → Part/Effect Manager → Swap EFFECT 1/2と同じ操作です。
	[ENTER]ボタン + エフェクト[TYPE]ノブ	次または前のカテゴリの先頭に移動します。目的のタイプに素早く切り替えたいときに便利です。 インサージョンエフェクトのタイプについては「エフェクト一覧」(45ページ)をご覧ください。

DELAYでTempo Delayを選んだとき

操作	説明
[ENTER]ボタン	タップボタンとして使います。ボタンを3回以上押すと、テンポを設定できます。
[ENTER]ボタン + DELAY [TIME]ノブ	Tempo Delay Timeを変更します。

エフェクター一覧

■ エフェクト結線図



カテゴリ	タイプ名称	説明	Stereo /Mono
Chorus	G Chorus	複雑なモジュレーションで深みのあるサウンドを得られるコーラスエフェクトです。[DEPTH]ノブで深さ、[RATE]ノブで速さを調節します。	Stereo
	SPX Chorus	3相のLFOにより、より複雑なうねりと広がりを与えるコーラスエフェクトです。[DEPTH]ノブで深さ、[RATE]ノブで速さを調節します。	Stereo
	Symphonic	変調を多重化し、より広がり感を得られるようにしたコーラスエフェクトです。[DEPTH]ノブで深さ、[RATE]ノブで速さを調節します。	Stereo
	816 Chorus	TX816のFMのデチューン感を再現したコーラスエフェクトです。[DEPTH]ノブで変調の深さ、[RATE]ノブで速さを調節します。	Stereo
Flanger	VCM Flanger	アナログ特有のあたたかみのあるサウンドが特徴のビンテージフランジャーです。[DEPTH]ノブで深さとフィードバック量、[RATE]ノブで速さを調節します。	Stereo
	Cross FB Flanger	クロスフィードバックによる複雑なサウンドが特徴のビンテージフランジャーです。[DEPTH]ノブで深さとフィードバック量、[RATE]ノブで速さを調節します。	Stereo
Phaser	VCM Stereo Phaser	アナログ特有のあたたかみのあるサウンドが特徴のビンテージフェーザーです。[DEPTH]ノブで深さとフィードバック量、[RATE]ノブで速さを調節します。	Stereo
	Small Phaser	スムーズで独特のうねりが特徴のビンテージフェーザーです。[DEPTH]ノブが中央より左か右かでうねりのタイプを切り替え、[RATE]ノブで速さを調節します。	Mono
	Max90	定番のビンテージフェーザーです。[DEPTH]が中央より左か右かでフィードバック量のタイプを切り替え、[RATE]ノブで速さを調節します。	Mono
	Dual Phaser	特性の異なる2系統のフェーザーを内蔵したビンテージフェーザーです。[DEPTH]ノブでフェーザー 1の速さ、[RATE]ノブでフェーザー 2の速さを調節します。	Mono
Trm/Rtr	Tremolo	周期的に音量が変化するエフェクトです。[DEPTH]ノブで深さ、[RATE]ノブで速さを調節します。	Stereo
	Auto Pan	周期的に左右に音を振るエフェクトです。[DEPTH]ノブで左右の広がり幅、[RATE]ノブで速さを調節します。	Stereo
	Simple Rotary	シンプルなロータリースピーカーです。[DEPTH]ノブで音量と歪み量、[RATE]ノブで回転スピードを調節します。	Mono

カテゴリー	タイプ名称	説明	Stereo / Mono
Dist	British Combo	軽い歪みを得るのに適したエフェクトです。[DEPTH]ノブで歪み量、[RATE]ノブでブリリアンス(音の明るさ)を調節します。	Mono
	British Lead	ハードロックタイプのディストーションです。[DEPTH]ノブで歪み量、[RATE]ノブでトレブル(高音域のアタック感)を調節します。	Mono
	Small Stereo	ステレオのディストーションです。[DEPTH]ノブで歪み量、[RATE]ノブでプレゼンス(音の明瞭度)を調節します。	Stereo
Comp/EQ	Compressor	ステレオコンプレッサーです。[DEPTH]ノブでスレッシュホールド(効果のしきい値)、[RATE]ノブで出力の音量を調節します。	Stereo
	Tone Control	シェルビングタイプのイコライザーです。[DEPTH]ノブで低音側のゲイン、[RATE]ノブで高音側のゲインを調節します。	Stereo
	1 Band EQ Narrow	Q (バンド幅)の狭いピーキングタイプのイコライザーです。[DEPTH]ノブでゲイン、[RATE]ノブで中心周波数を調節します。	Stereo
	1 Band EQ Wide	Q (バンド幅)の広いピーキングタイプのイコライザーです。[DEPTH]ノブでゲイン、[RATE]ノブで中心周波数を調節します。	Stereo
Wah	Auto Wah	周期的に効果が変化するワウです。[DEPTH]ノブでレゾナンス量、[RATE]ノブで速さを調節します。	Stereo
	Touch Wah	鍵盤タッチによる音量変化に応じて効果が変化するワウです。[DEPTH]ノブでセンシティブィティ (効果の感度)、[RATE]ノブでレゾナンスの量を調節します。	Stereo
	Pedal Wah	ペダルで効果をコントロールするワウです。[DEPTH]ノブで歪み量を切り替え、[RATE]ノブでレゾナンスの量を調節します。Foot Pedal Assignを4(Pedal Wah)に設定するとペダルでワウをコントロールできます。	Stereo
Delay	Digital Delay	クリーンなデジタルディレイです。[DEPTH]ノブで深さとフィードバック量、[RATE]ノブでディレイタイムを調節します。	Stereo
	Analog Delay	アナログ特有のあたたかいサウンドが特徴のディレイです。[DEPTH]ノブでフィードバック量、[RATE]ノブでディレイタイムを調節します。	Stereo
	Cross Delay	左右交互に音が残るディレイです。[DEPTH]ノブで深さとフィードバック量、[RATE]ノブでディレイタイムを調節します。	Stereo
Reverb	Hall Reverb	ホールの響きをシミュレートしたリバーブです。[DEPTH]ノブで深さ、[RATE]ノブでリバーブタイム(残響の長さ)を調節します。	Stereo
	Room Reverb	部屋の響きをシミュレートしたリバーブです。[DEPTH]ノブで深さ、[RATE]ノブでリバーブタイム(残響の長さ)を調節します。	Stereo
	Reverse Reverb	ゲートリバーブの逆再生をシミュレートしたエフェクトです。[DEPTH]ノブで深さ、[RATE]ノブでリバーブタイム(残響の長さ)を調節します。	Stereo
Others	Ring Modulator	入力音が金属的な音に変化するエフェクトです。[DEPTH]ノブで深さ、[RATE]ノブで周波数を調節します。	Stereo
	Slicer	入力音をスライスするエフェクトです。[DEPTH]ノブでゲートタイム(スライスされた音の長さ)、[RATE]ノブでスライスの細かさを調節します。	Stereo
	LP Filter	高域をカットするローパスフィルターです。[DEPTH]ノブでカットオフ周波数、[RATE]ノブでレゾナンスを調整します。	Stereo
	HP Filter	低域をカットするハイパスフィルターです。[DEPTH]ノブでカットオフ周波数、[RATE]ノブでレゾナンスを調整します。	Stereo

カテゴリー	タイプ名称	説明	Stereo / Mono
Others	Lo-Fi	入力音をリサンプリングして粗くするエフェクトです。[DEPTH]ノブで音の粗さ、[RATE]ノブでサンプリング周波数を調節します。各ノブを右へ回すと音が粗くなります。	Mono
	Damper Resonance	ピアノのダンパーペダルを踏んだときの開放弦による音の広がり再現するエフェクトです。[DEPTH]ノブで深さ、[RATE]ノブで弦の開放度を調節します。	Stereo
	Harmonic Enhancer	入力音に新たな倍音を付加して音の輪郭を際立たせるエフェクトです。[DEPTH]ノブでハイパスフィルターのカットオフ周波数、[RATE]ノブで効果の強さを調節します。	Stereo

外部機器と接続して使う

外部機器を接続することで、本機をもっと便利に楽しむことができます。

たとえば、

- スマートフォンや携帯音楽プレーヤーの曲に合わせて演奏
- スマートデバイスのアプリケーションを使って、ライブセットサウンドの管理、演奏動画の制作や配信
- 音源モジュールやシンセサイザーなど、外部音源を使って演奏
- 他の鍵盤楽器から本機の音を鳴らす

などができます。

USB [TO HOST]端子ご使用時の注意

USB [TO HOST]端子でコンピューターと接続するときは、コンピューターや本体の停止(ハングアップ)によるSETTINGS内容の損失を防ぐため、以下のことを行ってください。

ご注意

- USBケーブルはABタイプをご使用ください。USB3.0ケーブルは、使用できません。
- 本機の電源オン/オフやUSBケーブルの抜き差しをする前に、以下のことを行ってください。
 - すべてのアプリケーションを終了してください。
 - 本機からMIDIデータが送信されていないか確認してください。(鍵盤を演奏しても、本機からMIDIデータが送信されます。)
- 本機の電源オン/オフやUSBケーブルの抜き差しは、6秒以上間隔を空けてください。

コンピューターや本機が停止したときは、アプリケーションやコンピューターを再起動するか、本機の電源を入れ直してください。

スマートデバイスと接続する

スマートデバイスとの接続は、Bluetoothオーディオ機能を使った無線接続か、USBケーブルを使った有線接続が可能です。

本機に対応するスマートデバイスやアプリケーションについて、詳しくは下記のウェブサイトでご確認ください。

https://jp.yamaha.com/products/music_production/apps/

ご注意

スマートデバイスを不安定な場所に置かないでください。スマートデバイスが落下して破損するおそれがあります。

NOTE

スマートデバイスのアプリケーションと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるため、スマートデバイスの機内モードをオンにしてからWi-Fiをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。

Bluetoothオーディオ機能を使って接続する

Bluetoothオーディオ機能を使うと、スマートフォンや携帯音楽プレーヤーなどのBluetooth対応機器と無線接続し、その機器でオーディオ再生した曲を本機から鳴らすことができます。

NOTE

- Bluetooth ヘッドホンやスピーカーは接続できません。
- Bluetooth MIDIの送受信機能はありません。

Bluetooth対応機器とペアリングする

ペアリングとは、Bluetooth機能を使って初めて接続するときに、本機にBluetooth対応機器を登録することです。一度ペアリングした機器は、再度ペアリングする必要はありません。


1. [MENU]ボタン → Bluetooth → SwitchをOn → [ENTER]ボタン → Pairingを選びます。

本機がペアリング待機状態になり、画面には「Bluetooth pairing...」と表示されます。

ペアリングを中止するには、[EXIT]ボタンを押します。

2. Bluetooth対応機器のBluetooth機能をオンにして、接続リストから本機のモデル名CK61またはCK88を選びます。

- Bluetooth対応機器の設定は、1分以内に行ってください。1分を経過すると、ペアリングモードが自動的に終了します。
- パスキーの入力を要求された場合は、数字で「0000」を入力してください。

ペアリングが完了すると、トップ画面に  (Bluetooth)マークが表示されます。

Bluetooth対応機器の入力音の音量は機器側で調節してください。鍵盤演奏とのバランスをより細かく調節したい場合は、[MENU]ボタン → Bluetooth → Volumeでも調節できます。

3. Bluetooth対応機器でオーディオ再生し、本機から音が出ることを確認します。

次に本機の電源を入れたとき、本機とBluetooth対応機器のBluetooth機能がオンであれば、自動で接続します。自動で接続できない場合は、Bluetooth対応機器の接続リストから再度モデル名を選択してください。

■ Bluetooth機能をオフにする

[MENU]ボタン → Bluetooth → SwitchをOffにします。

USB [TO HOST]端子を使って接続する

USB [TO HOST]端子にUSBケーブルを使って接続する方法については「スマートデバイス接続マニュアル」をご参照ください。

■ スマートデバイス接続マニュアル

下記のウェブサイトアクセスし、「取扱説明書」を開きます。言語を選択して「製品名またはキーワード」に「スマートデバイス」などを入力し「検索」をクリックします。

<https://jp.yamaha.com/support/>

USBオーディオからの入力音を、USB [TO HOST]端子にUSBケーブルで接続したコンピューターやスマートデバイスに出力するかどうかは、[MENU]ボタン → General → Audio → USB Audio Loopbackから設定します(40ページ)。

コンピューターと接続する

本機とコンピューターを接続して、DAWソフトウェアなどの音楽制作アプリケーションを使うことで、以下のように音楽制作の幅を広げることができます。

- 本機での演奏をDAWソフトウェアで録音する
- 本機からDAWソフトウェア音源を鳴らす
- DAWソフトウェアから本機の内部音源を鳴らす

本機とコンピューターを接続するには、USBケーブルとYamaha Steinberg USB Driverが必要です。次の手順に従って接続してください。

USB [TO HOST]端子でコンピューターと接続する前に、必ず「USB [TO HOST]端子ご使用時の注意」(48ページ)をお読みください。

1. 以下のURLから、最新のYamaha Steinberg USB Driverをダウンロードします。

<https://jp.yamaha.com/support/>

NOTE

- Yamaha Steinberg USB Driverの動作環境については、上記URLをご覧ください。
- Yamaha Steinberg USB Driverは、改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。詳細および最新情報については、上記URLをご確認ください。

2. Yamaha Steinberg USB Driverをコンピューターにインストールします。

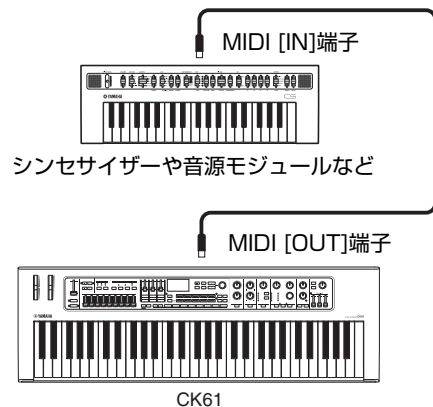
ダウンロードしたファイルに付属されているインストールガイドをご参照ください。

3. [MENU]ボタン → General → MIDI → MIDI Port → USBをOnに設定して、本機のUSB [TO HOST]端子を使ってMIDIを送受信できるようにします。

外部音源と組み合わせる

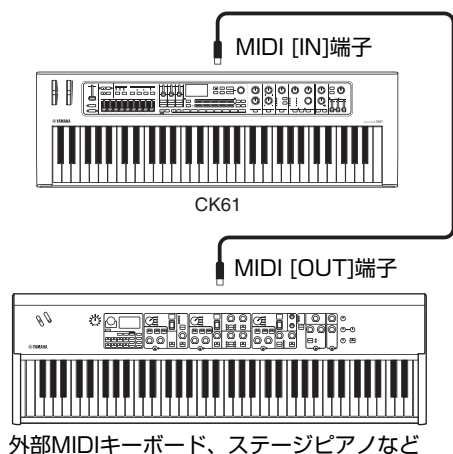
本機の鍵盤操作で、他のMIDI音源を鳴らすことができます。

[MENU]ボタン → General → MIDI → MIDI Control (39ページ)をOnに設定すると、ORGAN FOOTAGEスライダーや、フィルター、EGなどのノブを使って、外部機器を操作できます。



他の鍵盤楽器と組み合わせて使う

他の鍵盤楽器と組み合わせることで、オルガンの二段鍵盤のようにして演奏できます。たとえば、他の鍵盤と一緒に本機を演奏したい場合は、[SETTINGS]ボタン → Function → External Keyboard (34ページ)をExt+Intに設定し、他の鍵盤だけで演奏したい場合は、ExtOnlyに設定します。



MIDI送信チャンネルと受信チャンネルを設定する

MIDIで機器をコントロールするには、コントロールする側の送信チャンネルと、コントロールされる側の受信チャンネルを合わせる必要があります。

本機の送信チャンネル(Tx)と受信チャンネル(Rx)は、[MENU]ボタン → General → MIDI → MIDI Channelから変更できます。

NOTE

外部MIDIキーボードの送信チャンネルや外部MIDI音源の受信チャンネルの設定方法は、各製品の取扱説明書をご参照ください。

本機の鍵盤操作で内部音源が鳴らないように設定する

本機の鍵盤操作で、MIDI [OUT]端子やUSB [TO HOST]端子に接続した外部音源だけを鳴らしたい場合は、本機のボリュームを下げるか、すべてのパートをオフにするか、[MENU]ボタン → General → MIDI → Local ControlでローカルコントロールをOffに設定します(39ページ)。

MIDI端子の用途を設定する(MIDIポートの設定)

本機には、用途の違う2つのMIDIポートがあります。

- ポート1: 本機とコンピューターの間で通信する
- ポート2: 本機を経由して、外部MIDI機器とコンピューターの間で通信する

MIDI端子でどちらのポートを扱うかを、[MENU]ボタン → General → MIDI → MIDI Port → MIDI (39ページ)で設定します。

初期設定ではポート1に設定されています。

■ ポート1

外部機器から本機をコントロールするか、本機から外部音源をコントロールするために使います。

[MENU]ボタン → General → MIDI → MIDI Port → MIDIをOnに設定します。

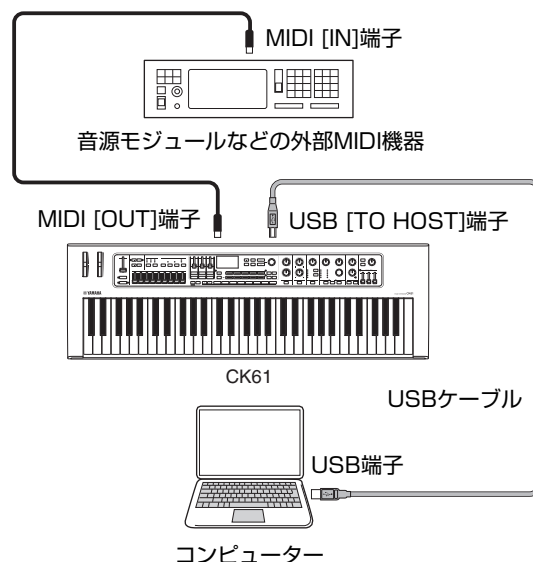
■ ポート2

本機を経由して外部MIDI機器とコンピューターを接続する場合に使います。

[MENU]ボタン → General → MIDI → MIDI Portを以下の設定にします。

- MIDI: Off
- USB: On

接続例



データリスト

ライブセットサウンド一覧

CK88

Page	No.	Name	Split Point	Part	Voice Name	MSB	LSB	PC
1	1	CFX Grand	G2	A	CFX Stereo	63	0	1
				B	-			
				C	-			
1	2	Mono U1	G2	A	U1	63	0	2
				B	-			
				C	-			
1	3	CF3 Pad	G2	A	Live CF3	63	0	3
				B	Back Pad			
				C	-			
1	4	Acoustic Split	G2	A	Acoustic Bass	63	0	4
				B	U1			
				C	H			
1	5	Panning Tines	G2	A	78Rd	63	0	5
				B	-			
				C	-			
1	6	Warm Reeds	G2	A	Wr Warm	63	0	6
				B	-			
				C	-			
1	7	Jazz Split	C3	A	H	63	0	7
				B	H			
				C	-			
1	8	Orchestra	G2	A	Orchestra 2	63	0	8
				B	Concert Str			
				C	Horn Section			
2	1	S700 Grand	G2	A	S700	63	1	1
				B	-			
				C	-			
2	2	Rock Piano	G2	A	Live CF3	63	1	2
				B	-			
				C	-			
2	3	80's Layer	G2	A	CFX St Bright	63	1	3
				B	73Rd Studio			
				C	-			
2	4	DX/Minilead	G2	A	DX 7 II	63	1	4
				B	Classic Mini			
				C	-			
2	5	78Rd Chorus	G2	A	78Rd	63	1	5
				B	-			
				C	-			
2	6	Funky Land Clav	G2	A	Clavi S	63	1	6
				B	-			
				C	-			
2	7	Rock Rotary	G2	A	H	63	1	7
				B	-			
				C	-			
2	8	Brass Section	G2	A	BrassSection5	63	1	8
				B	-			
				C	-			

Page	No.	Name	Split Point	Part	Voice Name	MSB	LSB	PC
3	1	CP80 Dirty Funk	G2	A	CP80 1	63	2	1
				B	-			
				C	-			
3	2	Phasing 73	G2	A	73Rd Studio	63	2	2
				B	-			
				C	-			
3	3	Fusion Layer	G2	A	73Rd Studio	63	2	3
				B	OB Brass 1			
				C	-			
3	4	EDM Pluck Split	G2	A	Synth Bass 2	63	2	4
				B	Popcorn			
				C	Sky Walk			
3	5	Amped Tines	G2	A	73Rd Studio	63	2	5
				B	-			
				C	-			
3	6	The Red Organ	G2	A	V	63	2	6
				B	-			
				C	-			
3	7	JP Strings	G2	A	JP Strings	63	2	7
				B	-			
				C	-			
3	8	Soft Synth Lead	G2	A	Wire Lead	63	2	8
				B	-			
				C	-			

CK61

Page	No.	Name	Split Point	Part	Voice Name	MSB	LSB	PC
1	1	CFX Grand	G2	A	CFX Stereo	63	0	1
				B	-			
				C	-			
1	2	Panning Tines	G2	A	78Rd	63	0	2
				B	-			
				C	-			
1	3	Warm Reeds	G2	A	Wr Warm	63	0	3
				B	-			
				C	-			
1	4	80's Layer	G2	A	CFX St Bright	63	0	4
				B	73Rd Studio			
				C	-			
1	5	Funky Land Clav	G2	A	Clavi S	63	0	5
				B	-			
				C	-			
1	6	Brass Section	G2	A	BrassSection5	63	0	6
				B	-			
				C	-			
1	7	Jazz Split	C3	A	H	63	0	7
				B	H			
				C	-			
1	8	Soft Synth Lead	G2	A	Wire Lead	63	0	8
				B	-			
				C	-			
2	1	S700 Grand	G2	A	S700	63	1	1
				B	-			
				C	-			
2	2	78Rd Chorus	G2	A	78Rd	63	1	2
				B	-			
				C	-			
2	3	CP80 Dirty Funk	G2	A	CP80 1	63	1	3
				B	-			
				C	-			
2	4	CF3 Pad	G2	A	Live CF3	63	1	4
				B	Back Pad			
				C	-			
2	5	Amped Tines	G2	A	73Rd Studio	63	1	5
				B	-			
				C	-			
2	6	JP Strings	G2	A	JP Strings	63	1	6
				B	-			
				C	-			
2	7	Rock Rotary	G2	A	H	63	1	7
				B	-			
				C	-			
2	8	Orchestra	G2	A	Orchestra 2	63	1	8
				B	Concert Str			
				C	Horn Section			
3	1	Mono U1	G2	A	U1	63	2	1
				B	-			
				C	-			
3	2	Rock Piano	G2	A	Live CF3	63	2	2
				B	-			
				C	-			
3	3	Phasing 73	G2	A	73Rd Studio	63	2	3
				B	-			
				C	-			
3	4	DX/Minilead	G2	A	DX 7 II	63	2	4
				B	Classic Mini			
				C	-			
3	5	Acoustic Split	G2	A	Acoustic Bass	63	2	5
				B	U1			
				C	H			
3	6	Fusion Layer	G2	A	73Rd Studio	63	2	6
				B	OB Brass 1			
				C	-			
3	7	The Red Organ	G2	A	V	63	2	7
				B	-			
				C	-			
3	8	EDM Pluck Split	G2	A	Synth Bass 2	63	2	8
				B	Popcorn			
				C	Sky Walk			

CK88 CK61

Page	No.	Name	Split Point	Part	Voice Name	MSB	LSB	PC
4	1	Live CF3 Grand	G2	A	Live CF3	63	3	1
				B	-			
				C	-			
4	2	Pretty Upright	G2	A	U1	63	3	2
				B	-			
				C	-			
4	3	Honky Dogs	G2	A	S700	63	3	3
				B	U1			
				C	-			
4	4	House Piano	G2	A	Digi Piano 2	63	3	4
				B	-			
				C	-			
4	5	Bubble Rds	C4	A	78Rd	63	3	5
				B	-			
				C	-			
4	6	Bright Reeds	G2	A	Wr Bright	63	3	6
				B	-			
				C	-			
4	7	Clavi S	G2	A	Clavi S	63	3	7
				B	-			
				C	-			
4	8	Trippy DX	G2	A	DX Legend	63	3	8
				B	-			
				C	-			
5	1	Comping Drawbar	G2	A	H	63	4	1
				B	-			
				C	-			
5	2	Jazz Swish	G2	A	H	63	4	2
				B	-			
				C	-			
5	3	Gospel Layers	G2	A	H	63	4	3
				B	H			
				C	-			
5	4	Lead Organ	G2	A	H	63	4	4
				B	-			
				C	-			
5	5	British Organ	G2	A	V	63	4	5
				B	-			
				C	-			
5	6	Aged Tone Organ	G2	A	A	63	4	6
				B	A			
				C	-			
5	7	Concert Organ	G2	A	Concert Organ	63	4	7
				B	Church Organ1			
				C	Church Organ1			
5	8	Big Pipes	G2	A	Organo Pleno	63	4	8
				B	Concert Organ			
				C	-			
6	1	Echo Guitar	G2	A	Nylon Guitar1	63	5	1
				B	-			
				C	-			
6	2	Acoustic Steel	G2	A	Steel Gt 2	63	5	2
				B	-			
				C	-			
6	3	Clean El-Gtr	G2	A	Clean Gt 1	63	5	3
				B	-			
				C	-			
6	4	Overdrive Gtr	G2	A	Clean Gt 3	63	5	4
				B	-			
				C	-			
6	5	Slap Bass	G2	A	Slap Bass	63	5	5
				B	-			
				C	-			
6	6	101 Bass	G2	A	Synth Bass 3	63	5	6
				B	Fundamental			
				C	-			
6	7	Mini Bass	G2	A	Unison Bass	63	5	7
				B	-			
				C	-			
6	8	Click Syn Bass	G2	A	Click SynBass	63	5	8
				B	-			
				C	-			

Page	No.	Name	Split Point	Part	Voice Name	MSB	LSB	PC
7	1	Quartet Strings	G2	A	Quartet	63	6	1
				B	—			
				C	—			
7	2	Ancient Sampler	G2	A	Tron Strings	63	6	2
				B	—			
				C	—			
7	3	On top	G2	A	Orchestra 1	63	6	3
				B	Oboe			
				C	French Horn			
7	4	2310 Orchestra	G2	A	Alto Flute	63	6	4
				B	Orchestra 2			
				C	Section Str 2			
7	5	Party Brass	G2	A	BrassSection2	63	6	5
				B	Forte Brass			
				C	BrassSection3			
7	6	Sax Section	G2	A	Sax Section 2	63	6	6
				B	—			
				C	—			
7	7	Flute	G2	A	Flute 1	63	6	7
				B	—			
				C	—			
7	8	Epic Calliope	G2	A	Calliope Ld 1	63	6	8
				B	—			
				C	—			
8	1	Comp and Solo	G2	A	73Rd Studio	63	7	1
				B	Dynmic Mini			
				C	—			
8	2	Nu Saw Lead	C3	A	—	63	7	2
				B	Saw Lead 1			
				C	—			
8	3	Arena Lead	G2	A	Dancy Hook	63	7	3
				B	—			
				C	—			
8	4	Vx Based PolyLd	C4	A	—	63	7	4
				B	—			
				C	V			
8	5	Analog Pad	G2	A	Soft Pad 2	63	7	5
				B	—			
				C	—			
8	6	Zen Pad	C4	A	Atmosphere	63	7	6
				B	ZEN			
				C	—			
8	7	Magic Bells Pad	G2	A	Bell Pad 1	63	7	7
				B	Slow Choir			
				C	Glocken 1			
8	8	Slow Choir	G2	A	Slow Choir	63	7	8
				B	—			
				C	—			
9	1	OB Brass	G2	A	OB Brass 1	63	8	1
				B	—			
				C	—			
9	2	Synth F.Horns	G2	A	Analog Brass1	63	8	2
				B	—			
				C	—			
9	3	Jumping Synths	G2	A	Jump Brass	63	8	3
				B	—			
				C	—			
9	4	Synth Strings	G2	A	Analog Str	63	8	4
				B	Syn Strings 1			
				C	—			
9	5	Warm Analog Str	G2	A	Lite Strings2	63	8	5
				B	Back Pad			
				C	—			
9	6	Mallet Lead	G2	A	Marimba 1	63	8	6
				B	—			
				C	—			
9	7	Dream Vibes	G2	A	Vibraphone	63	8	7
				B	—			
				C	—			
9	8	Enchantment	G2	A	Glocken 1	63	8	8
				B	—			
				C	—			

Page	No.	Name	Split Point	Part	Voice Name	MSB	LSB	PC
10	1	Sweet Piano	G2	A	S700	63	9	1
				B	Warm Strings			
				C	—			
10	2	BrghtPianoLayer	G2	A	CFX Stereo	63	9	2
				B	CP80 1			
				C	DX Woody			
10	3	80's CP Brassy	G2	A	CP80 1	63	9	3
				B	Synth Brass 2			
				C	—			
10	4	Gtr Pad Strings	G2	A	Classic Gt	63	9	4
				B	Soft Pad 2			
				C	Warm Strings			
10	5	Slow Piano Pad	G2	A	Live CF3	63	9	5
				B	V			
				C	Ring Pad			
10	6	Cinematic	G2	A	High Brass	63	9	6
				B	Orchestra 1			
				C	—			
10	7	Ambient Piano	G2	A	CFX St Warm	63	9	7
				B	CFX St Warm			
				C	Balimba			
10	8	Tricky Piano	G2	A	CFX Stereo	63	9	8
				B	—			
				C	—			

ボイス一覧

Category	Sub Category	No	Name	Parameter Value
Piano	Grand	1	CFX Stereo	0
		2	CFX St Bright	1
		3	CFX St Warm	2
		4	CFX Mono	3
		5	CFX Mn Bright	4
		6	CFX Mn Warm	5
		7	S700	6
		8	Live CF3	7
		9	Digi Piano 1	8
		10	Digi Piano 2	9
	Upright	11	U1	10
	CP	12	CP80 1	11
		13	CP80 2	12
E.Piano	Rd	1	78Rd	13
		2	73Rd Studio	14
	Wr	3	Wr Warm	15
		4	Wr Bright	16
	Clavi	5	Clavi B	17
		6	Clavi S	18
		7	Harpsi 1	19
		8	Harpsi 2	20
	FM	9	DX Legend	21
		10	DX Woody	22
		11	DX Ftine	23
		12	DX 7 II	24
		13	DX Mellow	25
		14	DX Crisp	26
Organ	Tone Wheel	1	H	27
	Combo	2	V	28
		3	F	29
		4	A	30
		5	Y	31
		Pipe	6	Pipe Organ 1
	7		Pipe Organ 2	33
	8		Concert Organ	34
	9		Grand Jeu	35
	10		FondsEtAnches	36
	11		Organo Pleno	37
	12		Diapason	38
	13		Claribel&Flut	39
	14		Soft Reeds	40
	15		Church Organ1	41
	16		Church Organ2	42
	17		Church Organ3	43
	18		Church Organ4	44
	Accordion	19	Accordion	45
	20	Musette	46	
Brs/Wind (Brass/Woodwind)	Ensemble	1	BrassSection1	47
		2	BrassSection2	48
		3	BrassSection3	49
		4	BrassSection4	50
		5	BrassSection5	51
		6	Sfz Brass	52
		7	Forte Brass	53
		8	SforzandoFall	54
		9	High Brass	55
		10	Mellow Brass1	56
		11	Mellow Brass2	57
		12	Soft Brass	58
		13	Tp&Tb Section	59
		14	Trb. Section	60
		15	Horn Section	61
		16	Horn Strings	62
		17	Brass Strings	63

Category	Sub Category	No	Name	Parameter Value		
Brs/Wind (Brass/Woodwind)	Solo	18	Sweet Trumpet	64		
		19	Trumpet	65		
		20	Trombone	66		
		21	French Horn	67		
		22	Horn	68		
		Saxophone	23	Sax Section 1	69	
			24	Sax Section 2	70	
			25	Sax Section 3	71	
			26	Sweet Alto	72	
			27	Alto Sax	73	
			28	Tenor Sax 1	74	
			29	Tenor Sax 2	75	
			30	Soprano Sax	76	
			31	Baritone Sax	77	
			Woodwind	32	Oboe	78
				33	Bassoon	79
				34	Clarinet	80
	35			Flute 1	81	
	36			Flute 2	82	
	37			Alto Flute	83	
	38	Tape Flute		84		
	39	Recorder		85		
	40	Pan Flute 1		86		
	41	Pan Flute 2		87		
	42	Bottle		88		
	43	Shakuhachi		89		
	44	Ocarina		90		
	45	Harmonica 1		91		
	46	Harmonica 2		92		
	47	Bagpipe	93			
	Synth	48	Synth Brass 1	94		
		49	Synth Brass 2	95		
		50	Synth Brass 3	96		
		51	Synth Brass 4	97		
		52	Jump Brass	98		
		53	OB Brass 1	99		
		54	OB Brass 2	100		
		55	OB Brass 3	101		
		56	OB Brass 4	102		
		57	OB Brass 5	103		
		58	SoftSynBrs 1	104		
		59	SoftSynBrs 2	105		
		60	Big Squish	106		
		61	Analog Brass1	107		
		62	Analog Brass2	108		
	Gtr/Bass (Guitar/Bass)	Guitar	1	Classic Gt	109	
			2	Nylon Guitar1	110	
3			Nylon Gt Harm	111		
4			Nylon Guitar2	112		
5			Steel Gt 1	113		
6			Steel Gt 2	114		
7			Steel Gt 3	115		
8			12 Str Gt 1	116		
9			12 Str Gt 2	117		
10			Clean Gt 1	118		
11			Clean Gt 2	119		
12			Clean Gt 3	120		
13			60's Clean Gt	121		
14			Funk Guitar	122		
15			12 Str Clean	123		
16	Dist Guitar 1	124				
17	Dist Guitar 2	125				
18	Over The Top	126				
19	Crunch Guitar	127				
20	Crunch Oct	128				
21	Mute Dist	129				
22	Jazz Guitar	130				
23	Hawaiian Gt	131				

Category	Sub Category	No	Name	Parameter Value		
Gtr/Bass (Guitar/Bass)	Bass	24	Acoustic Bass	132		
		25	Upright Bass	133		
		26	Finger Bass 1	134		
		27	Finger Bass 2	135		
		28	Finger Bass 3	136		
		29	Finger Bass 4	137		
		30	Pick Bass 10M	138		
		31	Pick Bass 1 M	139		
		32	Pick Bass 1 O	140		
		33	Pick Bass 2	141		
		34	Slap Bass	142		
		35	Fretless Ba 1	143		
		36	Fretless Ba 2	144		
		Bass +Drum	37	A.Bass + Cym	145	
			38	E.Bass + Cym	146	
		Synth	39	Synth Bass 1	147	
			40	Synth Bass 2	148	
			41	Synth Bass 3	149	
			42	Synth Bass 4	150	
			43	Synth Bass 5	151	
			44	Big Bass	152	
			45	101 Bass	153	
			46	Competitor	154	
			47	Perc Punch	155	
			48	Trance Bass	156	
			49	Dark Bass	157	
			50	Click SynBass	158	
			51	Acid Bass	159	
			52	Square Bass	160	
			53	Long Spit	161	
			54	Fundamental	162	
			55	One Voice	163	
			56	Fat Sine	164	
			57	Fat Sine Res	165	
			58	Unison Bass	166	
			Strings	Ensemble	1	Section Str 1
	2				Section Str 2	168
	3	Section Str 3			169	
	4	Strings 1			170	
	5	Strings 2			171	
	6	Orchestra 1			172	
	7	Orchestra 2			173	
	8	Arco String			174	
	9	Fast Strings			175	
	10	Marcato Str			176	
	11	Concert Str			177	
	12	Legato Str			178	
	13	Warm Strings			179	
	14	Slow Str 1			180	
	15	Slow Str 2			181	
	16	Slow Str 3			182	
	17	60's Strings			183	
	18	70's Strings1			184	
	19	70's Strings2			185	
	20	ShwAtkTremolo			186	
	21	Tremolo Str			187	
	22	Velo Strings			188	
	23	Quartet			189	
24	Tron Strings	190				
25	Tape Strings	191				
26	Flute Strings	192				
Solo	27	Sweet Violin		193		
	28	Violin		194		
	29	Cello		195		
Pizzicato	30	Pizzicato 1		196		
	31	Pizzicato 2		197		
	32	Harp		198		

Category	Sub Category	No	Name	Parameter Value		
Strings	Synth	33	Syn Strings 1	199		
		34	Syn Strings 2	200		
		35	Syn Strings 3	201		
		36	Analog Str	202		
		37	Lite Strings1	203		
		38	Lite Strings2	204		
		39	JP Strings	205		
		40	Pop Syn Str	206		
		41	Unison Str	207		
		42	Oct Syn Str	208		
		Pad	Pad	1	Bell Pad 1	209
				2	Bell Pad 2	210
3	BrightPadBell			211		
4	Sharp Teeth			212		
5	Ring Pad			213		
6	Anlg Rez Pad			214		
7	LFO Pad			215		
8	Chill Scap			216		
9	Strings Pad			217		
10	Back Pad			218		
11	Planet			219		
12	Atmosphere			220		
13	Click Pad			221		
14	Pad 80			222		
15	Poly Pad			223		
16	Glass Harp			224		
17	Digi Stuff			225		
18	New Age Pad			226		
19	Darklight			227		
20	Neo Crystal			228		
21	Vapor			229		
22	Soft Pad 1			230		
23	Soft Pad 2			231		
24	VP Soft			232		
25	Glass Pad			233		
26	Sine Pad			234		
27	Echoes			235		
28	Ambient Pad			236		
29	Pan Pad			237		
30	Sci-Fi			238		
31	Big Pan			239		
32	Goblins			240		
33	Sweep Pad 1			241		
34	Sweep Pad 2			242		
35	Nowhere			243		
36	Goblins Synth			244		
37	Celestial			245		
38	Converge			246		
39	Creation			247		
40	Ancestral			248		
41	Soundtrack	249				
42	Echo Pad	250				
43	Rain	251				
44	Analog Pad	252				
45	Dark Light	253				
46	Digi Pad	254				
47	Noble Pad	255				
48	Pop Pad	256				
49	Fat Saw	257				
50	Angel Pad	258				

Category	Sub Category	No	Name	Parameter Value	
Pad	Choir	51	Choir 1	259	
		52	Choir 2	260	
		53	Choir 3	261	
		54	Air Choir	262	
		55	Choir Aah	263	
		56	Voice Oohs	264	
		57	Slow Vox	265	
		58	Slow Choir	266	
		59	Itopia	267	
		60	Mystic Pad	268	
		Sound FX	61	Twist	269
			62	Da Pad	270
	63		Dark Star	271	
	64		Mind Bell	272	
	65		ZEN	273	
	Lead	Analog	1	Dancy Hook	274
			2	Faat Dance	275
			3	Techno Brass	276
			4	After 1984	277
			5	Analog Lead 1	278
			6	Analog Lead 2	279
			7	Analog Lead 3	280
			8	Analog Lead 4	281
			9	Saw Lead 1	282
			10	Saw Lead 2	283
			11	Saw Lead 3	284
12			Wire Lead	285	
13			Classic Mini	286	
14			Big Lead 1	287	
15			Big Lead 2	288	
16			Early Lead	289	
17			Troy	290	
18			Sync Saw Lead	291	
19			Punch Lead	292	
20			Soft RnB	293	
21			Popcorn	294	
22			Synth Trumpet	295	
23			Dynmic Mini	296	
24			Crying	297	
25			Funky Mini	298	
26			Funky Poly	299	
27			Mini Three	300	
28			Nu Mini	301	
29			Sky Walk	302	
30			Mini Soft	303	
31			Mini Lead	304	
32			Inda Night	305	
33			Sine Lead	306	
34			Tiny Lead	307	
35			Synth Whistle	308	
36			Raplead	309	
37			Funk Lead 1	310	
38			Funk Lead 2	311	
39			Rezz Punch	312	
40	Square Lead 1	313			
41	Square Lead 2	314			
42	Square Lead 3	315			
43	Soft Square	316			
44	5th Lead	317			
Digital	45	Digital Lead	318		
	46	Voice Lead	319		
	47	Wind Lead	320		
	48	Calliope Ld 1	321		
	49	Calliope Ld 2	322		
	50	Orchestra Hit	323		
	51	Impact	324		

Category	Sub Category	No	Name	Parameter Value	
Chr.Perc (Chromatic Percussion)	Mallet	1	Marimba 1	325	
		2	Marimba 2	326	
		3	Xylophone 1	327	
		4	Xylophone 2	328	
		5	Balimba	329	
		6	Vib ST	330	
		7	Vibraphone	331	
		8	Hard Vibes	332	
		9	Glocken 1	333	
		10	Glocken 2	334	
		11	Music Box	335	
	Bell	12	Soft Crystal	336	
		13	Tinkle Bell	337	
		14	Tubular Bell	338	
		15	Carillon	339	
		Synth Bell	16	Digi Bell 1	340
	17		Digi Bell 2	341	
	18		Digi Bell 3	342	
	19		Nice Bell	343	
	20		Stack Bell	344	
	21		Bell Harp	345	
	22		Harp Vox	346	
	23		Round Glock	347	
	24		Air Bells	348	
	25		Star Dust	349	
	26		Heaven Bell	350	
	Others	Ethnic	1	Kalimba	351
			2	Kanoon	352
			3	Shamisen	353
			4	Sitar 1	354
			5	Sitar 2	355
			6	Banjo	356
7			Mandolin	357	
8			Dulcimer	358	
9			Koto	359	
Percussion		10	Timpani	360	
		11	Steel Drums	361	
		12	Agogo	362	

コントロールチェンジナンバー

CC No.欄のA、B、CはパートA～Cを表します。

表示欄に括弧付きで表示されるパラメーターは本機の内蔵音源には影響しません。

対応表は次ページをご覧ください。

	CC No.			表示	コントローラー	対応表
	A	B	C			
Rotary	9				④ ROTARY [STOP]ボタン	C
	9				⑤ ROTARY [SPEED]ボタン	C
Organ	18	77	111		⑩ ORGAN FOOTAGEスライダー [16']	D
	19	78	112		⑩ ORGAN FOOTAGEスライダー [5 1/3']	D
	20	79	113		⑩ ORGAN FOOTAGEスライダー [8']	D
	21	80	114		⑩ ORGAN FOOTAGEスライダー [4']	D
	22	81	115		⑩ ORGAN FOOTAGEスライダー [2 2/3']	D
	23	82	116		⑩ ORGAN FOOTAGEスライダー [2']	D
	24	83	117		⑩ ORGAN FOOTAGEスライダー [1 3/5']	D
	25	85	118		⑩ ORGAN FOOTAGEスライダー [1 1/3']	D
	26	86	119		⑩ ORGAN FOOTAGEスライダー [1']	D
	Volume	12			Volume	⑪ パートボリュームスライダー [A]
27				⑪ パートボリュームスライダー [B]	A	
87				⑪ パートボリュームスライダー [C]	A	
Filter	74	30	104	Cutoff	⑳ FILTER [CUTOFF]ノブ	A
	71	31	105	Resonance	㉑ FILTER [RESONANCE]ノブ	A
EG	73	28	102	Attack	㉒ EG [ATTACK]ノブ	A
	72	29	103	Release	㉓ EG [RELEASE]ノブ	A
Drive	13	68	106	Depth	㉔ DRIVE [DEPTH]ノブ	A
Effect1	14	69	107	Depth	㉕ エフェクト[DEPTH]ノブ	A
	15	70	108	Rate	㉖ エフェクト[RATE]ノブ	A
Effect2	16	75	109	Depth	㉗ エフェクト[DEPTH]ノブ	A
	17	76	110	Rate	㉘ エフェクト[RATE]ノブ	A
Delay	93			Depth	㉙ DELAY [DEPTH]ノブ	A
	92			Time	㉚ DELAY [TIME]ノブ	A
Reverb	91			Depth	㉛ REVERB DEPTHノブ	A
Equalizer	90			Equalizer Gain	㉜ EQUALIZERスライダー [LOW]	B
	89				㉜ EQUALIZERスライダー [MID]	B
	88				㉜ EQUALIZERスライダー [HIGH]	B

	CC No.	表示*	コントローラー	対応表	
Foot Pedal 1, Foot Pedal 2, Modulation Wheel	27	B: Volume	⑪ パートボリュームスライダー [B]	A	
	28	B: Attack	㉒ EG [ATTACK]ノブ	A	
	29	B: Release	㉓ EG [RELEASE]ノブ	A	
	30	B: Cutoff	㉑ FILTER [CUTOFF]ノブ	A	
	31	B: Resonance	㉑ FILTER [RESONANCE]ノブ	A	
	32	(Bank LSB)			
	38	(Data Entry LSB)			
	64	Sustain			
	65	(Portamento)			
	66	Sostenuto			
	67	Soft			
	68	B: Drive Depth	㉔ DRIVE [DEPTH]ノブ	A	
	69	B: Effect1 Depth	㉕ エフェクト[DEPTH]ノブ	A	
	70	B: Effect1 Rate	㉖ エフェクト[RATE]ノブ	A	
	71	A: Resonance	㉑ FILTER [RESONANCE]ノブ	A	
	72	A: Release	㉓ EG [RELEASE]ノブ	A	
	73	A: Attack	㉒ EG [ATTACK]ノブ	A	
	74	A: Cutoff	㉑ FILTER [CUTOFF]ノブ	A	
	75	B: Effect2 Depth	㉗ エフェクト[DEPTH]ノブ	A	
	76	B: Effect2 Rate	㉘ エフェクト[RATE]ノブ	A	
	77	B: Drawbar 16'	⑩ ORGAN FOOTAGEスライダー [16']	A	
	78	B: Drawbar 5 1/3'	⑩ ORGAN FOOTAGEスライダー [5 1/3']	A	
	79	B: Drawbar 8'	⑩ ORGAN FOOTAGEスライダー [8']	A	
	80	B: Drawbar 4'	⑩ ORGAN FOOTAGEスライダー [4']	A	
	81	B: Drawbar 2 2/3'	⑩ ORGAN FOOTAGEスライダー [2 2/3']	A	
	82	B: Drawbar 2'	⑩ ORGAN FOOTAGEスライダー [2']	A	
	83	B: Drawbar 1 3/5'	⑩ ORGAN FOOTAGEスライダー [1 3/5']	A	
	84	(Portamento Ctrl)			
	85	B: Drawbar 1 1/3'	⑩ ORGAN FOOTAGEスライダー [1 1/3']	A	
	86	B: Drawbar 1'	⑩ ORGAN FOOTAGEスライダー [1']	A	
	87	C: Volume	⑪ パートボリュームスライダー [C]	A	
	88	Equalizer High	㉜ EQUALIZERスライダー [LOW]	B	
	89	Equalizer Mid	㉜ EQUALIZERスライダー [MID]	B	
	90	Equalizer Low	㉜ EQUALIZERスライダー [HIGH]	B	
	91	Reverb Depth	㉛ REVERB DEPTHノブ	A	
	92	Delay Time	㉚ DELAY [DEPTH]ノブ	A	
	93	Delay Depth	㉙ DELAY [TIME]ノブ	A	
	95	(Effect5 Depth)			
	96	(Data Increment)			
	97	(Data Decrement)			
	98	(NRPN LSB)			
	99	(NRPN MSB)			
	100	(RPN LSB)			
	101	(RPN MSB)			
	102	C: Attack	㉒ EG [ATTACK]ノブ	A	
	103	C: Release	㉓ EG [RELEASE]ノブ	A	
	104	C: Cutoff	㉑ FILTER [CUTOFF]ノブ	A	
	105	C: Resonance	㉑ FILTER [RESONANCE]ノブ	A	
	106	C: Drive Depth	㉔ DRIVE [DEPTH]ノブ	A	
	107	C: Effect1 Depth	㉕ エフェクト[DEPTH]ノブ	A	
	108	C: Effect1 Rate	㉖ エフェクト[RATE]ノブ	A	
	109	C: Effect2 Depth	㉗ エフェクト[DEPTH]ノブ	A	
	110	C: Effect2 Rate	㉘ エフェクト[RATE]ノブ	A	
	111	C: Drawbar 16'	⑩ ORGAN FOOTAGEスライダー [16']	A	
	112	C: Drawbar 5 1/3'	⑩ ORGAN FOOTAGEスライダー [5 1/3']	A	
	113	C: Drawbar 8'	⑩ ORGAN FOOTAGEスライダー [8']	A	
	114	C: Drawbar 4'	⑩ ORGAN FOOTAGEスライダー [4']	A	
	115	C: Drawbar 2 2/3'	⑩ ORGAN FOOTAGEスライダー [2 2/3']	A	
	116	C: Drawbar 2'	⑩ ORGAN FOOTAGEスライダー [2']	A	
	117	C: Drawbar 1 3/5'	⑩ ORGAN FOOTAGEスライダー [1 3/5']	A	
	118	C: Drawbar 1 1/3'	⑩ ORGAN FOOTAGEスライダー [1 1/3']	A	
	119	C: Drawbar 1'	⑩ ORGAN FOOTAGEスライダー [1']	A	
			USB Audio Volume		

	CC No.	表示*	コントローラー	対応表	
Foot Pedal 1, Foot Pedal 2, Modulation Wheel	1	Modulation			
	4	Pedal Wah			
	5	(Portamento Time)			
	6	(Data Entry MSB)			
	7	All Volume			
	9	Rotary Slow/Fast		④ ROTARY [STOP]ボタン	C
				⑤ ROTARY [SPEED]ボタン	C
	10	(Pan)			
	11	Expression			
	12	A: Volume	⑪ パートボリュームスライダー [A]	A	
	13	A: Drive Depth	㉔ DRIVE [DEPTH]ノブ	A	
	14	A: Effect1 Depth	㉕ エフェクト[DEPTH]ノブ	A	
	15	A: Effect1 Rate	㉖ エフェクト[RATE]ノブ	A	
	16	A: Effect2 Depth	㉗ エフェクト[DEPTH]ノブ	A	
	17	A: Effect2 Rate	㉘ エフェクト[RATE]ノブ	A	
	18	A: Drawbar 16'	⑩ ORGAN FOOTAGEスライダー [16']	A	
	19	A: Drawbar 5 1/3'	⑩ ORGAN FOOTAGEスライダー [5 1/3']	A	
	20	A: Drawbar 8'	⑩ ORGAN FOOTAGEスライダー [8']	A	
	21	A: Drawbar 4'	⑩ ORGAN FOOTAGEスライダー [4']	A	
	22	A: Drawbar 2 2/3'	⑩ ORGAN FOOTAGEスライダー [2 2/3']	A	
	23	A: Drawbar 2'	⑩ ORGAN FOOTAGEスライダー [2']	A	
	24	A: Drawbar 1 3/5'	⑩ ORGAN FOOTAGEスライダー [1 3/5']	A	
	25	A: Drawbar 1 1/3'	⑩ ORGAN FOOTAGEスライダー [1 1/3']	A	
	26	A: Drawbar 1'	⑩ ORGAN FOOTAGEスライダー [1']	A	

対応表 A

パラメーター値	コントローラー値	
	Transmitted	Recognized
0-127	0-127	0-127

対応表 B

パラメーター値		コントローラー値	
		Transmitted	Recognized
-12dB	52	0-5	0-5
-11dB	53	6-10	6-10
-10dB	54	11-15	11-15
-9dB	55	16-20	16-20
-8dB	56	21-25	21-25
-7dB	57	26-30	26-30
-6dB	58	31-35	31-35
-5dB	59	36-40	36-40
-4dB	60	41-46	41-46
-3dB	61	47-51	47-51
-2dB	62	52-56	52-56
-1dB	63	57-61	57-61
0dB	64	62-66	62-66
1dB	65	67-71	67-71
2dB	66	72-76	72-76
3dB	67	77-81	77-81
4dB	68	82-87	82-87
5dB	69	88-92	88-92
6dB	70	93-97	93-97
7dB	71	98-102	98-102
8dB	72	103-107	103-107
9dB	73	108-112	108-112
10dB	74	113-117	113-117
11dB	75	118-122	118-122
12dB	76	123-127	123-127

対応表 C

パラメーター値	コントローラー値	
	Transmitted	Recognized
Slow	0	0-63
Stop	64	64
Fast	127	65-127

対応表 D

パラメーター値	コントローラー値	
	Transmitted	Recognized
0	0	0
1	1-18	1-18
2	19-36	19-36
3	37-54	37-54
4	55-72	55-72
5	73-90	73-90
6	91-108	91-108
7	109-126	109-126
8	127	127

MIDIデータフォーマット

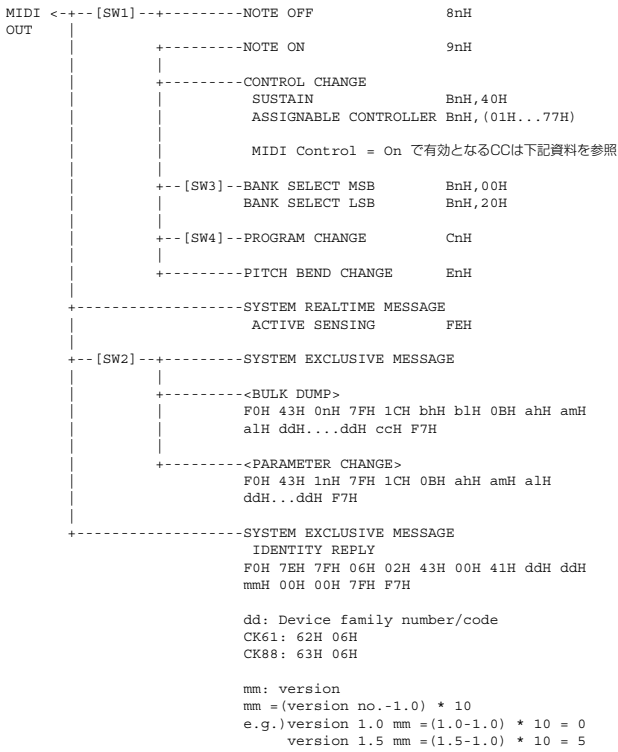
1 適用範囲

本仕様書はCK88 CK61のMIDIの送受信について規定する。

2 適用規格

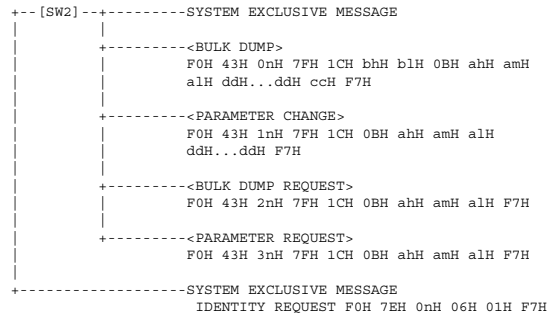
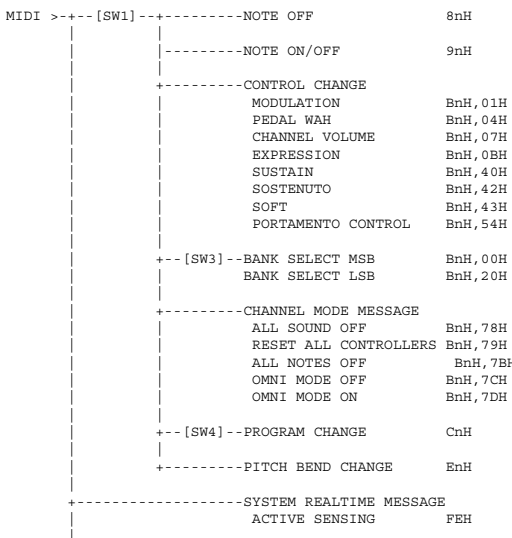
本仕様書は MIDI 1.0 の規格に準拠する。

(1) TRANSMIT FLOW



- [SW1] MIDI Transmit Channel
Master Keyboard Mode SW = onのときは、Zone Transmit Channelに従う。
それ以外の場合は、MIDI Transmit Channelに従う。
- [SW2] SYSTEM MIDI Device Number
allのときは、1で送信される。
- [SW3] SYSTEM Bank Select Switch
- [SW4] SYSTEM Program Change Switch

(2) RECEIVE FLOW



- [SW1] MIDI Receive Channel に従う。
- [SW2] SYSTEM MIDI Device Number
- [SW3] SYSTEM Bank Select Switch
- [SW4] SYSTEM Program Change Switch

(3) TRANSMIT/RECEIVE DATA

(3-1) CHANNEL VOICE MESSAGES

(3-1-1) NOTE OFF

STATUS	1000nnnn (9nH)	n = 0~15 CHANNEL NUMBER
NOTE No.	0kkkkkkk	k = 0(C-2)~127(G8)
VELOCITY	0vvvvvvv	送信時 v = 64

(3-1-2) NOTE ON/OFF

STATUS	1000nnnn (8nH)	n = 0~15 CHANNEL NUMBER
NOTE No.	0kkkkkkk	k = 0(C-2)~127(G8)
VELOCITY NOTE ON	0vvvvvvv (v≠0)	
NOTE OFF	0vvvvvvv (v=0)	

(3-1-3) CONTROL CHANGE

STATUS	1011nnnn (BnH)	n = 0~15 CHANNEL NUMBER
CONTROL NUMBER	0ccccccc	
CONTROL VALUE	0vvvvvvv	

*送信するCONTROL NUMBER

c = 0	BANK SELECT MSB	; v = 0 - 127	*1
c = 32	BANK SELECT LSB	; v = 0 - 127	*1
c = 64	SUSTAIN	; v = 0 - 127	*3
c = 1..119	ASSIGNABLE CONTROLLER	; v = 0 - 127	*2

*受信するCONTROL NUMBER

c = 0	BANK SELECT MSB	; v = 0 - 127	*1
c = 32	BANK SELECT LSB	; v = 0 - 127	*1
c = 1	MODULATION	; v = 0 - 127	
c = 4	PEDAL WAH	; v = 0 - 127	
c = 7	CHANNEL VOLUME	; v = 0 - 127	
c = 11	EXPRESSION	; v = 0 - 127	
c = 64	SUSTAIN	; v = 0 - 127	
c = 66	SOSTENUTO	; v=0-63:OFF, 64-127:ON	
c = 67	SOFT	; v = 0 - 127	
c = 84	PORTAMENTO CONTROL	; v = 0 - 127	

*1 BANK SELECTとPROGRAMの関係

	CATEGORY	MSB	LSB	PROGRAM No.
Live Set Page 1		63	0	0..7
	:	:	:	
Live Set Page 20		63	19	0..7

*2 ASSIGNABLE CONTROLLERのDEFAULT CONTROL NUMBERは、以下のとおり。

MODULATION WHEEL	1
FOOT PEDAL 1	64
FOOT PEDAL 2	11

*3 Foot Pedal Typeの設定が「FC3A(HalfOff)」または「FC4A/FC5」の場合、フットペダルの操作によって送信されるメッセージの値は0(オフ)と127(オン)のみ。

Bank Selectの動作は、すべてProgram Changeを受信したとき発生する。
Bank Select、Program Changeは、サポートしている番号以外のものは無視する。

(3-1-4) PROGRAM CHANGE

STATUS	1100nnnn (CnH)	n = 0~15 CHANNEL NUMBER
PROGRAM NUMBER	00000ppp	p = 0~7

(3-1-5) PITCH BEND CHANGE

STATUS	1110nnnn (EnH)	n = 0~15 CHANNEL NUMBER
LSB	0vvvvvvv	PITCH BEND CHANGE LSB
MSB	0vvvvvvv	PITCH BEND CHANGE MSB

送信の分解能は7 bit.

(3-2) CHANNEL MODE MESSAGES

STATUS	1011nnnn (BnH)	n = 0~15 CHANNEL NUMBER
CONTROL NUMBER	0ccccccc	c = CONTROL NUMBER
CONTROL VALUE	0vvvvvvv	v = DATA VALUE

(3-2-1) ALL SOUND OFF (CONTROL NUMBER = 78H, DATA VALUE = 0)

該当チャンネルの発音中の音をすべて消音する。ノート・オンなどのチャンネルメッセージの状態も消去する。

(3-2-2) RESET ALL CONTROLLERS (CONTROL NUMBER = 79H, DATA VALUE = 0)

以下のコントローラーの設定値をリセットする。
 PITCH BEND CHANGE 0 (中央)
 MODULATION 0 (最小)
 PEDAL WAH 0 (最小)
 EXPRESSION 127 (最大)
 SUSTAIN 0 (オフ)
 SOSTENUTO 0 (オフ)
 SOFT 0 (オフ)
 PORTAMENTO CONTROL 予約したノート番号のリセット

以下のデータは変更しない。
 PROGRAM CHANGE, BANK SELECT MSB/LSB, VOLUME

(3-2-3) ALL NOTES OFF (CONTROL NUMBER = 7BH, DATA VALUE = 0)

該当チャンネルのオンしているノートをすべてオフする。ただし、サステイン、あるいはソステヌートがオンの場合は、それらがオフになるまで発音は終了しない。

(3-2-4) OMNI MODE OFF (CONTROL NUMBER = 7CH, DATA VALUE = 0)

ALL NOTES OFFを受信したときと同じ処理を行う。

(3-2-5) OMNI MODE ON (CONTROL NUMBER = 7DH, DATA VALUE = 0)

ALL NOTES OFFを受信したときと同じ処理を行う。

(3-3) SYSTEM REAL TIME MESSAGES

(3-3-1) ACTIVE SENSING

STATUS 11111110 (FEH)

約200 msecごとに送信する。
 このCODEを一度受信すると、SENSINGを開始する。約350 msec以上の間、STATUSもDATAも来ないときは、MIDI受信BUFFERをCLEARし、発音している音を強制的にOFFする。

(3-4) SYSTEM EXCLUSIVE MESSAGE

(3-4-1) UNIVERSAL NON REALTIME MESSAGE

(3-4-1-1) IDENTITY REQUEST (受信のみ)

F0H 7EH 0nH 06H 01H F7H (nはDevice No.だが、本機はomniで受信する)

(3-4-1-2) IDENTITY REPLY (送信のみ)

F0H 7EH 7FH 06H 02H 43H 00H 41H ddH ddH mmH 00H 00H 7FH F7H

dd: Device family number/code
 CK61: 62H 06H
 CK88: 63H 06H

mm: version
 $mm = (\text{version no.} - 1.0) * 10$
 e.g.) version 1.0 $mm = (1.0 - 1.0) * 10 = 0$
 version 1.5 $mm = (1.5 - 1.0) * 10 = 5$

(3-4-2) UNIVERSAL REALTIME MESSAGE

(3-4-3) PARAMETER CHANGE

(3-4-3-1) NATIVE PARAMETER CHANGE, MODE CHANGE

```

11110000 F0 Exclusive status
01000011 43 YAMAHA ID
0001nnnn 1n Device Number
01111111 7F Group ID High
00011100 1C Group ID Low
00001011 0B Model ID
0aaaaaaaa aaaaaaaa Address High
0aaaaaaaa aaaaaaaa Address Mid
0aaaaaaaa aaaaaaaa Address Low
0ddddddd ddddddd Data
| |
11110111 F7 End of Exclusive
    
```

Data Sizeが2以上のパラメーターはそのSize分データを送信する。
 Addressは「MIDIデータテーブル」を参照すること。

(3-4-4) BULK DUMP

```

11110000 F0 Exclusive status
01000011 43 YAMAHA ID
0000nnnn 0n Device Number
01111111 7F Group ID High
00011100 1C Group ID Low
0bbbbbbb bbbbbbbb Byte Count
0bbbbbbb bbbbbbbb Byte Count
00001011 0B Model ID
0aaaaaaaa aaaaaaaa Address High
0aaaaaaaa aaaaaaaa Address Mid
0aaaaaaaa aaaaaaaa Address Low
0 0 Data
| |
0ccccccc cccccccc Check-sum
11110111 F7 End of Exclusive
    
```

AddressおよびByte Countは、「MIDIデータテーブル」を参照すること。
 Check sumは、Byte Count、Start Address、Data、Check-sum自身を加算した値の低位7bitがゼロになる値である。

(3-4-5) DUMP REQUEST

```

11110000 F0 Exclusive status
01000011 43 YAMAHA ID
0010nnnn 2n Device Number
01111111 7F Group ID High
00011100 1C Group ID Low
00001011 0B Model ID
0aaaaaaaa aaaaaaaa Address High
0aaaaaaaa aaaaaaaa Address Mid
0aaaaaaaa aaaaaaaa Address Low
11110111 F7 End of Exclusive
    
```

Addressは「MIDIデータテーブル」を参照すること。

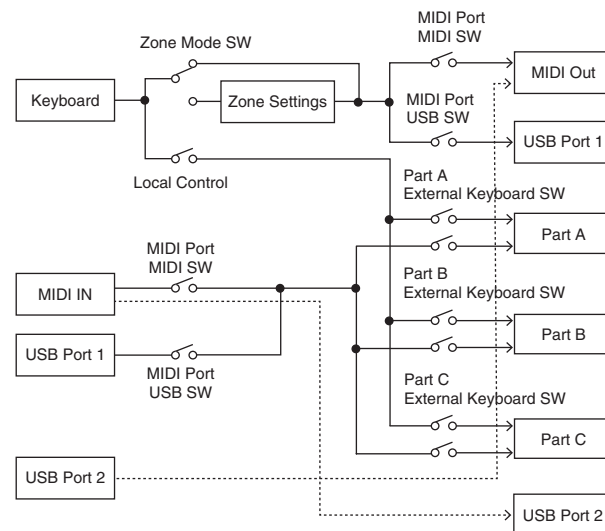
(3-4-6) PARAMETER REQUEST

```

11110000 F0 Exclusive status
01000011 43 YAMAHA ID
0011nnnn 3n Device Number
01111111 7F Group ID High
00011100 1C Group ID Low
00001011 0B Model ID
0aaaaaaaa aaaaaaaa Address High
0aaaaaaaa aaaaaaaa Address Mid
0aaaaaaaa aaaaaaaa Address Low
11110111 F7 End of Exclusive
    
```

Addressは「MIDIデータテーブル」を参照すること。

(4) Keyboardと音源部との構成図



USB Port 2 is enabled when 'MIDI Port MIDI SW = OFF' and 'MIDI Port USB SW = ON'

ALL SOUND OFFは、MIDI、本体の区別なく、該当チャンネルすべての発音を消去する。
 MIDIで受信したALL NOTES OFFは、該当チャンネルでMIDIにより発音されたノートのみをオフする。

MIDIデータテーブル

Bank Select

MSB		LSB		Program No.	Type	Memory	Description
DEC	HEX	DEC	HEX				
63	3F	0	00	0-7	Live Set Sound	User	Live Set Page 1
		1	01	0-7		User	Live Set Page 2
		2	02	0-7		User	Live Set Page 3
		3	03	0-7		User	Live Set Page 4
		4	04	0-7		User	Live Set Page 5
		5	05	0-7		User	Live Set Page 6
		6	06	0-7		User	Live Set Page 7
		7	07	0-7		User	Live Set Page 8
		8	08	0-7		User	Live Set Page 9
		9	09	0-7		User	Live Set Page 10
		10	0A	0-7		User	Live Set Page 11
		11	0B	0-7		User	Live Set Page 12
		12	0C	0-7		User	Live Set Page 13
		13	0D	0-7		User	Live Set Page 14
		14	0E	0-7		User	Live Set Page 15
		15	0F	0-7		User	Live Set Page 16
		16	10	0-7		User	Live Set Page 17
		17	11	0-7		User	Live Set Page 18
		18	12	0-7		User	Live Set Page 19
		19	13	0-7		User	Live Set Page 20

Bulk Dump Block

Top Addressは、Bulk Dumpで指定されるブロックの先頭アドレスを示します。
 Byte Countは、Bulk Dumpのブロックに含まれるデータサイズを示します。
 MultiおよびVOICEのBulk HeaderからBulk FooterまでのBlockは、順序は関係なく、すべてそろわなくとも受信します。
 ただし、本来含まれないBlockが割り込んだ場合は、無効となります。
 1ライプセットサウンドのリクエストは、対応するBulk Headerのアドレスを指定してください。
 以下の表のBulk Headerの部分のpp、nlについては、MIDI PARAMETER CHANGE TABLE (BULK CONTROL)をご参照ください。

Group Number = 7F 1C, Model ID = 0B

Parameter Block	Description	Byte Count		Top Address		
		DEC	HEX	High	Mid	Low
System	Common	56	38	20	00	00
	Master EQ	20	14	20	40	00
Live Set Sound	Bulk Header	0	00	0E	pp	0n
	Soundmondo Format Version	4	04	00	7F	00
Common	Common	83	53	46	00	00
	Live Set EQ	20	14	46	40	00
	Audio Trigger	255	FF	46	10	00
Zone	Zone 1	16	10	4A	00	00
	:				:	
	Zone 4				03	
Part	Part A	105	69	50	00	00
	Part B				01	
	Part C				02	
	Bulk Footer	0	00	0F	pp	0n

Parameter Base Address

Group Number = 7F 1C, Model ID = 0B

Parameter Block	Top Address			Description
	High	Mid	Low	
	System	20	00	
	20	40	00	Master EQ
	00	7F	00	Soundmondo Format Version
BULK CONTROL	0E	00	00	Header
	0F	00	00	Footer
STORE TO FLASH	0D	00	00	Store To Flash
Live Set Common	46	00	00	Common
	46	40	00	Live Set EQ
	46	10	00	Audio Trigger Path
	4A	zz	00	Zone (zz: 00-03)
Live Set Part	50	0p	00	Part

Message Type	Data
Parameter Change	F0, 43, 1n, gh, gl, id, ah, am, al, dt, ..., F7
Parameter Request	F0, 43, 3n, gh, gl, id, ah, am, al F7
Bulk Dump	F0, 43, 0n, gh, gl, bh, bl, id, ah, am, al, dt, ..., cc, F7
Bulk Request	F0, 43, 2n, gh, gl, id, ah, am, al, F7

- n: Device Number
- gh: Group Number High
- gl: Group Number Low
- bh: Byte Count High
- bl: Byte Count Low
- id: Model ID
- ah: Parameter Address High
- am: Parameter Address Middle
- al: Parameter Address Low
- dt: Data
- cc: Data Checksum

Live Set Common

Common

Group Number = 7F 1C, Model ID = 0B

Address			Size	Data Range	Parameter Name	Description	Default (HEX)	Notes
High	Mid	Low						
46	00	00	1	20-7E	Live Set Sound Name 1	32-126 (ASCII)	49	'l'
		01	1	20-7E	Live Set Sound Name 2	32-126 (ASCII)	6E	'n'
		02	1	20-7E	Live Set Sound Name 3	32-126 (ASCII)	69	'i'
		03	1	20-7E	Live Set Sound Name 4	32-126 (ASCII)	74	't'
		04	1	20-7E	Live Set Sound Name 5	32-126 (ASCII)	20	''
		05	1	20-7E	Live Set Sound Name 6	32-126 (ASCII)	53	'S'
		06	1	20-7E	Live Set Sound Name 7	32-126 (ASCII)	6F	'o'
		07	1	20-7E	Live Set Sound Name 8	32-126 (ASCII)	75	'u'
		08	1	20-7E	Live Set Sound Name 9	32-126 (ASCII)	6E	'n'
		09	1	20-7E	Live Set Sound Name 10	32-126 (ASCII)	64	'd'
		0A	1	20-7E	Live Set Sound Name 11	32-126 (ASCII)	20	
		0B	1	20-7E	Live Set Sound Name 12	32-126 (ASCII)	20	
		0C	1	20-7E	Live Set Sound Name 13	32-126 (ASCII)	20	
		0D	1	20-7E	Live Set Sound Name 14	32-126 (ASCII)	20	
		0E	1	20-7E	Live Set Sound Name 15	32-126 (ASCII)	20	
		0F	1		reserved			
		10	1	00-01	Live Set EQ Mode Switch	Off, On	00	
		11	1	00-01	Master Keyboard Mode Switch	Off, On	00	
		12	1	00-01	Advanced Zone Switch	Off, On	00	
		13	2	00-12 00-7F	Tempo	42.0-240.0 1st bit6-0 → bit13-7 2nd bit6-0 → bit6-0	09 30	
		15	1	34-4C	Sound Transpose	-12+12	40	
		16	1	00-03	Layer Split Mode	ABC, A/BC, AB/C, A/B/C	00	
		17	1		reserved			
		18	1	01-7F	Split Point	C#-2-G8	37	2スプリット専用
		19	1	01-7E	Split Point A-B	C#-2-F#8	37	3スプリット専用
		1A	1	02-7F	Split Point B-C	D-2-G8	4F	3スプリット専用
		1B	1		reserved			
		1C	1	00-78	Modulation Wheel Assign	0-119, 120 (USB Audio Volume) 詳細は「コントロールチェンジナンバー」(56ページ)をご覧ください。	01	
		1D	1		reserved			
		1E	1		reserved			
		1F	1	00-78	Foot Pedal 1 Assign	0-119, 120 (USB Audio Volume) 詳細は「コントロールチェンジナンバー」(56ページ)をご覧ください。	40	
		20	1	00-7F	Foot Pedal 1 Limit Low	0-127	00	
		21	1	00-7F	Foot Pedal 1 Limit High	0-127	7F	

Address			Size	Data Range	Parameter Name	Description	Default (HEX)	Notes
High	Mid	Low						
		22	1	00-78	Foot Pedal 2 Assign	0-119, 120 (USB Audio Volume) 詳細は「コントロールチェンジナンバー」(56ページ)をご覧ください。	0B	
		23	1	00-7F	Foot Pedal 2 Limit Low	0-127	00	
		24	1	00-7F	Foot Pedal 2 Limit High	0-127	7F	
		25	1		reserved			
		26	1		reserved			
		27	1	00-01	Delay Switch	Off, On	00	
		28	1	00-03	Delay Type	Digital Delay, Analog Delay, Cross Delay, Tempo Delay	00	
		29	1	00-7F	Delay Depth	0-127	40	
		2A	1	00-7F	Delay Time	0-127	40	
		2B	1	00-0E	Delay Tempo Delay Time	1/32 Tri., 1/64 Dot., 1/32, 1/16 Tri., 1/32 Dot., 1/16, 1/8 Tri., 1/16 Dot, 1/8, 1/4 Tri., 1/8 Dot., 1/4, 1/2 Tri., 1/4 Dot., 1/2	0B	
		2C	1	00-01	Reverb Switch	Off, On	01	
		2D	1	00-02	Reverb Type	Hall Reverb, Room Reverb, Plate Reverb	00	
		2E	1	00-7F	Reverb Depth	0-127	14	
		2F	1		reserved			
		30	1	00-01	Rotary Speaker Slow/Fast	Slow, Fast	00	
		31	1	00-01	Rotary Speaker Stop	Off, On	00	
		32	1		reserved			
		33	1	00-01	Audio Trigger Switch	Off, On	00	
		34	1	00-7F	Audio Trigger Volume	0-127	40	
		35	1	00-01	Audio Trigger Key Assign	Lowest, Highest	01	
		36	1	00-02	Audio Trigger Play Mode	One Shot, Play/Stop, Play/Pause	00	
		37	1		reserved			
		38	1	04-28	A/D Input-EQ Low Freq	32 Hz-2.0 kHz	12	
		39	1	34-4C	A/D Input-EQ Low Gain	-12 dB+12 dB	40	
		3A	1	0E-36	A/D Input-EQ Mid Freq	100 Hz-10 kHz	29	
		3B	1	34-4C	A/D Input-EQ Mid Gain	-12 dB+12 dB	40	
		3C	1	1C-3A	A/D Input-EQ High Freq	500 Hz-16 kHz	34	
		3D	1	34-4C	A/D Input-EQ High Gain	-12 dB+12 dB	40	
		3E	1	00-01	A/D Input-Noise Gate Switch	Off, On	00	
		3F	1	36-61	A/D Input-Noise Gate Threshold	-73 dB-30 dB	52	
		40	1		reserved			
		41	1		reserved			
		42	1		reserved			
		43	1		reserved			
		44	1		reserved			
		45	1	00-22	A/D Input-Effect 1 Type	*1	00	
		46	1	00-7F	A/D Input-Effect 1 Depth	0-127	40	
		47	1	00-7F	A/D Input-Effect 1 Rate	0-127	40	
		48	1		reserved			
		49	1	00-22	A/D Input-Effect 2 Type	*1	00	

Address			Size	Data Range	Parameter Name	Description	Default (HEX)	Notes
High	Mid	Low						
		4A	1	00-7F	A/D Input-Effect 2 Depth	0-127	40	
		4B	1	00-7F	A/D Input-Effect 2 Rate	0-127	40	
		4C	1	00-7F	A/D Input-Volume	0-127	7F	
		4D	1		reserved			
		4E	1		reserved			
		4F	1		reserved			
		50	1		reserved			
		51	1		reserved			
		52	1		reserved			

TOTAL SIZE = 83 53 (HEX)

*1: G Chorus, SPX Chorus, Symphonic, 816 Chorus, VCM Flanger, Cross FB Flanger, VCM Stereo Phaser, Small Phaser, Max90, Dual Phaser, Tremolo, Auto Pan, Simple Rotary, British Combo, British Lead, Small Stereo, Compressor, Tone Control, 1 BandEQ Narrow, 1 BandEQ Wide, Auto Wah, Touch Wah, Cross Delay, Digital Delay, Analog Delay, Room Reverb, Hall Reverb, Reverse Reverb, Ring Modulator, Slicer, LP Filter, HP Filter, Lo-Fi, Harmonic Enhancer

Live Set EQ

Address			Size	Data Range	Parameter Name	Description	Default (HEX)	Notes
High	Mid	Low						
46	40	00	1	34-4C	Low Gain	-12 dB→+12 dB	40	
		01	1	04-28	Low Frequency	32 Hz-2.0 kHz	0C	
		02	1		reserved			
		03	1		reserved			
		04	1		reserved			
		05	1		reserved			
		06	1		reserved			
		07	1		reserved			
		08	1	34-4C	Mid Gain	-12 dB→+12 dB	40	
		09	1	0E-36	Mid Frequency	100 Hz-10 kHz	22	
		0A	1		reserved			
		0B	1		reserved			
		0C	1		reserved			
		0D	1		reserved			
		0E	1		reserved			
		0F	1		reserved			
		10	1	34-4C	High Gain	-12 dB→+12 dB	40	
		11	1	1C-3A	High Frequency	500 Hz-16 kHz	30	
		12	1		reserved			
		13	1		reserved			

TOTAL SIZE = 20 14 (HEX)

Audio Trigger

Address			Size	Data Range	Parameter Name	Description	Default (HEX)	Notes
High	Mid	Low						
46	10	00	最大 255		Wave File Path	32-127 (ASCII)		

TOTAL SIZE = 255 FF (HEX)

ZONE

Zone

Group Number = 7F 1C, Model ID = 0B

Address			Size	Data Range	Parameter Name	Description	Default (HEX)	Notes
High	Mid	Low						
4A	zz	00	1	00-01	Zone Switch	Off, On	00-01	Default は Zone1 のみ ON
		01	1	00-0F	Transmit Channel	1-16	00-03	Default は Zone1(0), Zone2(1), Zone3(2), Zone4(3)
		02	1	3D-43	Transpose (Octave)	-3→+3	40	
		03	1	35-4B	Transpose (Semitone)	-11→+11	40	
		04	1	00-7F	Note Limit Low	C-2-G8	00	上限は Note Limit Highでリミットされる。
		05	1	00-7F	Note Limit High	C-2-G8	7F	下限は Note Limit Lowでリミットされる。
		06	1		reserved			
		07	1	00-7F	MIDI Volume	0-127	7F	
		08	1	00-7F	MIDI Pan	L64-C-R63	40	
		09	1	00-7F	MIDI Bank MSB	000-127	00	
		0A	1	00-7F	MIDI Bank LSB	000-127	00	
		0B	1	00-7F	MIDI Program Number	001-128	00	
		0C	1	00-1F	Transmit Bank Select Transmit Program Change Transmit Volume Transmit Pan	bit0: Off, On Bank Select bit1: Off, On Program Change bit2: Off, On Volume bit3: Off, On Pan	1F	Volumeを offにしたときは CC#11 (Expression)も出力しない
		0D	1	00-3F	Transmit PB Transmit Mod Transmit Foot Pedal 1 Transmit Foot Pedal 2	bit0: Off, On PB bit1: Off, On Mod bit2: Off, On Foot Pedal 1 bit3: Off, On Foot Pedal 2	0F	
		0E	1		reserved			
		0F	1		reserved			

TOTAL SIZE = 16 10 (HEX)

zz = Zone Number
00-03 (HEX)

Live Set Part

Part

Group Number = 7F 1C, Model ID = 0B

Address			Size	Data Range (HEX)	Parameter Name	Description	Default (HEX)	Notes
High	Mid	Low						
50	0p	00	1	00-09	Current Category		00	
		01	2	00-7F 00-7F	Category 1 Voice Number	0-12 1st bit6-0 → bit13-7 2nd bit6-0 → bit6-0	00 00	Piano
		03	2	00-7F 00-7F	Category 2 Voice Number	13-26 1st bit6-0 → bit13-7 2nd bit6-0 → bit6-0	00 00	E.Piano
		05	2	00-7F 00-7F	Category 3 Voice Number	27-46 1st bit6-0 → bit13-7 2nd bit6-0 → bit6-0	00 00	Organ
		07	2	00-7F 00-7F	Category 4 Voice Number	47-108 1st bit6-0 → bit13-7 2nd bit6-0 → bit6-0	00 00	Brs/ Wind
		09	2	00-7F 00-7F	Category 5 Voice Number	109-166 1st bit6-0 → bit13-7 2nd bit6-0 → bit6-0	00 00	Gtr/Bass
		0B	2	00-7F 00-7F	Category 6 Voice Number	167-208 1st bit6-0 → bit13-7 2nd bit6-0 → bit6-0	00 00	Strings
		0D	2	00-7F 00-7F	Category 7 Voice Number	209-273 1st bit6-0 → bit13-7 2nd bit6-0 → bit6-0	00 00	Pad
		0F	2	00-7F 00-7F	Category 8 Voice Number	274-324 1st bit6-0 → bit13-7 2nd bit6-0 → bit6-0	00 00	Lead
		11	2	00-7F 00-7F	Category 9 Voice Number	325-350 1st bit6-0 → bit13-7 2nd bit6-0 → bit6-0	00 00	Chr.Perc
		13	2	00-7F 00-7F	Category 10 Voice Number	351-362 1st bit6-0 → bit13-7 2nd bit6-0 → bit6-0	00 00	Others
		15	1		reserved			
		16	1	28-58	Note Shift	-24-0-+24	40	
		17	1	00-7F	Part Volume	0-127	7F	
		18	1	00-0B	Part Color	0: Red, 1: Orange, 2: Yellow, 3: Lime, 4: Green, 5: Spring, 6: Cyan, 7: Azure, 8: Blue, 9: Violet, 10: Magenta, 11: Rose	A: 02, B: 08, C: 04	
		19	1	00-01	Part Switch	Off, On	A: 01, B: 00, C: 00	
		1A	1	00-01	Part Selected	Off, On	A: 01, B: 00, C: 00	
		1B	1	00-01	Effect Select	0: Effect1, 1: Effect2	00	
		1C	1		reserved			
		1D	1		reserved			
		1E	1		reserved			
		1F	1		reserved			
		20	1	00-01	Mono/Poly	Mono, Poly	01	
		21	1	00-02	Mono Type	Normal, Fingered Portamento, Full-time Portamento	00	Organ Fluteボイス時無効
		22	1		reserved			

Address			Size	Data Range (HEX)	Parameter Name	Description	Default (HEX)	Notes
High	Mid	Low						
		23	1	00-7F	Portamento Time	0-127	14	(Portamento Time. Portamento Time Mode両方とも) Organ Fluteボイス時無効
		24	1	00-01	Portamento Time Mode	Rate, Time	00	
		25	1		reserved			
		26	1		reserved			
		27	1		reserved			
		28	1		reserved			
		29	1		reserved			
		2A	1		reserved			
		2B	1		reserved			
		2C	1	00-01	Unison Switch	Off, On	00	
		2D	1	00-02	Unison Type	Multi Layer, Harmonics, Sub Harmonics	00	
		2E	1	00-7F	Unison Volume	0-127	7F	
		2F	1	00-7F	Unison Detune	0-127	40	
		30	1	28-58	Pitch Bend Range	-24-0-+24	42	
		31	1	00-7F	Pitch Modulation Depth	0-127	0A	
		32	1	00-7F	Amplifier Modulation Depth	0-127	00	
		33	1	00-7F	Filter Modulation Depth	0-127	00	
		34	1	00-7F	Modulation Speed	-64-0-+63	40	
		35	1	00-01	Receive Expression	Off, On	01	
		36	1	00-01	Receive Sustain	Off, On	01	
		37	1	00-01	Receive Sostenuto	Off, On	01	
		38	1	00-01	Receive Soft	Off, On	01	
		39	1	00-02	External Keyboard	Ext+Int, ExtOnly, Off	00	
		3A	1	00-7F	Touch Sensitivity Depth	0-127	40	
		3B	1	00-7F	Touch Sensitivity Offset	0-127	40	
		3C	1		reserved			
		3D	1		reserved			
		3E	1		reserved			
		3F	1		reserved			
		40	1	00-7F	Drawbar 16'	0-127	7F	ドローバー位置とパラメーター数値の関係 0: 0 1: 1-18 2: 19-36 3: 37-54 4: 55-72 5: 73-90 6: 91-108 7: 109-126 8: 127
		41	1	00-7F	Drawbar 5 1/3'	0-127	7F	
		42	1	00-7F	Drawbar 8'	0-127	7F	
		43	1	00-7F	Drawbar 4'	0-127	00	
		44	1	00-7F	Drawbar 2 2/3'	0-127	00	
		45	1	00-7F	Drawbar 2'	0-127	00	
		46	1	00-7F	Drawbar 1 3/5'	0-127	00	
		47	1	00-7F	Drawbar 1 1/3'	0-127	00	
		48	1	00-7F	Drawbar 1'	0-127	00	
		49	1	00-01	Percussion Switch	Off, On	00	
		4A	1	00-01	Percussion Type	3rd, 2nd	00	
		4B	1	00-01	Percussion Decay	Slow, Fast	00	
		4C	1	00-01	Percussion Volume	Normal, Soft	00	
		4D	1		reserved			
		4E	1	00-01	Vibrato/Chorus Switch	Off, On	00	
		4F	1	00-05	Vibrato/Chorus Type	V1, C1, V2, C2, V3, C3	05	
		50	1	00-01	Filter Switch	Off, On	01	
		51	1	00-7F	Filter Cutoff	0-127	40	
		52	1	00-7F	Filter Resonance	0-127	40	
		53	1	00-01	EG Switch	Off, On	01	
		54	1	00-7F	EG Attack	0-127	40	
		55	1	00-7F	EG Release	0-127	40	

Address			Size	Data Range (HEX)	Parameter Name	Description	Default (HEX)	Notes
High	Mid	Low						
		56	1	00-01	Drive Switch	Off, On	00	
		57	1	00-04	Drive Type	0.Drive, Dist, Rotary A, Rotary B, Comp	00	
		58	1	00-7F	Drive Depth	0-127	40	
		59	1	00-01	Effect 1 Switch	Off, On	00	
		5A	1	00-23	Effect 1 Type	*2	00	
		5B	1	00-7F	Effect 1 Depth	0-127	40	
		5C	1	00-7F	Effect 1 Rate	0-127	40	
		5D	1	00-01	Effect 2 Switch	Off, On	00	
		5E	1	00-23	Effect 2 Type	*2	00	
		5F	1	00-7F	Effect 2 Depth	0-127	40	
		60	1	00-7F	Effect 2 Rate	0-127	40	
		61	1		reserved			
		62	1		reserved			
		63	1		reserved			
		64	1		reserved			
		65	1		reserved			
		66	1		reserved			
		67	1		reserved			
		68	1		reserved			

TOTAL SIZE = 105 69 (HEX)

p = Part number
0-2 0: A, 1: B, 2: C

*2: G Chorus, SPX Chorus, Symphonic, 816 Chorus, VCM Flanger, Cross FB Flanger, VCM Stereo Phaser, Small Phaser, Max90, Dual Phaser, Tremolo, Auto Pan, Simple Rotary, British Combo, British Lead, Small Stereo, Compressor, Tone Control, 1 BandEQ Narrow, 1 BandEQ Wide, Auto Wah, Touch Wah, Pedal Wah, Cross Delay, Digital Delay, Analog Delay, Room Reverb, Hall Reverb, Reverse Reverb, Ring Modulator, Slicer, LP Filter, HP Filter, Lo-Fi, Damper Resonance, Harmonic Enhancer

Function...	Transmitted	Recognized	Remarks	
Basic Channel	Default Changed	1 - 16 1 - 16	1 - 16 1 - 16	Memorized
Mode	Default Messages Altered	3 X *****	3 X X	Memorized
Note Number : True voice		0 - 127 *****	0 - 127 0 - 127	
Velocity	Note On Note Off	O 9nH, v=1-127 X 8nH, v=64	O 9nH, v=1-127 O 9nH, v=0 or 8nH	
After Touch	Key's Ch's	X X	X X	
Pitch Bend		O	O	
Control Change	0,32 1 7,11,67,84 64 66 9,12-31 68-83 85-93 102-119 1-119	O *2 O X O X O *1 O *1 O *1 O *1 O *1 O *3	O *2 O O O *2 O *2 O *1 O *1 O *1 O *1 X	Bank Select Sustain Sw Sostenuto
Prog Change : True #		O 0 - 127 *2	O 0 - 7 *2	
System Exclusive		O	O	
Common	: Song Pos. : Song Sel. : Tune	X X X	X X X	
System	: Clock Real Time : Commands	X X	X X	
Aux Messages	: All Sound Off : Reset All Cntrls : Local On/Off : All Notes Off : Active Sense : Reset	X X X X O X	O (120) O (121) X O (123-125) O X	
Notes: *1 receive/transmit if MIDI control mode is on. *2 receive/transmit if switch is on. *3 transmit if assigned to controllers.				

Mode 1 : OMNI ON , POLY Mode 2 : OMNI ON , MONO O : Yes
 Mode 3 : OMNI OFF, POLY Mode 4 : OMNI OFF, MONO X : No

Apache License 2.0

Copyright (c) 2009-2018 Arm Limited. All rights reserved.

SPDX-License-Identifier: Apache-2.0

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the License); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an AS IS BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

The Clear BSD license

The Clear BSD License
Copyright 1997-2016 Freescale Semiconductor, Inc.
Copyright 2016-2018 NXP
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted (subject to the limitations in the disclaimer below) provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the name of the copyright holder nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

NO EXPRESS OR IMPLIED LICENSES TO ANY PARTY'S PATENT RIGHTS ARE GRANTED BY THIS LICENSE. THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Modified BSD license

COPYRIGHT(c) 2016 STMicroelectronics

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification,

are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of STMicroelectronics nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

資料

困ったときは

「音が出ない」「音色がおかしい」などといった場合は、まず以下の項目をチェックしてください。

ファクトリーリセット(69ページ)で解決できることもあります。

それでも直らないときは、お買い上げのお店や巻末の問い合わせ窓口にご連絡ください。

現象	考えられる原因	解決法
電源が勝手に切れる	故障ではありません。オートパワーオフ機能が動いたためです。	オートパワーオフ機能を使いたくない場合は、機能を無効にしてください(38ページ)。
音が鳴らない	すべてのパート[ON/OFF]ボタンがオフになっています。	パート[ON/OFF]ボタンをオンにしてください。
	パートの音量が下がっています。	各パートのパートボリュームスライダーで音量を調節してください。
	Local ControlがOffになっています。	Local ControlがOffの場合は、鍵盤を弾いても内部音源は鳴りません。Local ControlをOnにしてください(39ページ)。
	外部MIDIコントローラーによって、MIDIボリュームやエクスプレッションが下がっています。	ライブセットサウンドを切り替えてみてください。 FOOT PEDAL端子にペダルを接続している場合は、ペダルを動かしてみてください。
内蔵スピーカーから音が鳴らない	SPEAKERSスイッチがオフになっています。	SPEAKERSスイッチをオンにしてください。
	ヘッドホンがつながっていると、内蔵スピーカーからは音が鳴らない場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> • [MENU]ボタン → General → System → Speaker → Speaker MuteがAutoに設定されている • [MENU]ボタン → General → System → Speaker → Speaker MuteがManualに設定されていて、SPEAKERSスイッチがオフになっている 	ヘッドホンを端子から外してください。 SPEAKERSスイッチをオンにしてください。
接続した外部機器から音が出ない	本機と、本機に接続した外部オーディオ機器の電源が入っていません。	本機と外部オーディオ機器の電源が入っているか確認してください。
	本機と、本機に接続した外部オーディオ機器の音量が下がっています。	[MASTER VOLUME]スライダーで音量を調節してください。 FOOT PEDAL端子にペダルを接続している場合は、動かしてみてください。
音が止まらない	ディレイなどのエフェクトがかかり、音が鳴り続けています。	[DEPTH]ノブの設定値を下げるか、EFFECT 1またはEFFECT 2の[ON/OFF]ボタンをオフにしてください。 音が止まらない状態でライブセットサウンドに変更してしまった場合は、現在選択中のライブセットサウンドを選び直してください。
音が歪む	エフェクトの設定が適切ではありません。	エフェクトタイプや設定によっては、音が歪む場合があります。エフェクトタイプや設定を変更してください。

現象	考えられる原因	解決法
音が歪む	音量を上げすぎています。 Output Gainが高すぎます。	音量を調節してください。 本機全体の音量を調節したい場合は [MASTER VOLUME]スライダーで調節し ます。 または、[MENU]ボタン → General → Audio → Output Gainで調節します(40 ページ)。
	本機に接続した外部オーディオ機器の音 量を上げすぎえています。	外部機器のボリューム、A/D INPUT [GAIN]ノブ、または[MENU]ボタン→ General → Audio → USB Audio Volume で音量を調節してください(40ページ)。
音が途切れる	全体の発音数が、最大同時発音数(128 音)を超えています。	最大同時発音数を超えないようにしてくだ さい。
エフェクトがかからない	エフェクトがオフになっています。	EFFECT 1 [ON/OFF]ボタンまたは EFFECT 2 [ON/OFF]ボタンでエフェクト をオンにしてください。
	DEPTHが最小値になっています。	[DEPTH]ノブでエフェクトのかかり具合を 調節してください。
ピッチバンドやモジュレーションホイール で音に変化しない	設定値が0になっています。	設定値を変えてください。
液晶ディスプレイに何も表示されない	[MENU]ボタン → General → Control Panel → Display → LCD Switchが Offになっています。	[MENU]ボタン → General → Control Panel → Display → LCD SwitchがOnに なっているか確認してください(40ページ)。 文字が見えづらい場合は、[MENU]ボタン → General → Control Panel → Display → LCD Contrastでコントラストを調節し てください(40ページ)。
ペダルが効かない	ペダルのタイプが正しくありません。	[MENU]ボタン → General → Foot Pedal → Pedal 1またはPedal 2から設定します (41ページ)。
	ペダルが正しく接続されていません。	ペダルコードのプラグが確実に接続されてい るか確認してください。
	Receive SWがオフになっています。	[SETTINGS]ボタン → Controllers → Receive SW → (ペダルの種類) → (パート) でオンにしてください(33ページ)。
USBフラッシュメモリーに保存できない	USBフラッシュメモリーにライトプロテ クトがかかっています。	ライトプロテクトを解除してください。
	USBフラッシュメモリーが正しくフォー マットされていません。	フォーマットし直してください。
本機とコンピューターの通信ができない	コンピューター側でポートの設定ができ ていません。	コンピューター側でポートの設定をしてくだ さい。
バルクダンブデータが送信できない	使用する端子(MIDI、USB)が間違ってい ます。	設定を確認してください。
	MIDI Device Numberが間違っています。	MIDI Device Numberを確認してください。

工場出荷時の状態に戻す(ファクトリーリセット)

すべての設定を工場出荷時の状態に戻す機能をファクトリーリセット機能と呼びます。

ご注意

ファクトリーリセットを行うと、保存したライブセットサウンド、MENU画面やSETTINGS画面での編集内容は、すべて工場出荷時の状態に書き換えられてしまいます。大切な設定はあらかじめUSBフラッシュメモリーに保存しておいてください。

■ ファクトリーリセットの設定

[MENU]ボタン → Job → Factory Resetから工場出荷時の状態に戻せます(42ページ)。

メッセージ一覧

メッセージ	説明
Auto power off disabled.	オートパワーオフ機能が解除されます。
Bluetooth pairing...Press [EXIT] button to cancel pairing.	Bluetoothのペアリング中です。中断するには[EXIT]を押してください。
Change [Pedal Live Set Inc/Dec] to [Off].	SETTINGSにあるFoot Pedal Assignを変更するには、MENUにあるFoot Pedal Live Set Inc/DecをOffにしてください。
Completed.	ロード、セーブ、フォーマット、ジョブなどの実行が完了したときに表示されます。
Connect a USB device.	デバイスが接続されていません。
Connecting to USB device...	USBフラッシュメモリーを接続中です。
Device number is off.	デバイスナンバーがオフなので、バルクデータを送受信できません。
Device number mismatch.	デバイスナンバーが異なるので、バルクデータを受信できません。
File or folder already exists.	同じ名前のファイルまたはフォルダーがすでに存在しています。
File or folder path is too long.	開こうとするファイルやフォルダーのパス名が長すぎて開けません。
Illegal bulk data.	バルクデータ、バルクリクエスト受信中にエラーが生じました。
Illegal file name.	ファイル名が無効の場合に表示されます。
Illegal file.	目的のファイルがこの楽器では扱えない、または読み込めない場合に表示されます。
Incompatible USB device.	本機では使用できないUSB機器がUSB [TO DEVICE]端子に接続されると表示されます。
Low Battery!	電池の残量が低下しています。電池を交換してください。
MIDI buffer full.	一度に大量のMIDIデータを受信したので処理できませんでした。
MIDI checksum error.	受信したシステムエクスクルーシブのチェックサムが違います。
No read/write authority to the file.	ファイルの読み取り権限または書き込み権限がありません。
Now receiving MIDI bulk data...	MIDIバルクデータ受信中に表示されます。
Now transmitting MIDI bulk data...	MIDIバルクデータ送信中に表示されます。
Please reboot to maintain internal memory.	本体メモリーを修復しますので、この楽器を再起動してください。
Press both [ENTER]+[MENU] buttons.	パネルロックを解除してください。
Speaker EQ is set to [Table].	Speaker EQがTableに設定されています。
Split Point does not exist.	スプリットが設定されていないので、Split Pointを変更できません。
Unsupported USB device.	USBフラッシュメモリーがフォーマットされていないか、本機で処理できないフォーマットの場合に表示されます。本機でフォーマットしてください。
USB connection terminated.	USBフラッシュメモリーに過電流が流れたため、USBフラッシュメモリーとの通信を停止しました。USBフラッシュメモリーをUSB [TO DEVICE]端子から抜き、本機の電源を入れ直してください。
USB device is full.	USBフラッシュメモリーの容量がいっぱいでファイルが保存できない場合に表示されます。新しいUSBフラッシュメモリーを用意するか、不要なファイルを消去してから操作をやり直してください。
USB device is write-protected.	書き込み禁止状態になっているUSBフラッシュメモリーに書き込もうとした場合に表示されます。
USB device read/write error.	USBフラッシュメモリーへのリード/ライト中にエラーが発生しました。

仕様

項目		内容		
		CK88	CK61	
鍵盤	鍵盤タイプ	GHS鍵盤(黒鍵マット仕上げ)	FSB鍵盤(イニシャルタッチ付)	
	鍵盤数	88鍵	61鍵	
音源	音源方式	AWM2、AWM音源 (Organ Flutes)		
	最大同時発音数	128		
音色	ライブセットサウンド数	160 (プリセットライブセットサウンド: 80)		
	ボイス数	363		
	エフェクト	インサーションエフェクト	ドライブ(1系統): 5タイプ エフェクト(2系統): (1: 36タイプ、2: 36タイプ)	
		ディレイ	4タイプ	
		リバーブ	3タイプ	
マスターEQ		3バンド		
ディスプレイ	タイプ	フルドットLCD (128 × 64 ドット)		
接続端子	OUTPUT [L/MONO]/[R] (標準フォーン端子、アンバランス) A/D INPUT [L/MONO]/[R] (標準フォーン端子) [PHONES] (ステレオ標準フォーン端子) FOOT PEDAL [1]/[2] MIDI [IN]/[OUT] USB [TO HOST]/[TO DEVICE] [DC IN]			
Bluetooth 接続	Bluetoothバージョン	4.1		
	対応プロファイル	A2DP		
	対応コーデック	SBC		
	無線出力	Bluetooth class 2		
	最大通信距離	約10 m		
	無線周波数	2401~2481 MHz		
	最大出力電力	4 dBm		
	変調方式	FHSS		
USBオーディオ インターフェース 機能	サンプリング周波数	44.1 kHz		
	入出力チャンネル数	入力: 2チャンネル(ステレオ1チャンネル) 出力: 2チャンネル(ステレオ1チャンネル)		
音響	アンプ出力	6 W × 2		
	スピーカー	(12 cm × 6 cm) × 2、ON/OFF切り替え可		
電源	電源	電源アダプター	PA-150B、またはヤマハ推奨の同等品(出力: DC 12 V、1.5 A)	
		電池	単3電池(アルカリ乾電池/充電式ニッケル水素電池) × 8 (別売)	
	消費電力	11 W (電源アダプター PA-150B使用時)		
	電池寿命	約4.5時間 (充電電池使用時)		
サイズ/質量	幅×奥行×高さ	1333 mm × 354 mm × 148 mm	910 mm × 291 mm × 109 mm	
	質量(本体のみ)	13.1 kg	5.6 kg	
付属品	取扱説明書(本書) × 1 保証書 × 1 電源アダプター (PA-150B) × 1			

本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

索引

記号

.wav 27
 .wav → オーディオファイル

B

Bluetoothペアリング 48

E

Edit Recall 27, 42
 External Keyboard 34

T

Touch Sensitivity 31, 32

U

USB MIDI 21
 USBオーディオ 33, 40

Y

Yamaha Steinberg USB Driver 49

オ

オーディオトリガー 14, 26
 オーディオファイル 21, 27, 34

コ

工場出荷時の設定 → ファクトリーリセット

サ

サステイン 20, 33

シ

初期化
 MENU 42
 ファクトリーリセット 69
 ライブセットサウンド 28

ス

ストア 16, 26
 スピーカー
 スピーカーEQ 38
 内蔵スピーカー 20, 38

セ

セーブ
 USBフラッシュメモリーに設定を保存 29
 本機内に設定を保存 → ストア

ノ

ノートシフト 31

ハ

バックアップ 29, 43
 パネルロック 26, 40, 44

フ

ファイルタイプ 29
 ファクトリーリセット 42, 69
 フットコントローラー 20, 33, 39
 フットペダル 20

ホ

保存
 本機内に設定を保存 → ストア
 ポルタメント 30

マ

マイク入力 27, 40
 マスターキーボード 26, 35
 マスターチューン 38

モ

モジュレーション 12, 31, 33, 39

ヨ

読み込み
 バックアップファイル 29, 43

ラ

ライブセット概要 11

ユーザーサポートサービスのご案内

製品登録のご案内

このたびはヤマハ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

ヤマハミュージックメンバーズでは、Web サイトで所有製品の登録をおすすめしています。ご登録いただくことで、ヤマハミュージックメンバーズ Web サイトやメールニュースでお客様にマッチした製品やキャンペーン、イベントに関する情報をお届けします。

<http://4wrд.it/MEMBER-JP>



本製品の機能や取り扱いについては、最寄りの特約店または下記ヤマハお客様コミュニケーションセンターへお問い合わせください。

お客様コミュニケーションセンター シンセサイザー・デジタル楽器ご相談窓口



ナビダイヤル(全国共通番号)

0570-015-808

ナビダイヤル® ※固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は TEL 053-460-1666 へおかけください。

受付: 月曜日～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

* 営業日や営業時間を変更させていただく場合がございます。
あらかじめご了承ください。

<https://jp.yamaha.com/support/contacts/>



◆ ウェブサイトのご案内

- ・ヤマハ 音楽制作機器ウェブサイト
<https://jp.yamaha.com/mp/>

ヤマハ株式会社
〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

* 都合により、住所、電話番号、名称、営業時間などが変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

● 保証書

本製品には保証書が付いています。

「販売店印・お買い上げ日」が記入されている場合は、記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。記入されていない場合は、購入を証明する書類(領収書、納品書など)とあわせて、大切に保管してください。

● 保証期間

保証書をご覧ください。

● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

有寿命部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

有寿命部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、ドラムパッドなど

● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

● 修理のご依頼

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。


それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、またはヤマハ修理ご相談センターへご連絡ください。

● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとおわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

● 修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル(全国共通番号)
 **0570-012-808**
ナビダイヤル® *固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は TEL 053-460-4830
へおかけください。

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

FAX 東日本(北海道/東北/関東/甲信越/東海)
03-5762-2125
西日本(北陸/近畿/中国/四国/九州/沖縄)
06-6649-9340

● 修理品お持込み窓口

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

*お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター

〒143-0006
東京都大田区平和島2丁目1-1 JMT 京浜 E 棟 A-5F
FAX 03-5762-2125

西日本サービスセンター

〒556-0011
大阪市浪速区難波中1丁目13-17 ナンバ辻本ビル7F
FAX 06-6649-9340

*名称、住所、電話番号、営業時間などは変更になる場合があります。

MEMO



© 2022 Yamaha Corporation

2023年8月発行
MWMA-C0

ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中央区中沢町10-1

VGW5940